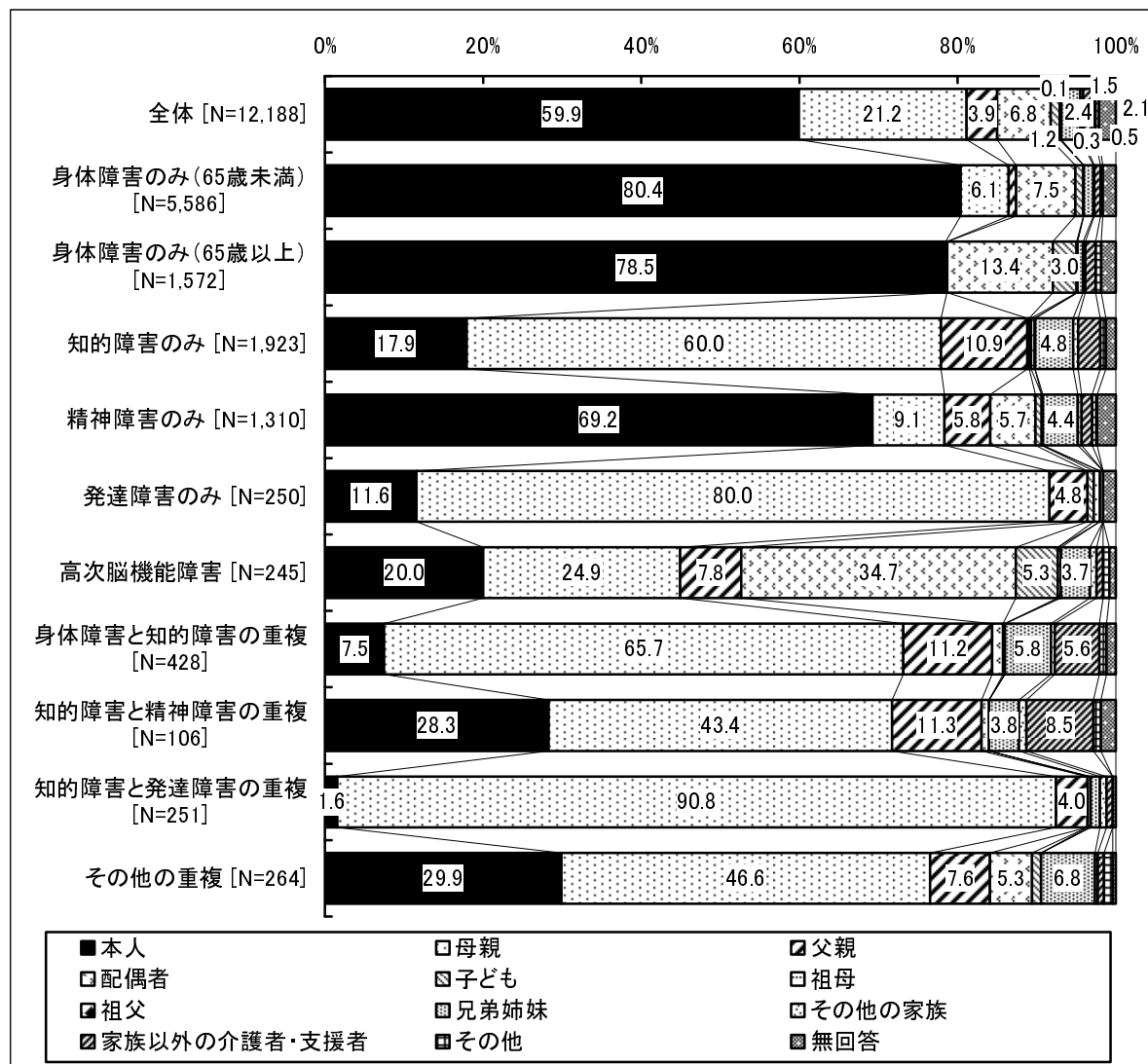


3. 障害者アンケートの集計結果

(1) アンケート記入者

アンケート記入者は「本人」の割合が59.9%と6割近くを占め、その他、「母親」が21.2%等となっています。

図表1 アンケート記入者 [N=12,188]



※障害種別の集計は、「障害の種類」の回答から集約をした上記の10種類のカテゴリーとし、「身体障害のみ」に関しては、65歳未満と65歳以上に区分しました。なお、「高次脳機能障害」については、高次脳機能障害のみの回答はサンプル数が少なくなるため、他の障害も合わせて回答しているものについても、「高次脳機能障害」のカテゴリーに含めました。(以下同様)

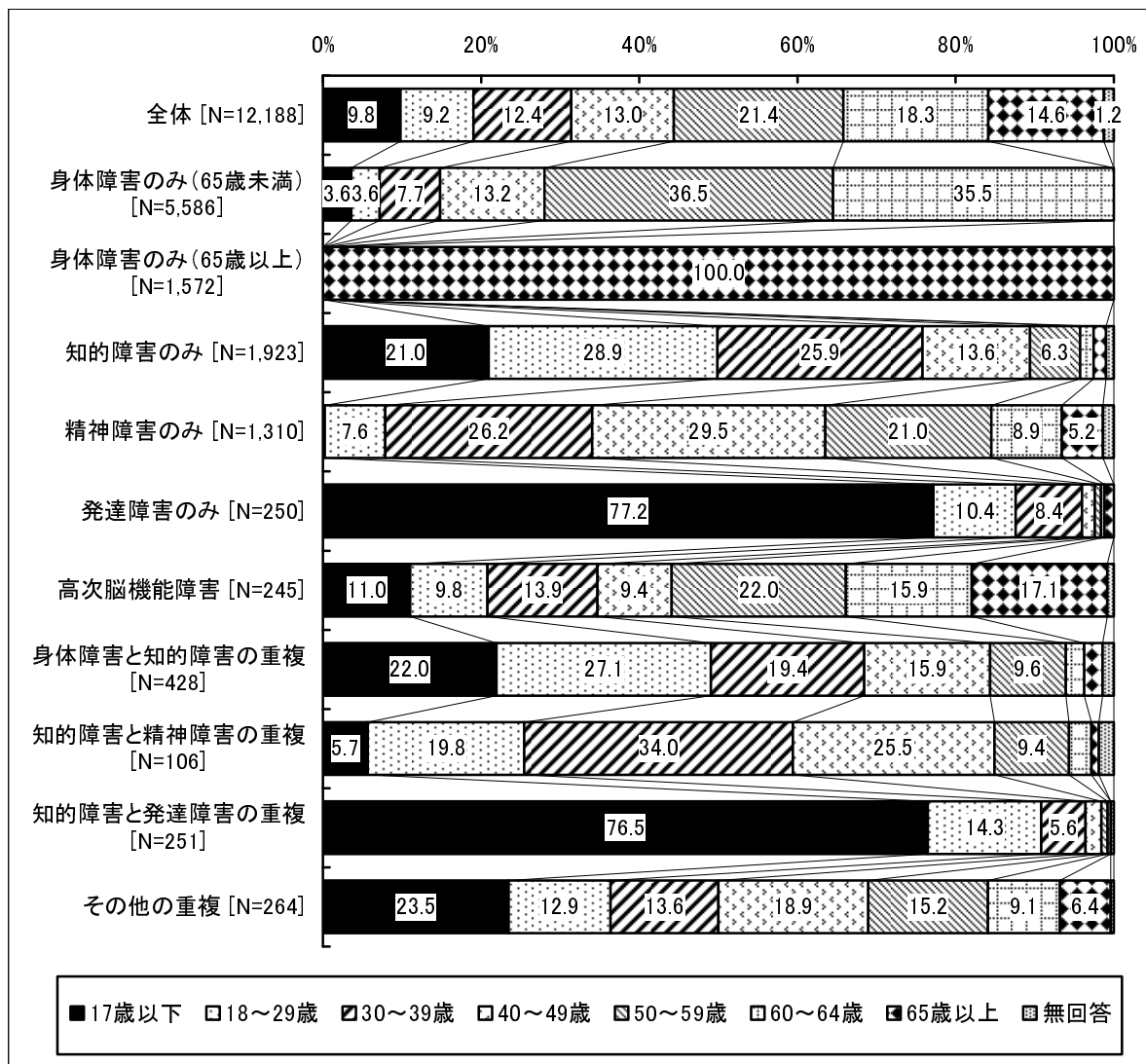
※「障害の種類」は、手帳の有無等とは関わりなく、本人の考えで回答いただいているものです。(したがって、問の内容によっては、例えば「知的障害のみ」と回答している人が「身体障害者手帳を持っている」と回答している場合などもあり得ます。)

(2) 対象者の障害の状況、身体状況等

①年齢

年齢は「50～59歳」の割合が21.4%、「60～64歳」が18.3%等となっています。

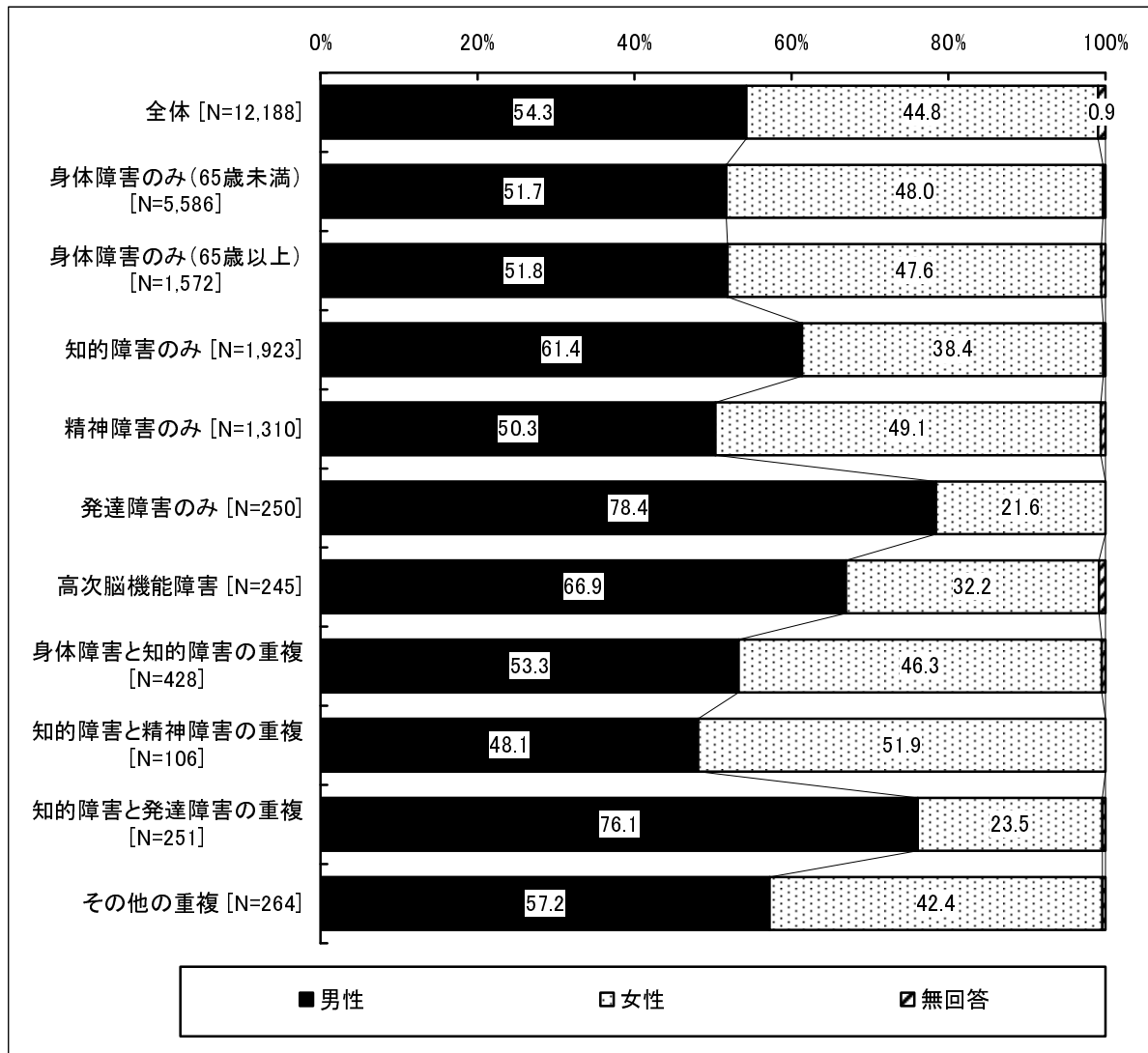
図表2 年齢 [N=12,188]



②性別

性別は「男性」の割合が54.3%、「女性」が44.8%となっています。障害種別で見ると、「発達障害のみ」「知的障害と発達障害の重複」で「男性」の割合が高くなっています。

図表3 性別 [N=12,188]



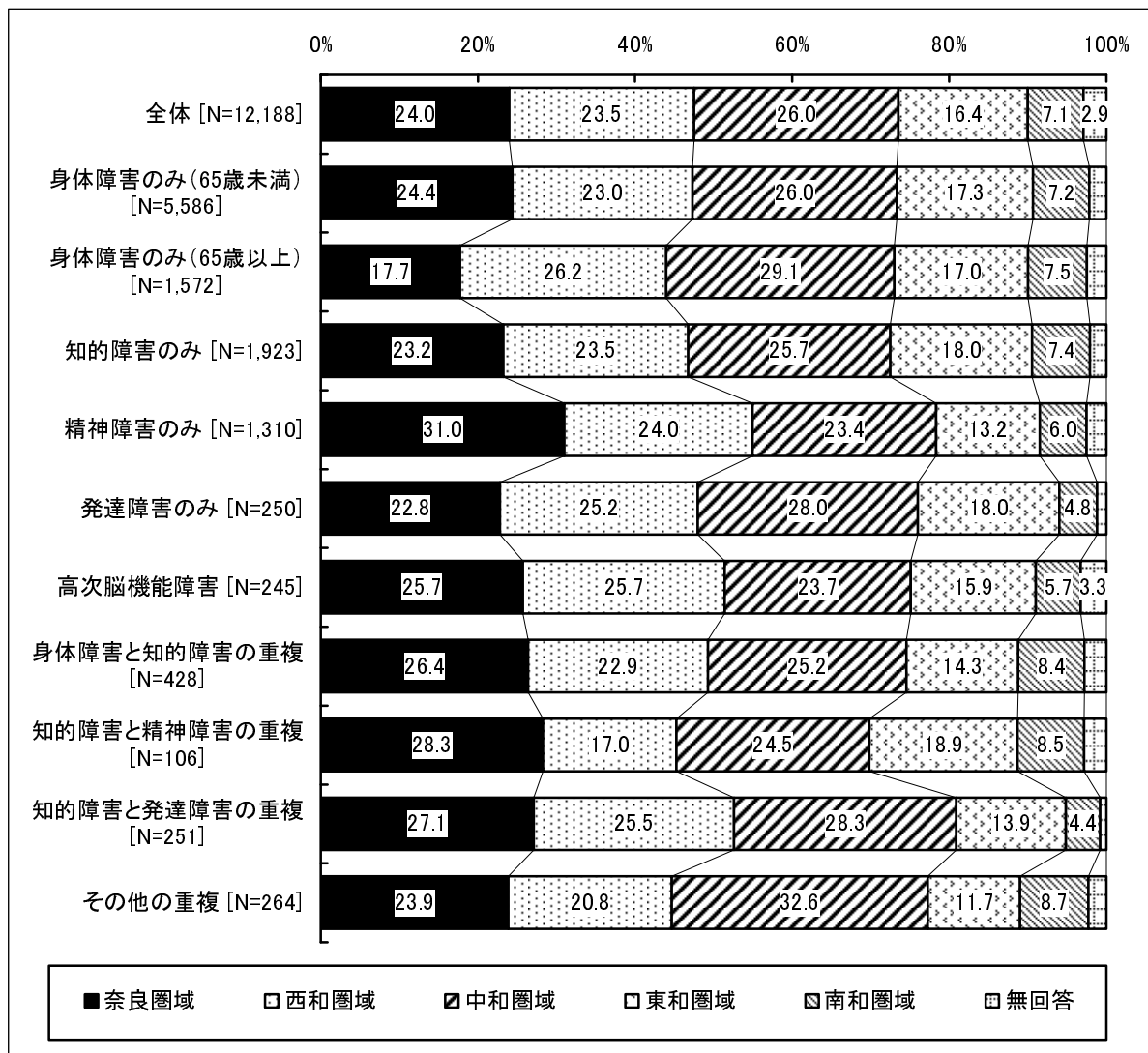
③居住地

居住地については、市町村別では「奈良市」がほぼ1/4を占めています。圏域別では、「奈良圏域」「西和圏域」「中和圏域」がそれぞれほぼ1/4ずつとなっています。

図表4 居住地（市町村） [N=12,188]

奈良市	24.01	葛城市	2.60	曾爾村	0.17	下市町	0.63
大和高田市	5.33	宇陀市	3.20	御杖村	0.19	黒滝村	0.06
大和郡山市	6.56	山添村	0.34	高取町	0.67	天川村	0.21
天理市	4.46	平群町	1.49	明日香村	0.55	野迫川村	0.02
橿原市	8.20	三郷町	1.59	上牧町	1.71	十津川村	0.36
桜井市	4.41	斑鳩町	1.90	王寺町	1.71	下北山村	0.05
五條市	2.54	安堵町	0.58	広陵町	1.95	上北山村	0.07
御所市	2.30	川西町	0.78	河合町	1.30	川上村	0.11
生駒市	6.67	三宅町	0.44	吉野町	0.90	東吉野村	0.21
香芝市	4.41	田原本町	2.46	大淀町	1.96	無回答	2.90

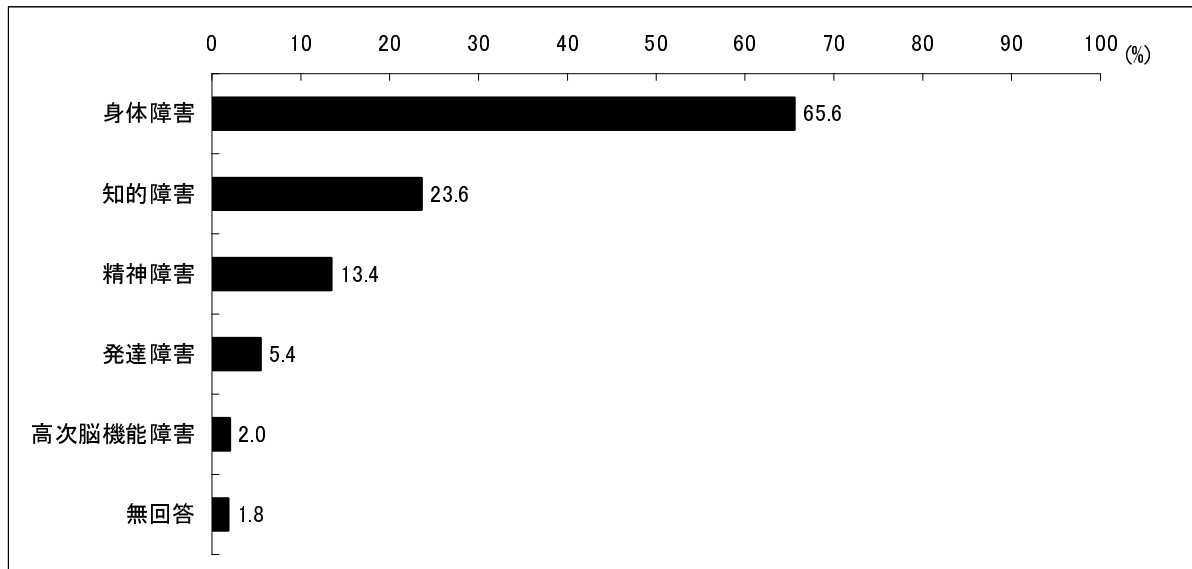
図表5 居住圏域 [N=12,188]



④障害の種類

対象者の障害の種類は「身体障害」の割合が65.6%、「知的障害」が23.6%、「精神障害」が13.4%、「発達障害」が5.4%、「高次脳機能障害」が2.0%となっています。

図表6 障害の種類 [N=12,188 ; 複数回答]

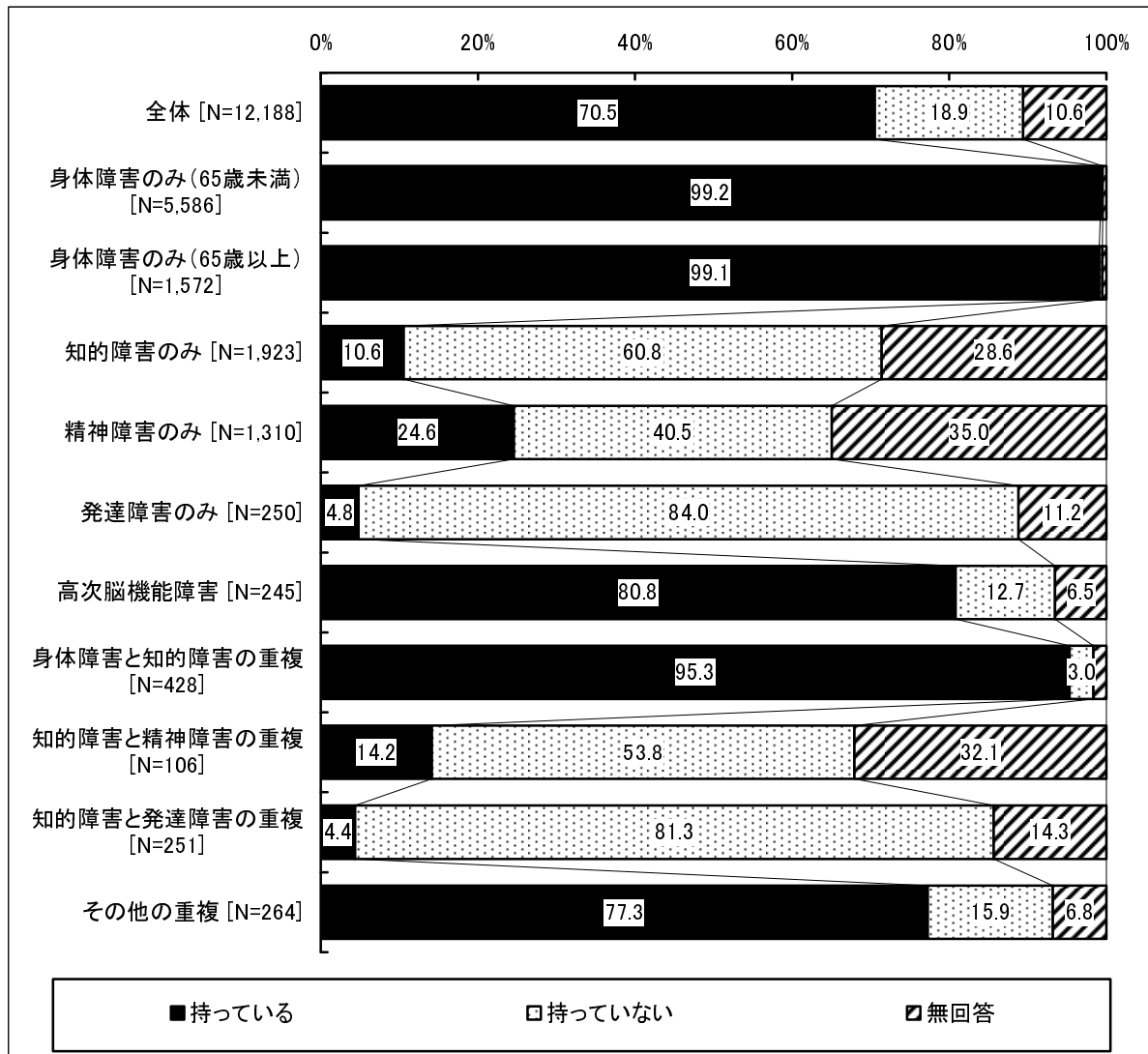


	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	障害の重複と精神	障害の重複と知的と精神	障害の重複と知的と精神と発達	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264	
身体障害	65.6	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	64.1	100.0	0.0	0.0	81.8	
知的障害	23.6	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	22.9	100.0	100.0	100.0	41.3	
精神障害	13.4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	11.8	0.0	100.0	0.0	73.5	
発達障害	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	13.5	0.0	0.0	100.0	48.9	
高次脳機能障害	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

⑤身体障害者手帳の有無

対象者の身体障害者手帳の有無については、「持っている」の割合が70.5%、「持っていない」が18.9%となっています。

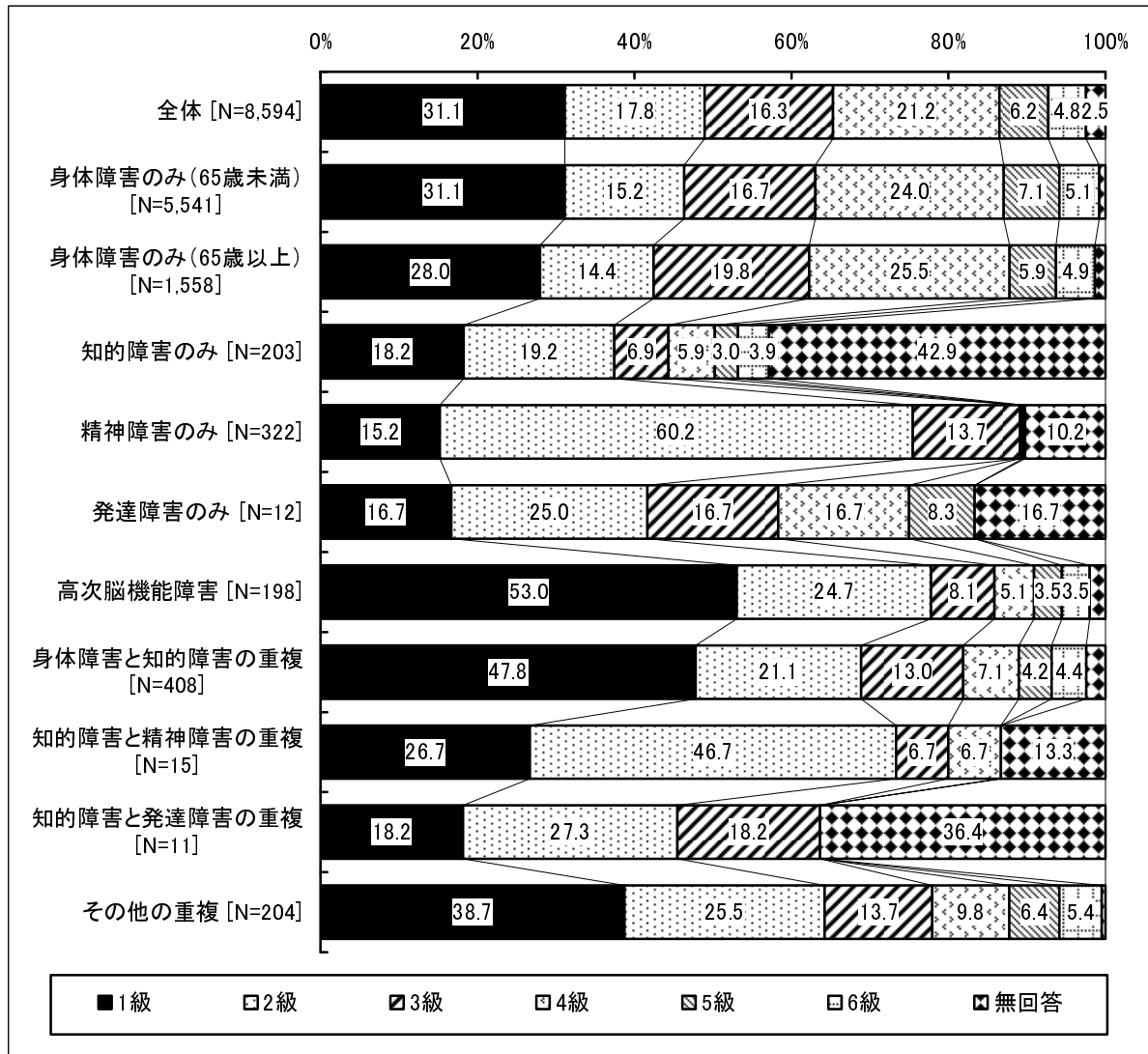
図表7 身体障害者手帳の有無 [N=12,188]



⑥身体障害者手帳の総合等級

前問「身体障害者手帳の有無」で「持っている」と回答した人に、身体障害者手帳の総合等級について聞いたところ、「1級」の割合が31.1%、「4級」が21.2%、「2級」が17.8%、「3級」が16.3%等となっています。

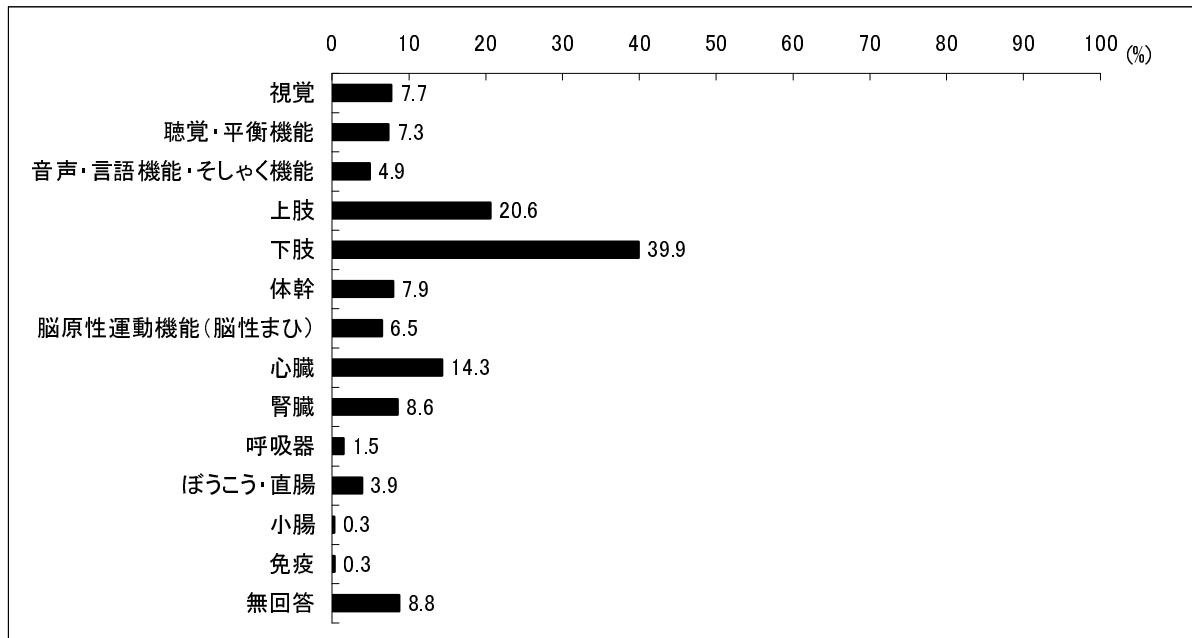
図表8 身体障害者手帳の総合等級 [N=8,594]



⑦身体障害の種類

「身体障害者手帳の有無」で「持っている」と回答した人に、障害の種類について聞いたところ、「下肢」の割合が39.9%、「上肢」が20.6%、「心臓」が14.3%等となっています。

図表9 障害の種類 [N=8,594 ; 複数回答]

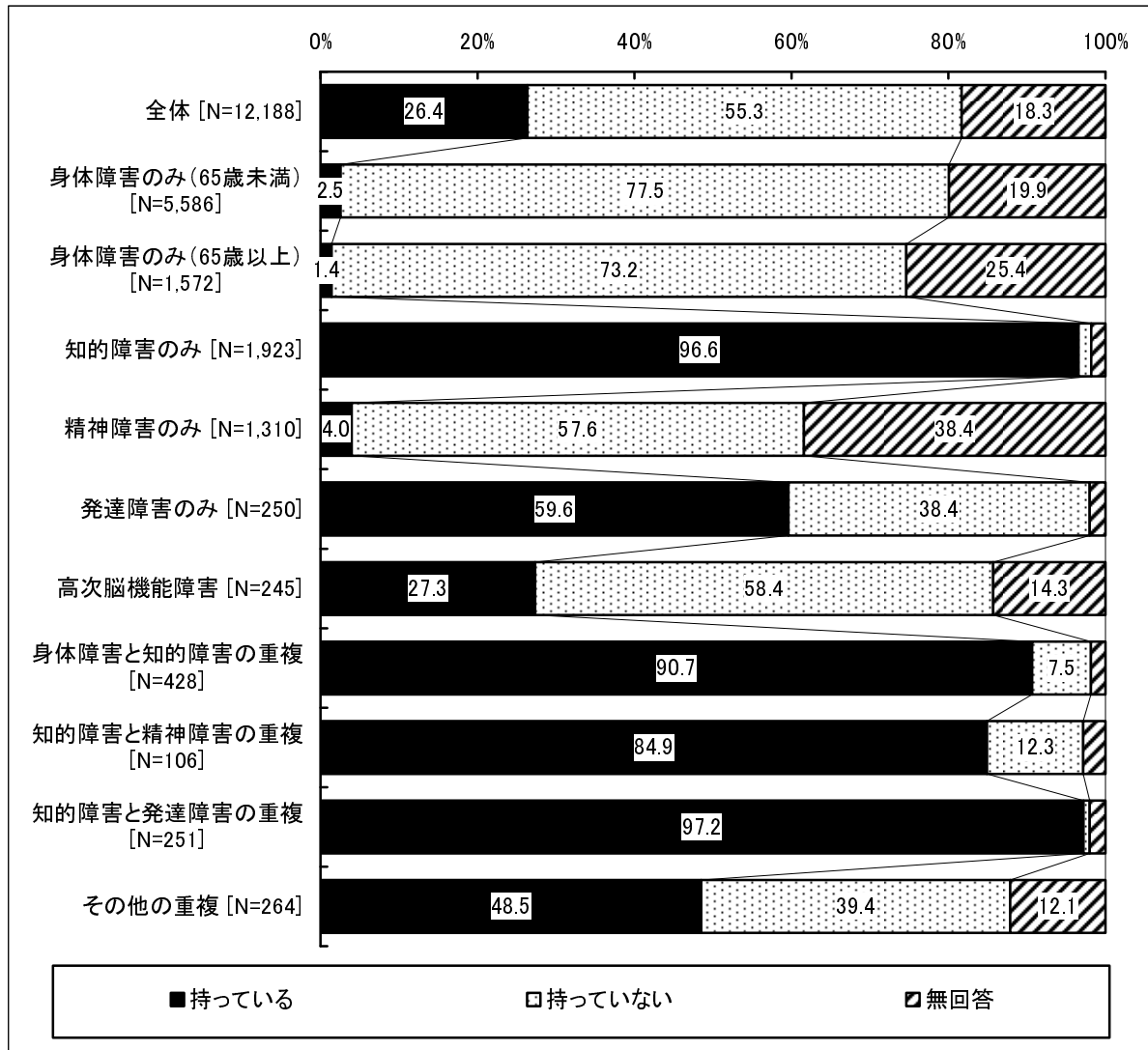


	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	障害の重複と精神	知的障害の重複と発達	その他の重複
N=	8,594	5,541	1,558	203	322	12	198	408	15	11	204
視覚	7.7	7.5	7.3	3.0	2.2	0.0	10.1	13.5	0.0	0.0	14.7
聴覚・平衡機能	7.3	7.4	6.3	4.9	3.1	0.0	9.1	9.8	0.0	9.1	10.3
音声・言語機能・そしゃく機能	4.9	3.2	2.9	12.8	3.1	25.0	33.3	12.7	20.0	18.2	12.3
上肢	20.6	21.3	20.0	1.5	0.6	8.3	53.0	25.2	0.0	0.0	24.0
下肢	39.9	43.6	43.4	2.5	1.9	25.0	52.0	29.2	0.0	9.1	40.7
体幹	7.9	7.5	6.4	1.5	1.2	0.0	23.7	16.9	0.0	0.0	18.1
脳原性運動機能(脳性まひ)	6.5	3.9	0.9	10.8	3.1	0.0	27.8	40.0	0.0	0.0	31.4
心臓	14.3	14.6	20.4	4.9	1.9	16.7	5.6	10.0	0.0	18.2	7.4
腎臓	8.6	10.4	8.4	0.5	1.2	0.0	1.5	1.2	0.0	0.0	2.0
呼吸器	1.5	1.2	2.0	0.5	2.2	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	6.4
ぼうこう・直腸	3.9	3.9	6.3	1.5	0.9	0.0	1.5	1.0	0.0	0.0	2.5
小腸	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5
免疫	0.3	0.3	0.2	0.0	0.6	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.5
無回答	8.8	3.4	3.9	59.6	86.6	33.3	9.6	6.1	80.0	45.5	7.8

⑧療育手帳の有無

対象者の療育手帳の有無については、「持っていない」の割合が55.3%、「持っている」が26.4%となっています。

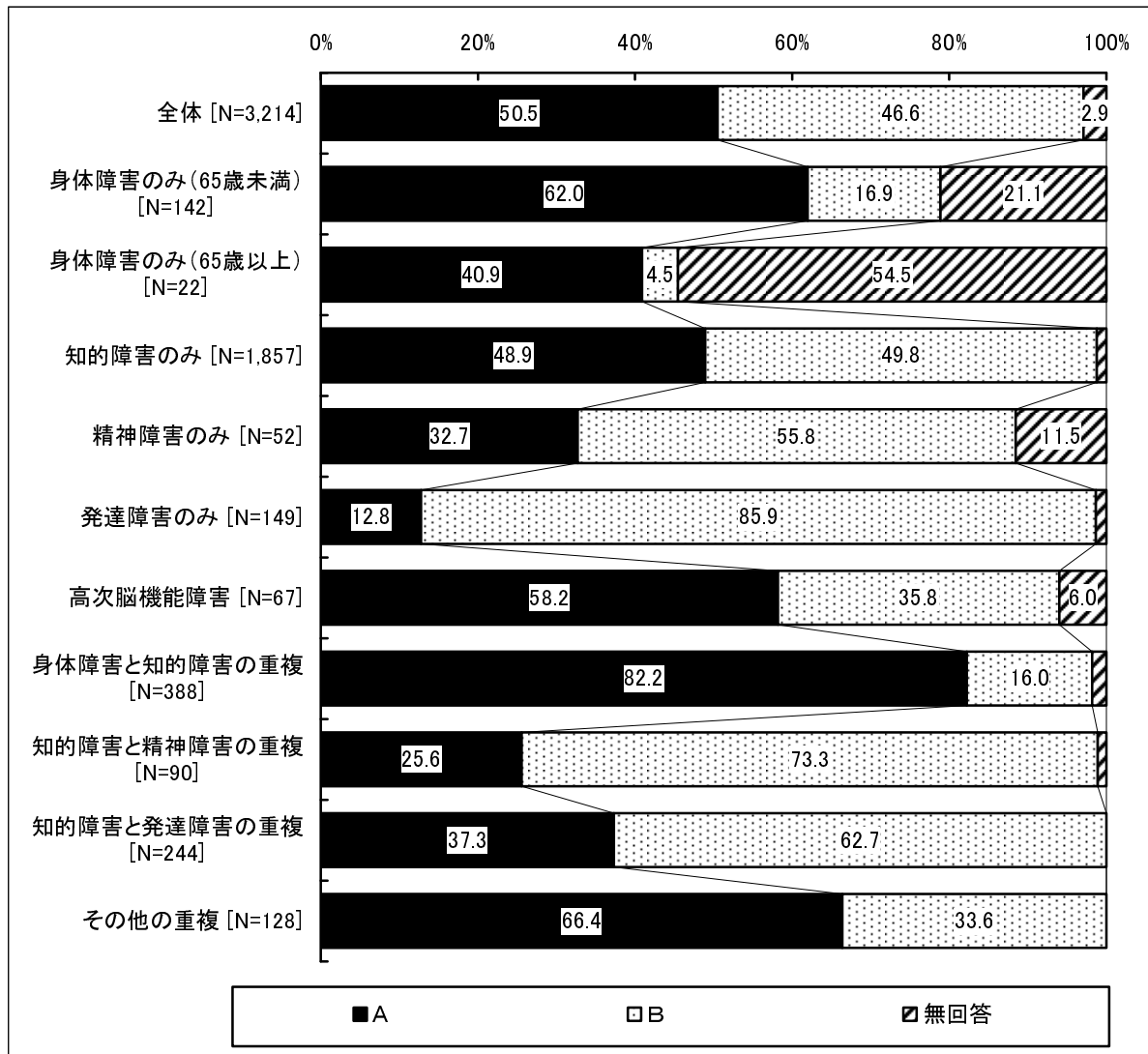
図表10 療育手帳の有無 [N=12,188]



⑨療育手帳の等級

前問「療育手帳の有無」で「持っている」と回答した人に、療育手帳の等級について聞いたところ、「A」の割合が50.5%、「B」が46.6%となっています。

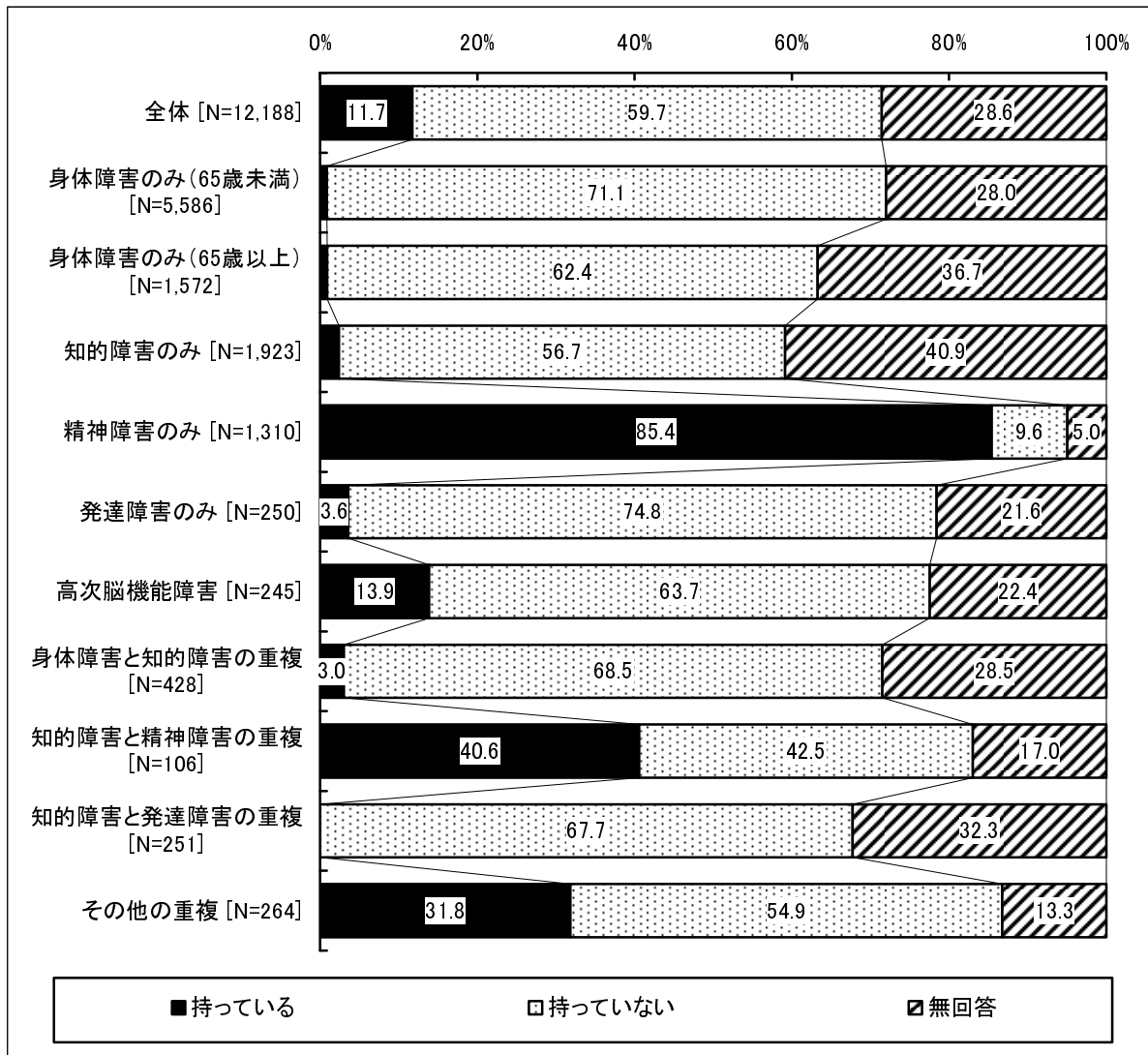
図表11 療育手帳の等級 [N=3,214]



⑩精神障害者保健福祉手帳の有無

対象者の精神障害者保健福祉手帳の有無については、「持っていない」の割合が59.7%、「持っている」が11.7%となっています。

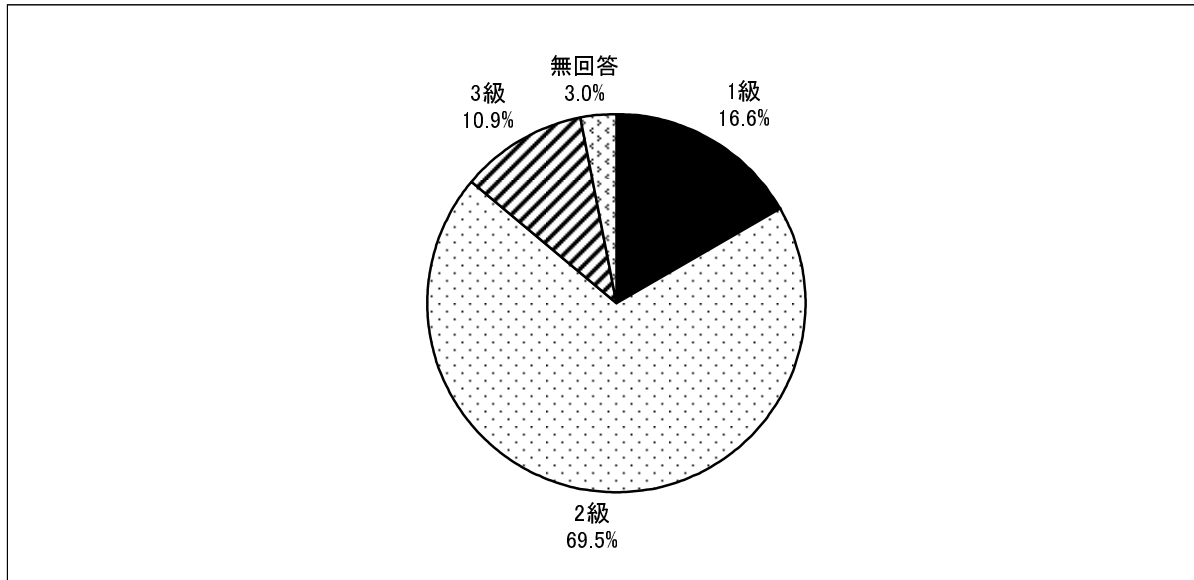
図表12 精神障害者保健福祉手帳の有無 [N=12,188]



⑪精神障害者保健福祉手帳の等級

前問「精神障害者保健福祉手帳の有無」で「持っている」と回答した人に、精神障害者保健福祉手帳の等級について聞いたところ、「2級」の割合が69.5%、「1級」が16.6%、「3級」が10.9%となっています。

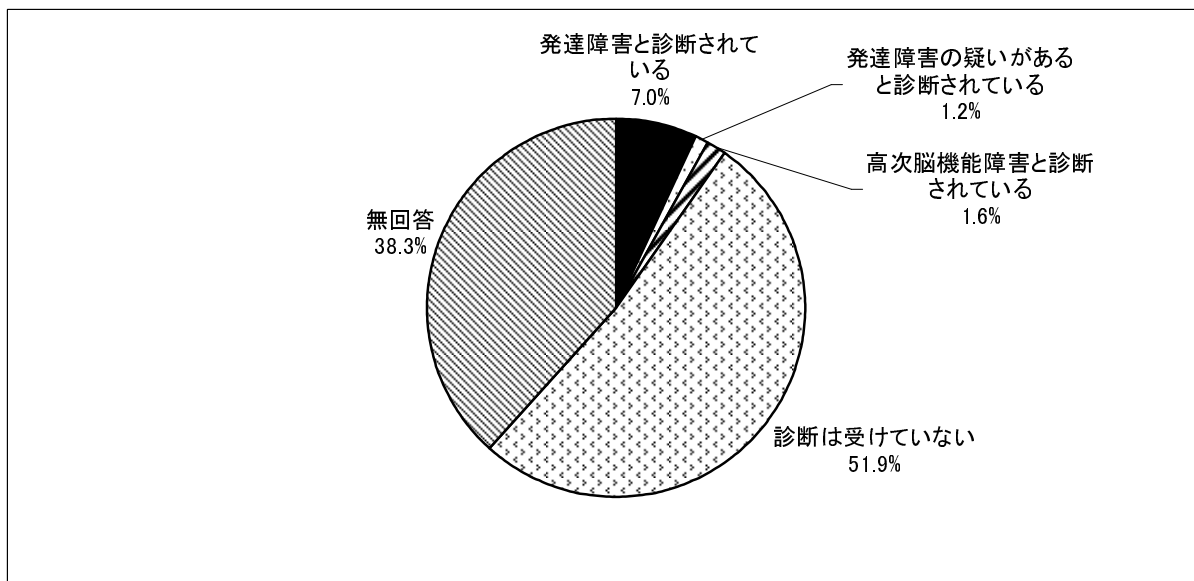
図表13 精神障害者保健福祉手帳の等級 [N=1,432]



⑫発達障害、高次脳機能障害の診断

対象者の発達障害、高次脳機能障害の診断について聞いたところ、「診断は受けていない」の割合が51.9%と半数以上となっています。一方、「発達障害と診断されている」が7.0%、「高次脳機能障害と診断されている」が1.6%、「発達障害の疑いがあると診断されている」が1.2%となっています。

図表14 発達障害、高次脳機能障害の診断 [N=12,188]

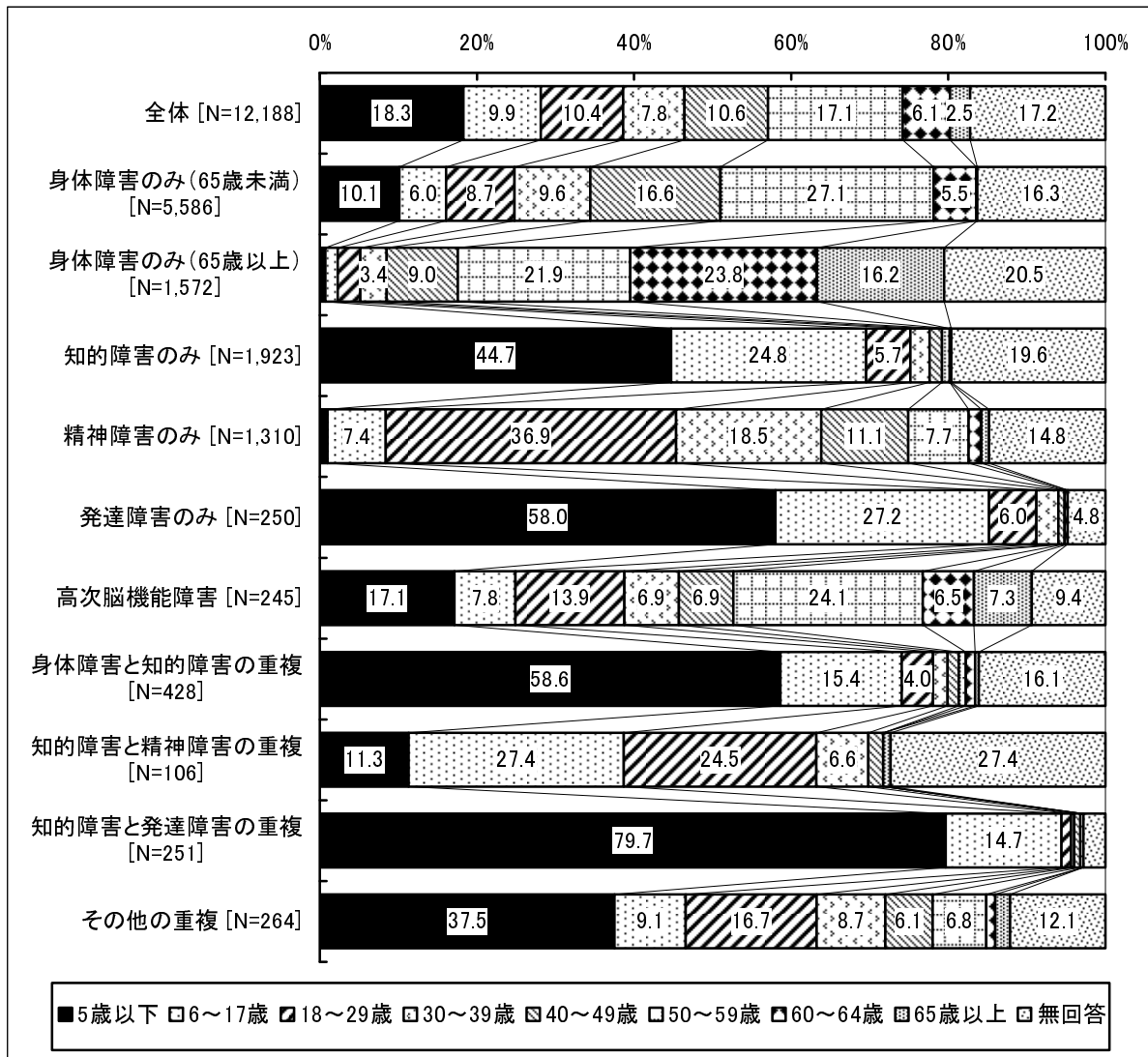


⑬障害の診断・判定を受けた時期

障害の診断・判定を受けた時期について聞いたところ、「5歳以下」の割合が18.3%、「50～59歳」が17.1%等となっています。

障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「身体障害と知的障害の重複」「発達障害のみ」などで「5歳以下」が高い割合となっています。

図表15 障害の診断・判定を受けた時期 [N=12,188]

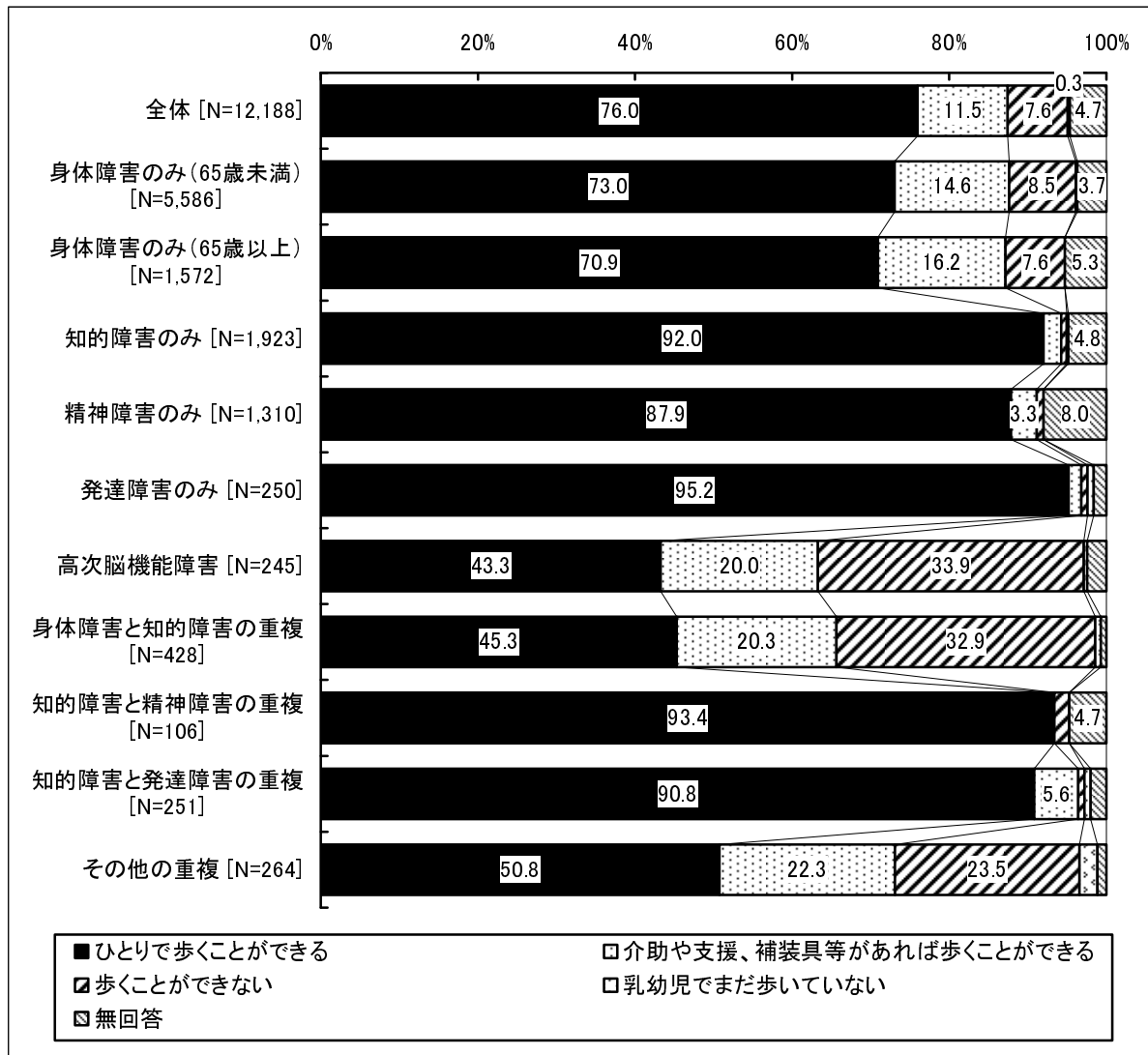


⑭歩行の状況

歩行の状況については、「ひとりで歩くことができる」の割合が76.0%と8割近くを占めます。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」「身体障害と知的障害の重複」等で「歩くことができない」の割合が高くなっています。

図表16 歩行の状況 [N=12,188]

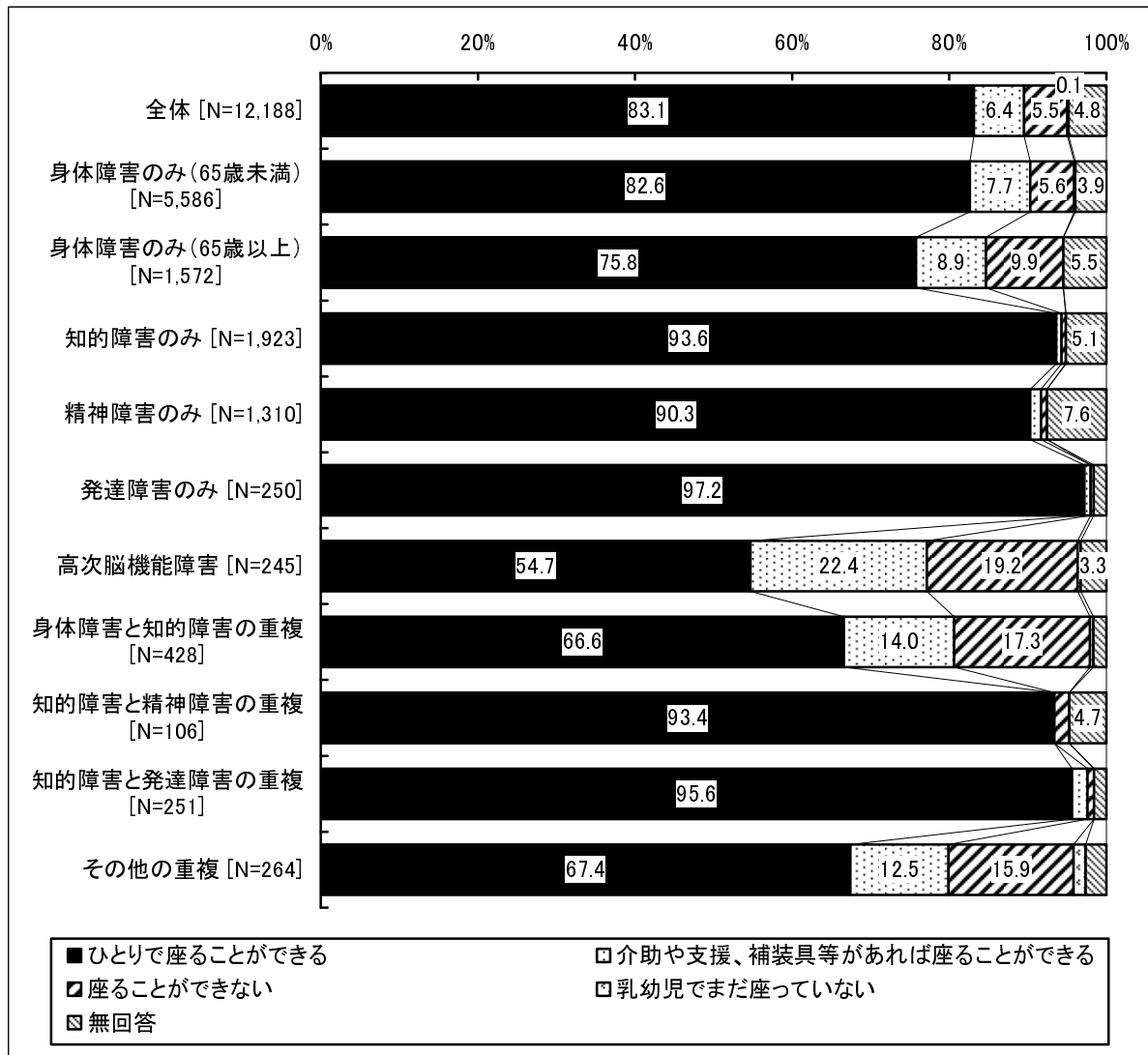


⑮座位の状況

座位の状況については、「ひとりで座ることができる」の割合が83.1%と8割以上を占めます。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」「身体障害と知的障害の重複」等で「座ることができない」の割合が高くなっています。

図表17 座位の状況 [N=12,188]

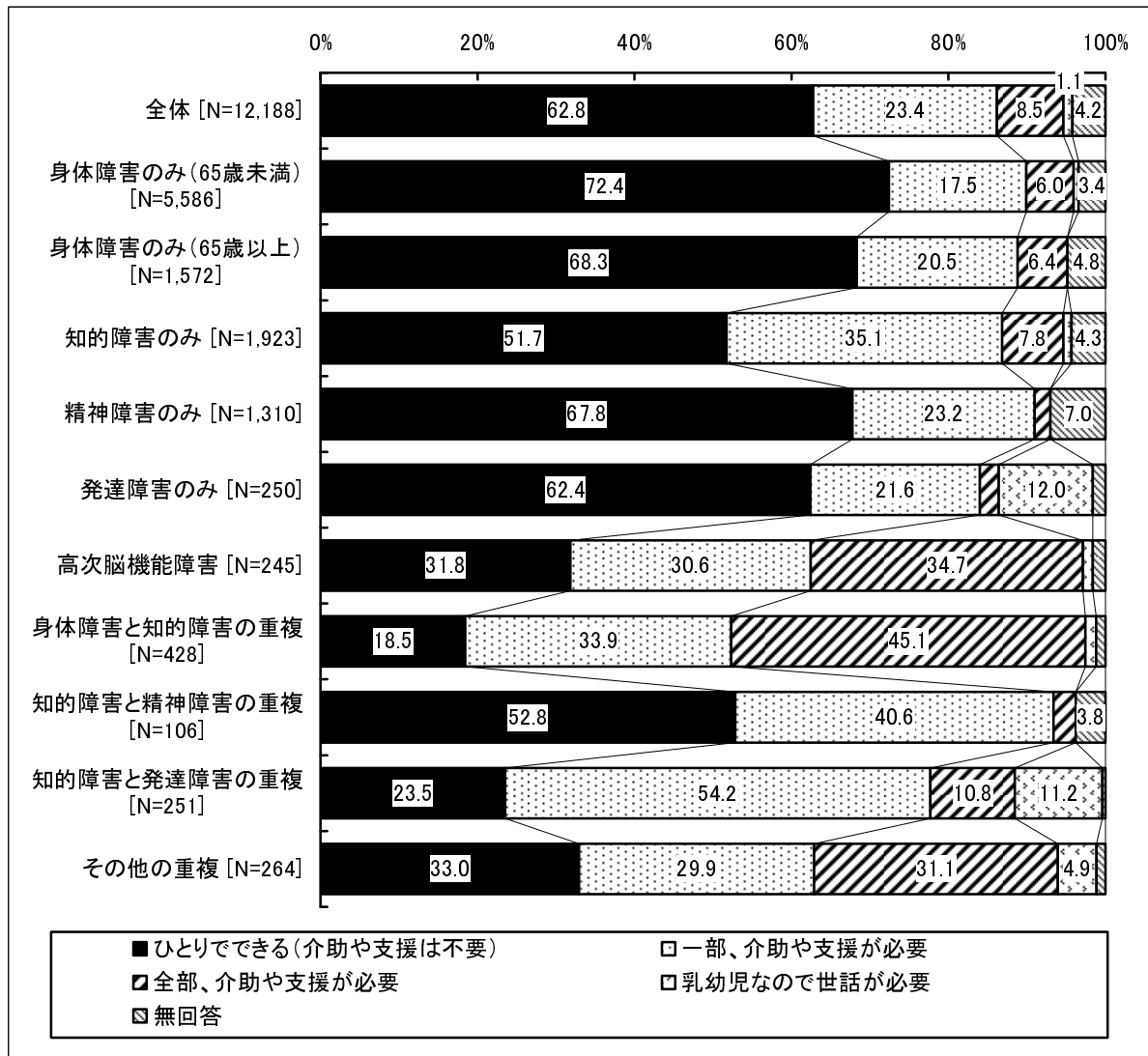


⑩身の回りの介助の状況

身の回りの介助の状況については、「ひとりでできる（介助や支援は不要）」の割合が62.8%、「一部、介助や支援が必要」が23.4%等となっています。

障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」「高次脳機能障害」等で「全部、介助や支援が必要」の割合が高くなっています。

図表18 身の回りの介助の状況 [N=12,188]

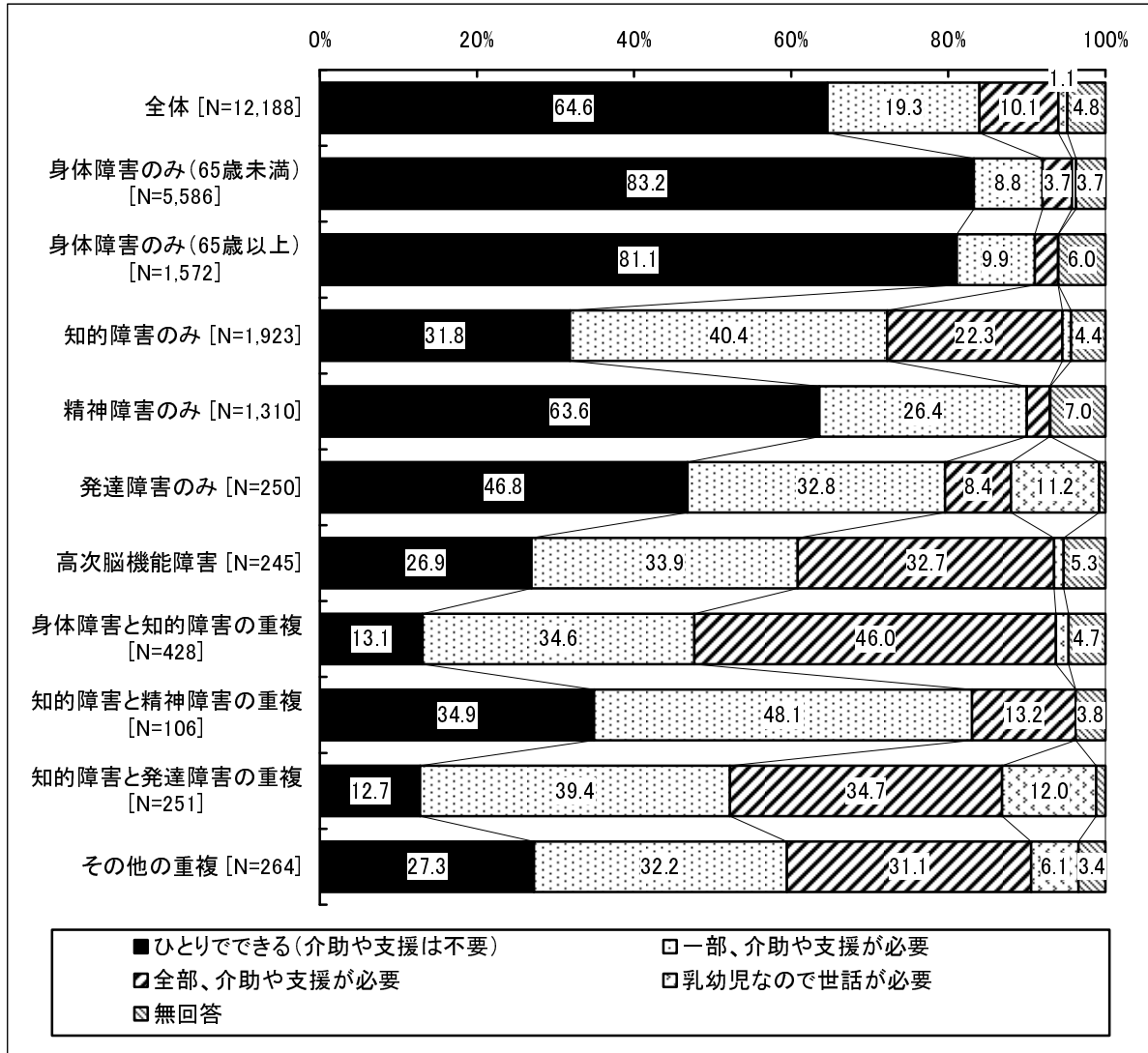


⑰会話の介助の状況

会話の介助の状況については、「ひとりのできる（介助や支援は不要）」の割合が64.6%、「一部、介助や支援が必要」が19.3%等となっています。

障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」等で「全部、介助や支援が必要」の割合が高くなっています。

図表19 会話の介助の状況 [N=12,188]

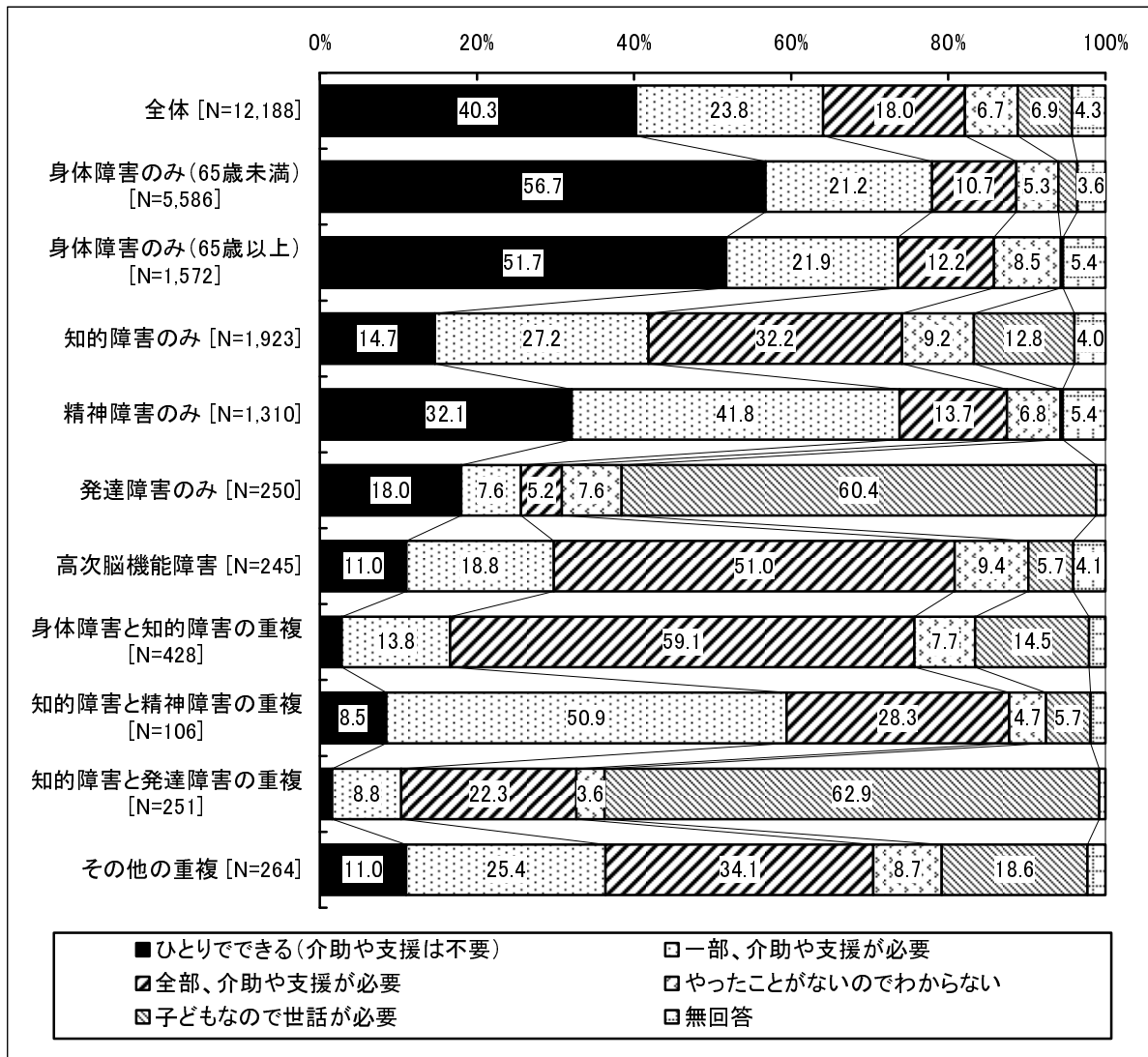


⑱家事の介助の状況

家事の介助の状況については、「ひとりのできる（介助や支援は不要）」の割合が40.3%、「一部、介助や支援が必要」が23.8%等となっています。

障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」「高次脳機能障害」等で「全部、介助や支援が必要」の割合が高くなっています。

図表20 家事の介助の状況 [N=12,188]

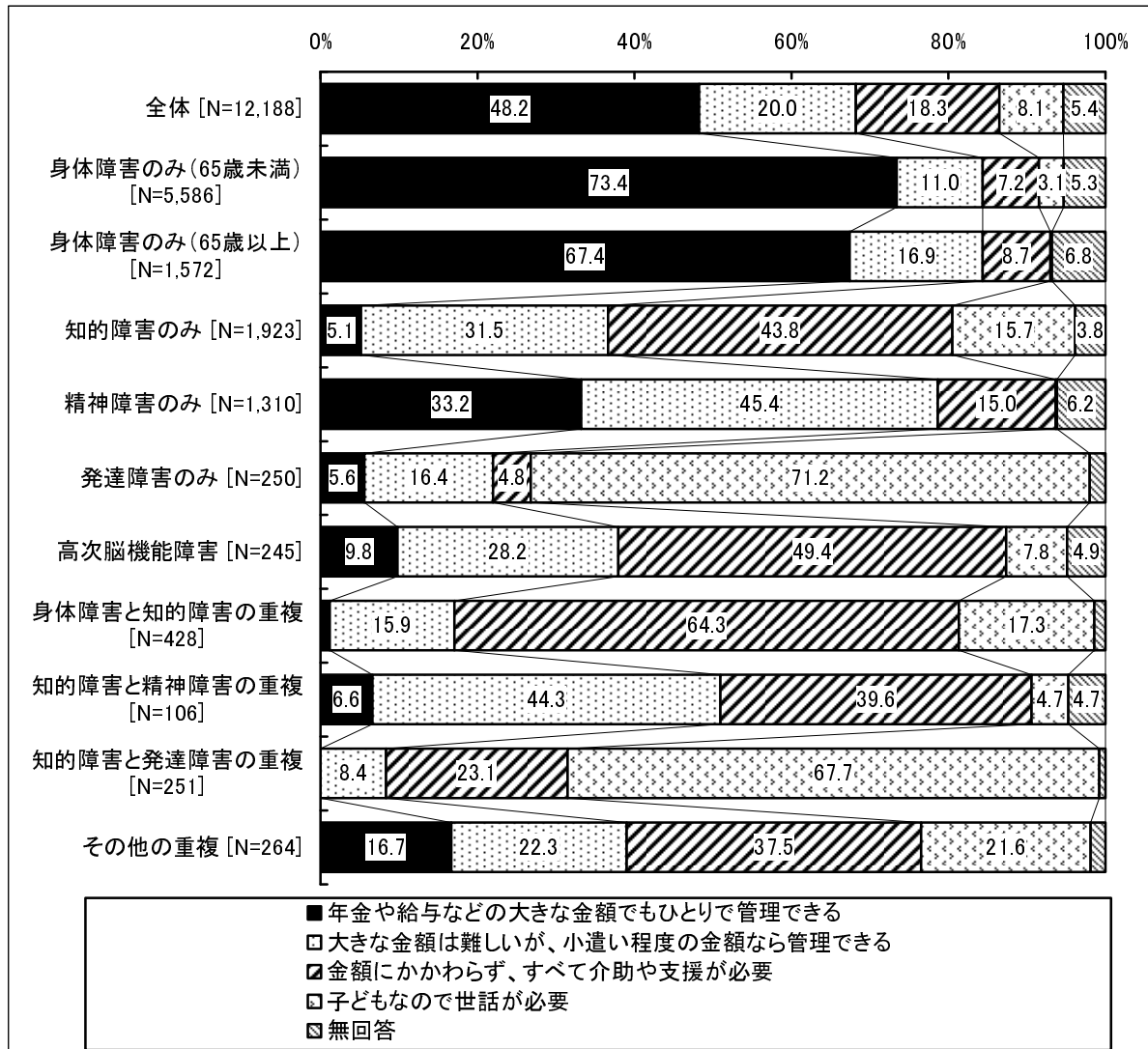


⑱金銭管理の介助の状況

金銭管理の介助の状況については、「年金や給与などの大きな金額でもひとりで管理できる」の割合が48.2%、「大きな金額は難しいが、小遣い程度の金額なら管理できる」が20.0%、「金額にかかわらず、すべて介助や支援が必要」が18.3%等となっています。

障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」等で「金額にかかわらず、すべて介助や支援が必要」が高い割合となっています。

図表21 金銭管理の介助の状況 [N=12,188]



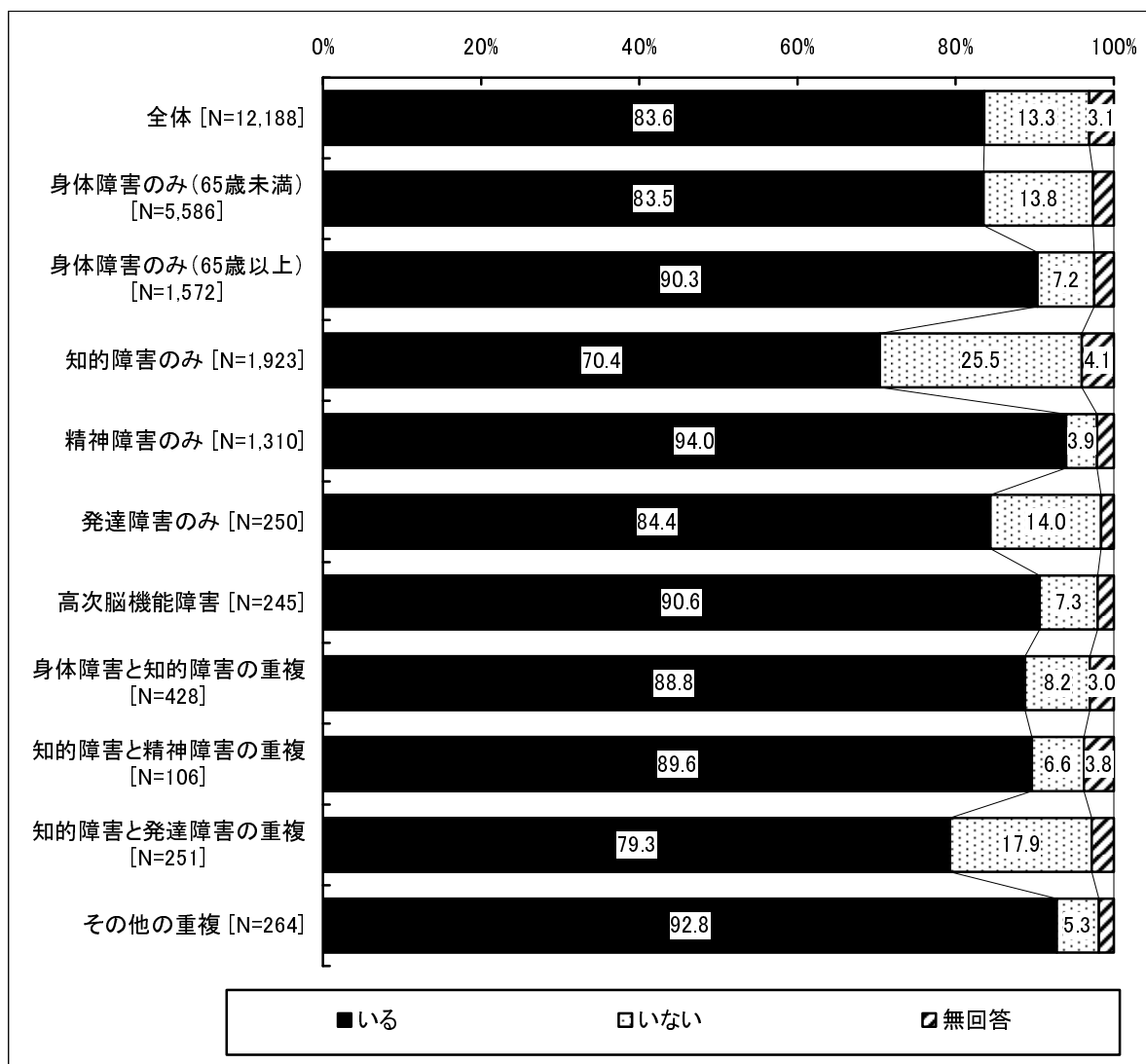
(3) 医療ケアの状況

①かかりつけ医の有無

かかりつけ医の有無について聞いたところ、「いる」の割合が83.6%、「いない」が13.3%となっています。

障害種別で見ると、「精神障害のみ」「その他の重複」等で「いる」が高い割合となっています。

図表22 かかりつけ医の有無 [N=12,188]

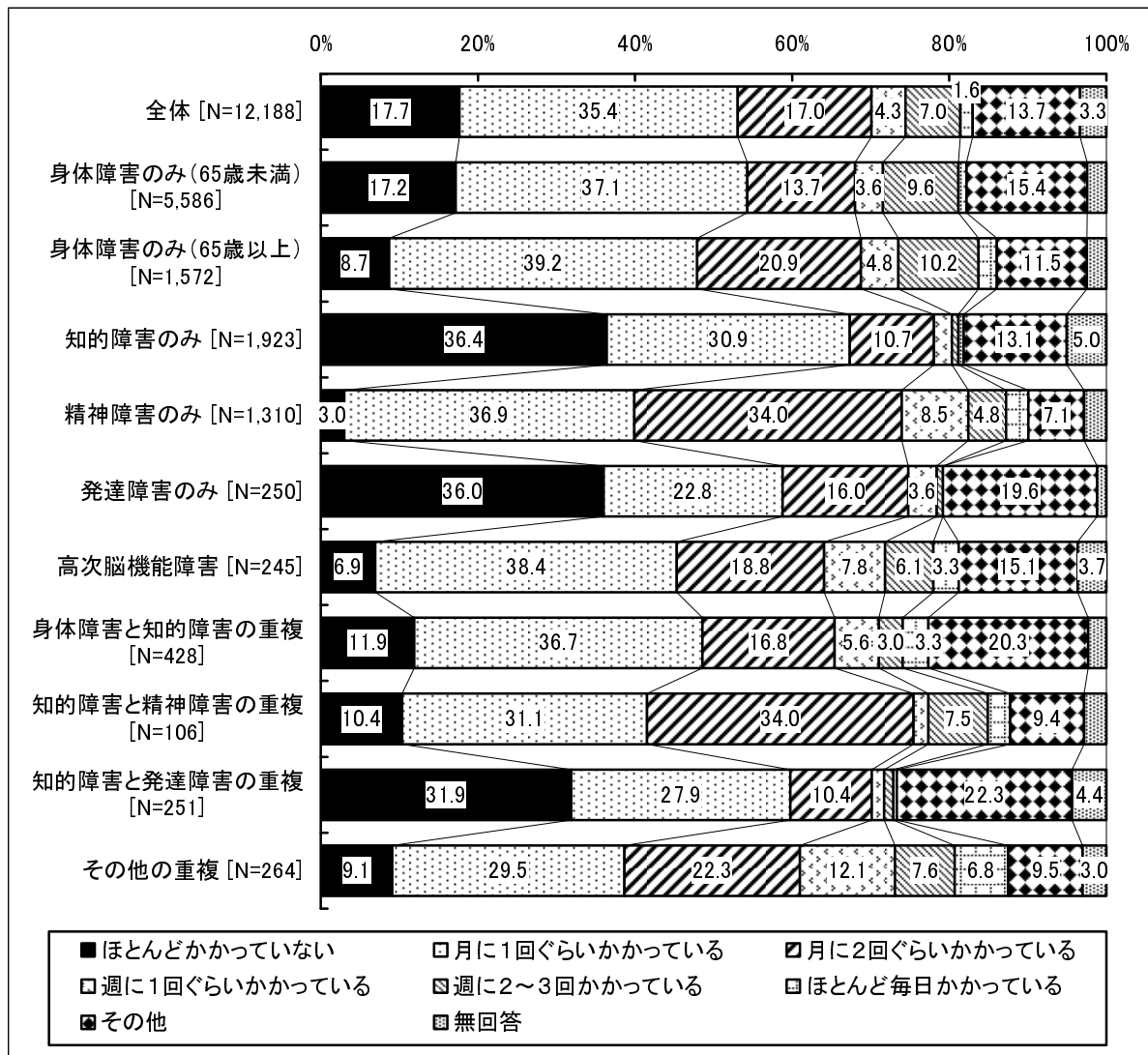


②医療機関の受診状況

医療機関の受診状況については、「月に1回ぐらいかかっている」の割合が35.4%と最も高く、次いで、「ほとんどかかっていない」が17.7%、「月に2回ぐらいかかっている」が17.0%となっています。

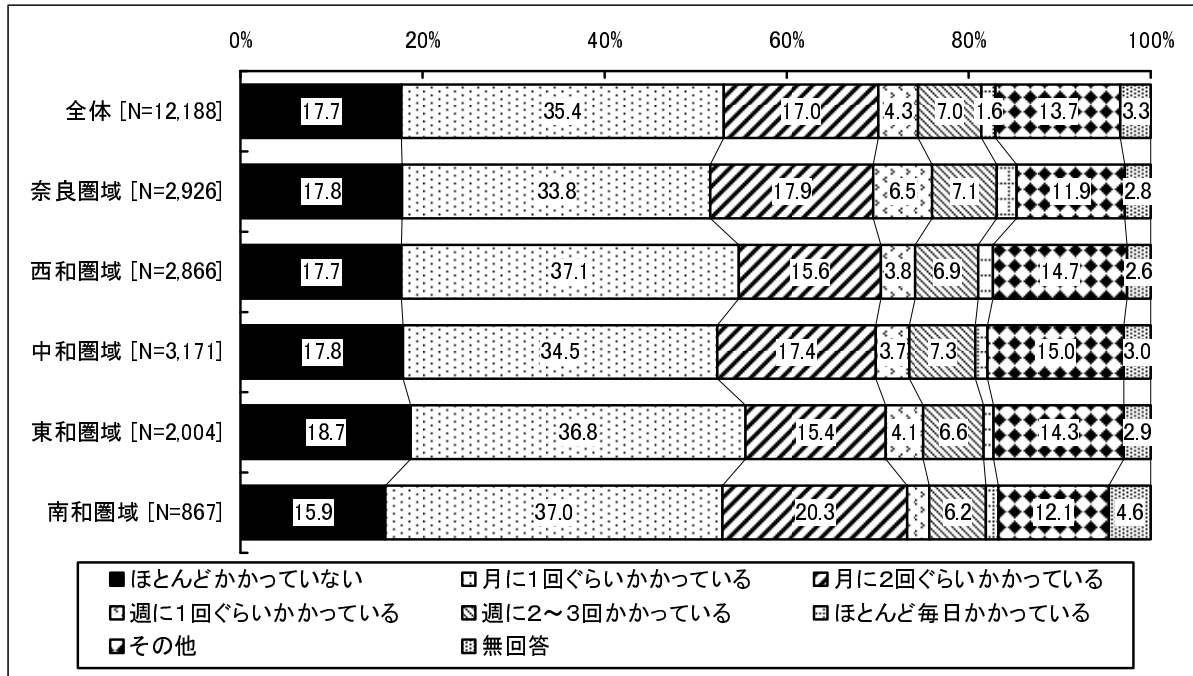
障害種別で見ると、「知的障害のみ」「発達障害のみ」等で「ほとんどかかっていない」が高い割合となっています。

図表23 医療機関の受診状況 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」では、他と比べて、月に2回ぐらいまでの受診がやや多く、毎週の受診は少ない傾向が見られます。

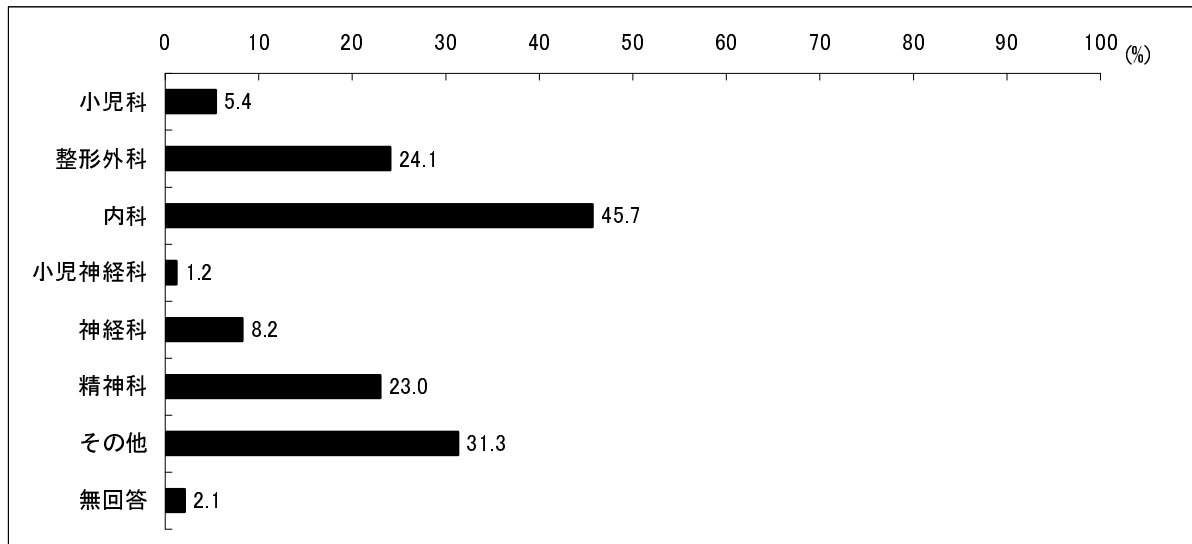
図表24 医療機関の受診状況（圏域別） [N=12,188]



③受診科目

前問「医療機関の受診状況」で、医療機関にかかっていると回答した人に、受診している科目について聞いたところ、「内科」の割合が45.7%と最も高くなっています。

図表25 受診科目 [N=7,960 ; 複数回答]



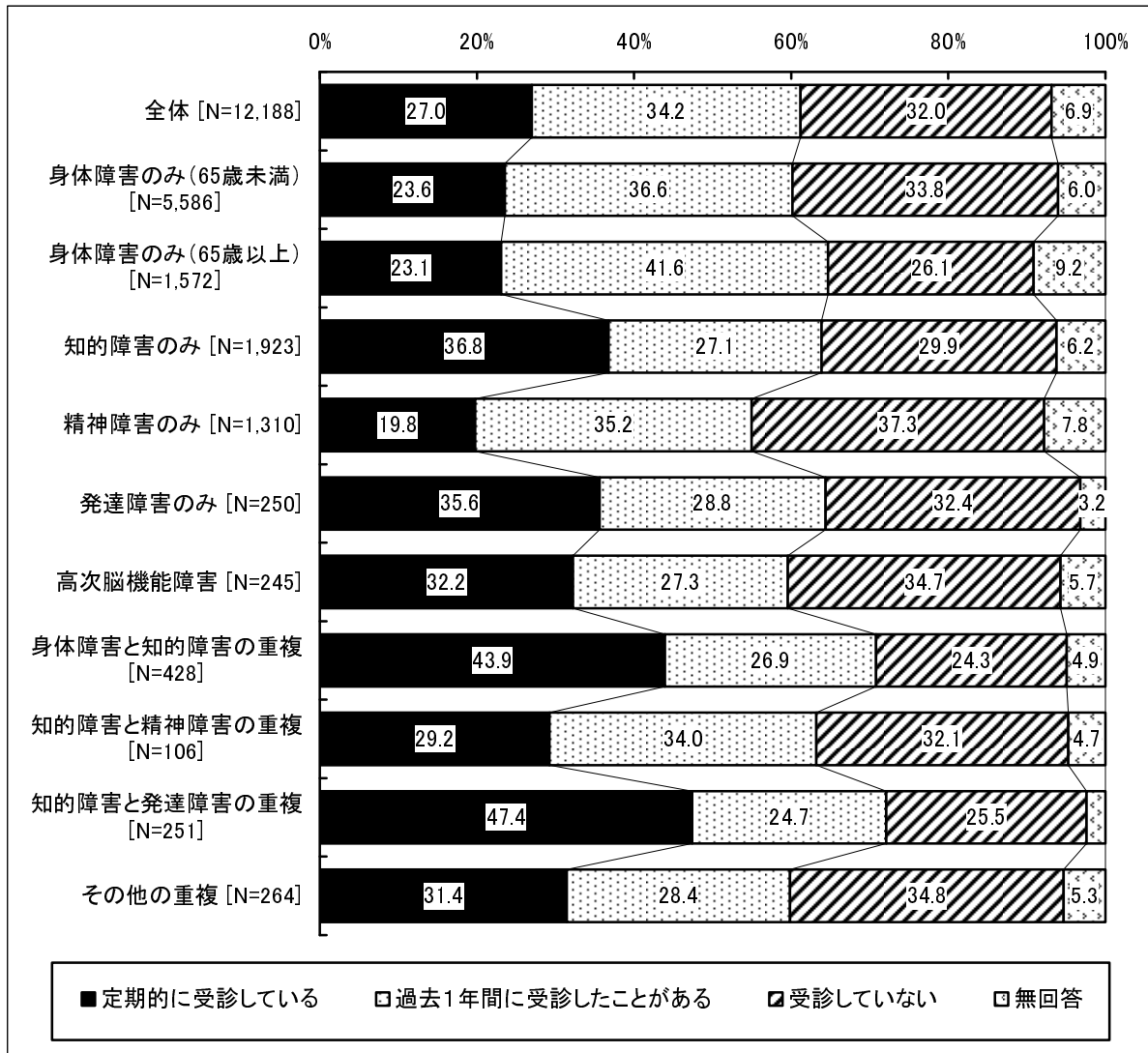
	全体	(65歳未満の身体障害)	(65歳以上の身体障害)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	7,960	3,631	1,216	874	1,141	108	182	280	82	104	207
小児科	5.4	2.2	0.0	11.9	0.4	42.6	7.1	28.9	2.4	45.2	22.2
整形外科	24.1	31.5	34.6	8.9	5.4	1.9	15.9	29.6	7.3	7.7	28.5
内科	45.7	53.7	68.8	37.0	15.0	11.1	45.1	37.9	20.7	9.6	30.9
小児神経科	1.2	0.4	0.1	1.5	0.2	3.7	2.7	8.6	3.7	10.6	9.2
神経科	8.2	7.2	7.9	10.1	6.6	2.8	23.1	10.7	9.8	2.9	13.0
精神科	23.0	3.0	1.6	34.1	92.0	29.6	16.5	16.1	87.8	30.8	53.1
その他	31.3	39.4	33.0	23.3	9.0	35.2	41.8	35.0	15.9	28.8	32.9
無回答	2.1	2.1	2.2	3.8	0.9	0.0	1.6	1.8	0.0	2.9	1.4

④ 歯科の受診状況

歯科の受診状況について聞いたところ、「過去1年間に受診したことがある」の割合が34.2%、「受診していない」が32.0%、「定期的に通診している」が27.0%となっています。

障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「身体障害と知的障害の重複」などで「定期的に通診している」が高い割合となっています。

図表26 歯科の受診状況 [N=12,188]

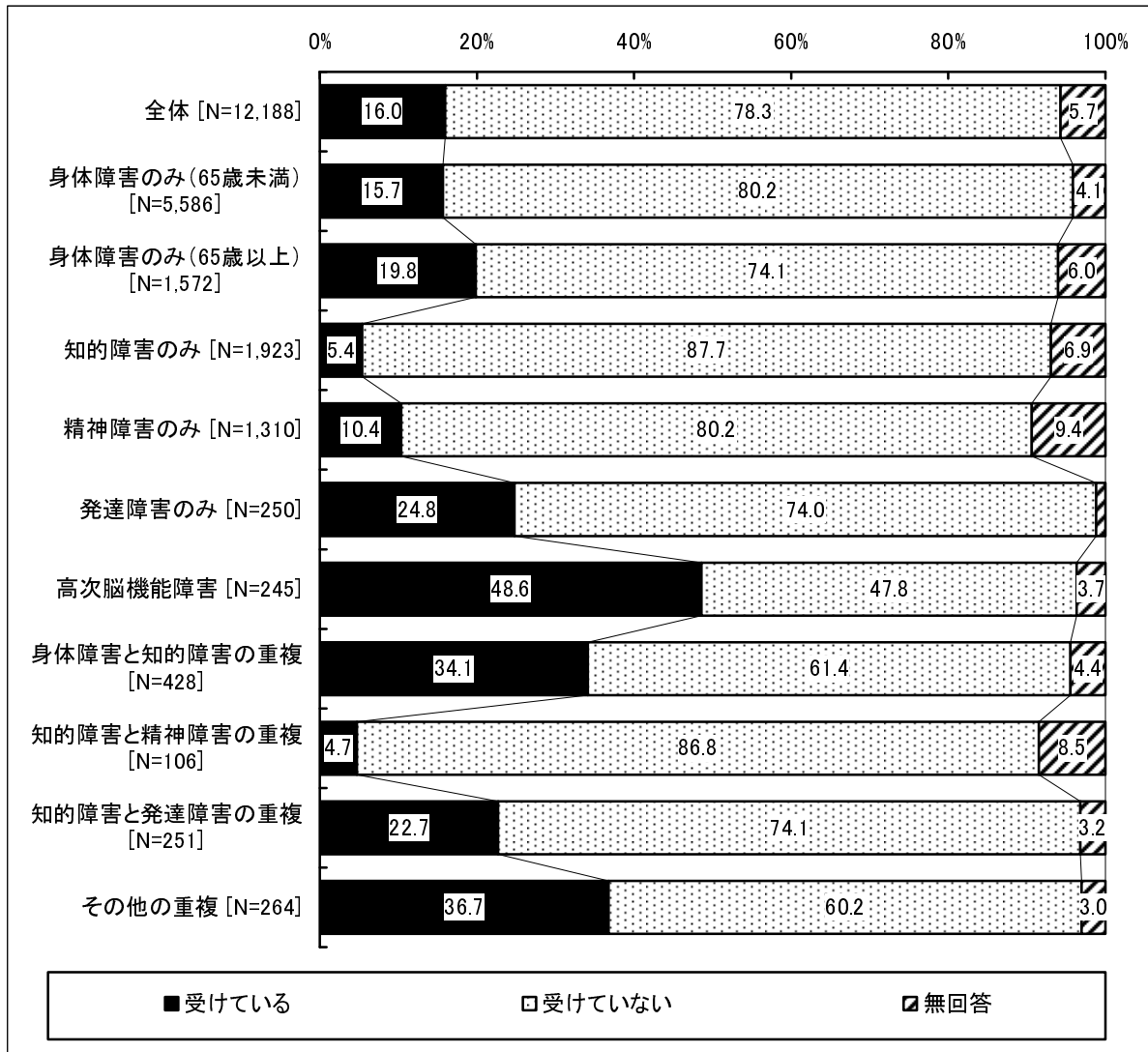


⑤リハビリの状況

リハビリの状況について聞いたところ、「受けていない」の割合が78.3%、「受けている」が16.0%となっています。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」で「受けている」が高い割合となっています。

図表27 リハビリの状況 [N=12,188]

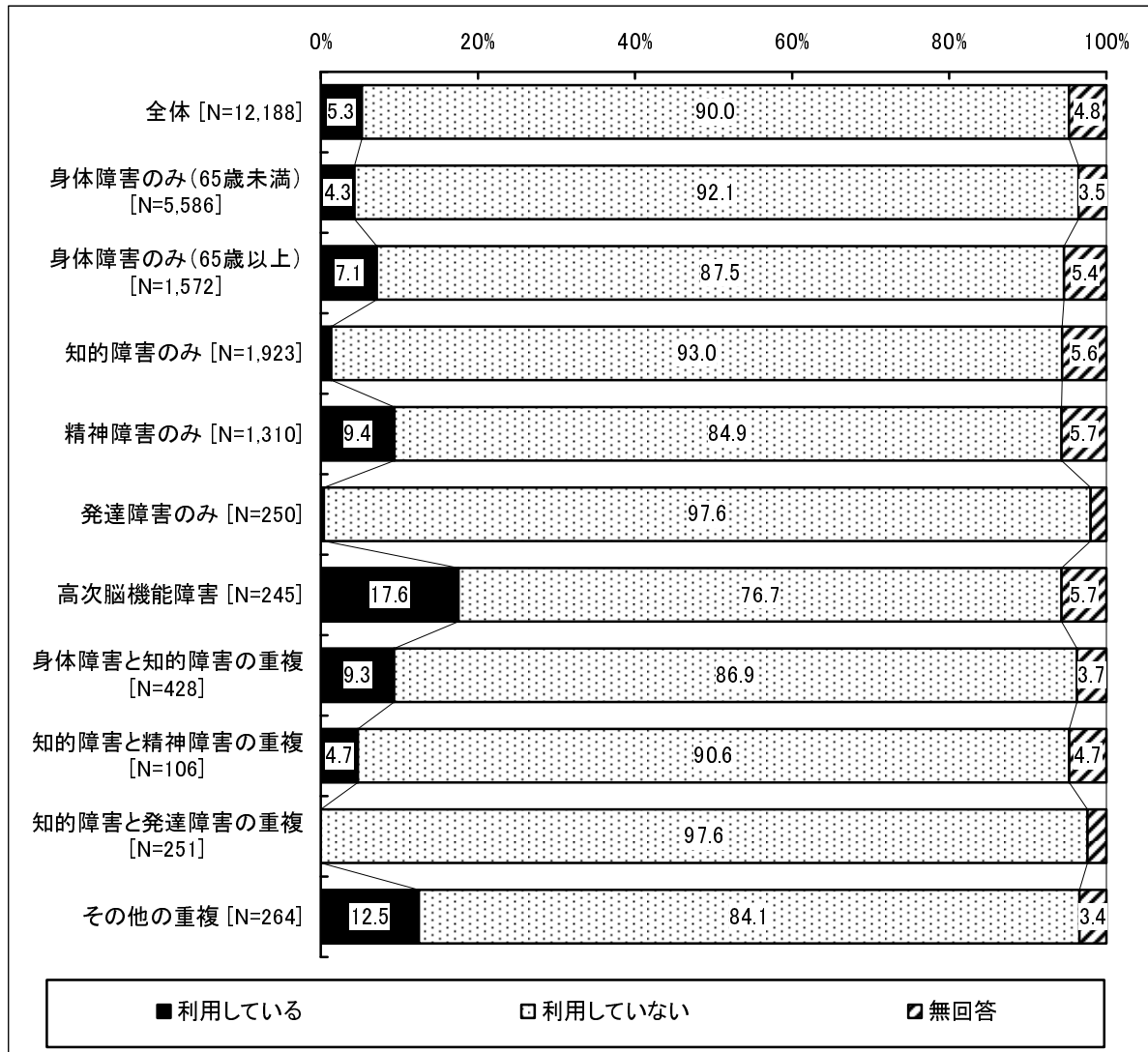


⑥訪問看護の利用状況

訪問看護の利用状況について聞いたところ、「利用していない」の割合が90.0%、「利用している」が5.3%となっています。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」で「利用している」が高い割合となっています。

図表28 訪問看護の利用状況 [N=12,188]

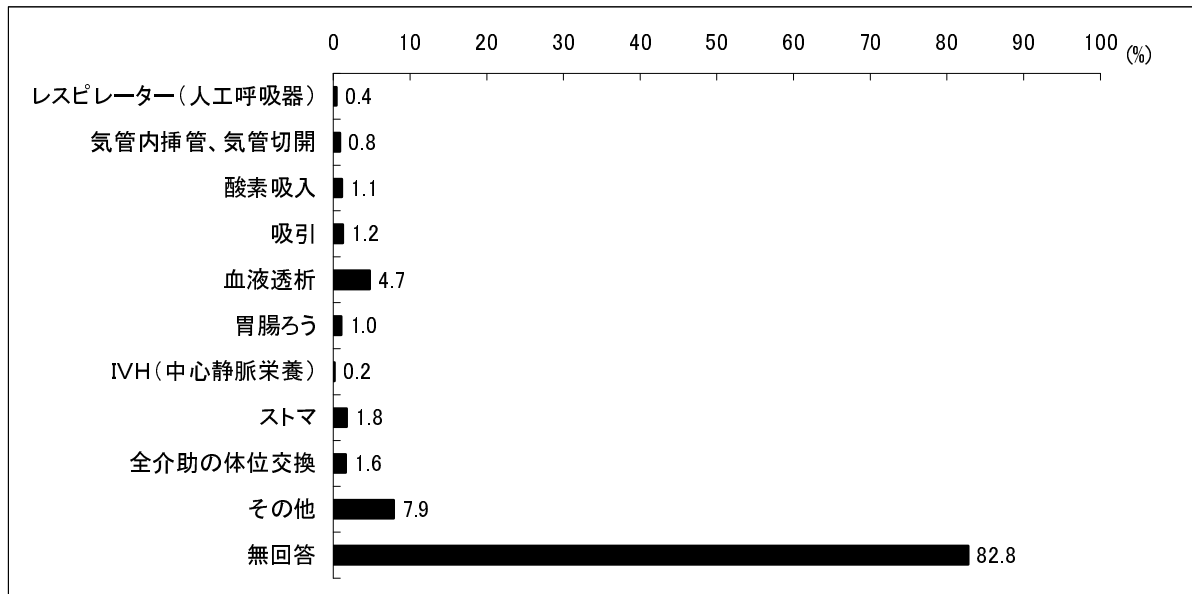


⑦受けている医療ケア

受けている医療ケアについて聞いたところ、「血液透析」が4.7%等となっていますが、無回答が多く、医療ケアに該当しない人が多くなっています。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」で「全介助の体位交換」「胃腸ろう」などが高い割合となっています。

図表29 受けている医療ケア [N=12,188 ; 複数回答]

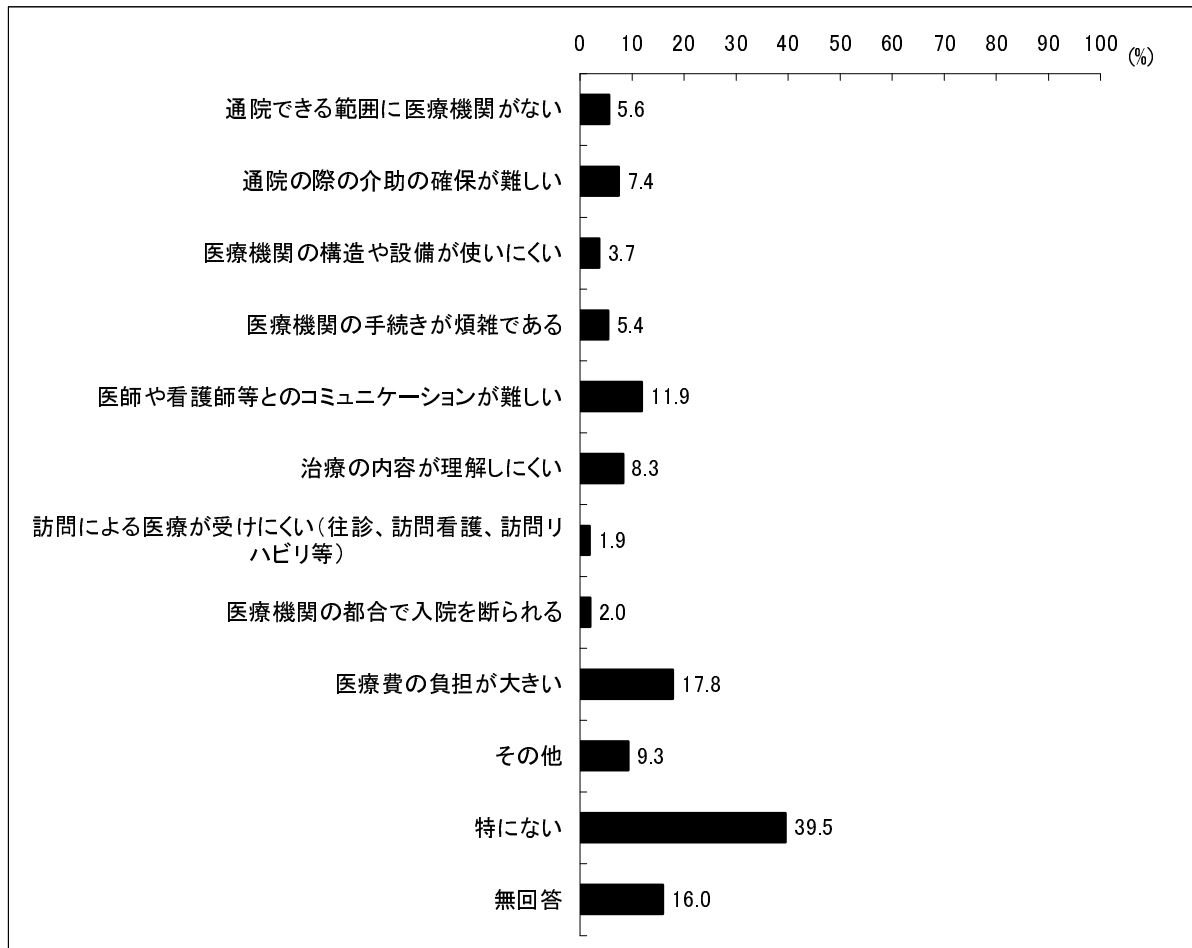


	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的障害	障害の重複と精神障害	障害の重複と発達障害	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
レスピレーター(人工呼吸器)	0.4	0.5	0.4	0.0	0.2	0.0	1.6	1.2	0.0	0.0	0.4
気管内挿管、気管切開	0.8	0.8	1.0	0.1	0.3	0.4	4.5	3.3	0.9	0.0	3.4
酸素吸入	1.1	1.3	1.6	0.1	0.4	0.4	2.9	1.6	0.0	0.0	4.5
吸引	1.2	1.1	1.3	0.1	0.2	0.0	6.9	6.1	0.0	0.4	5.7
血液透析	4.7	8.0	6.7	0.1	0.2	0.4	0.0	0.7	0.0	0.4	1.1
胃腸ろう	1.0	0.8	1.1	0.2	0.1	0.4	9.0	4.4	0.0	0.4	3.4
IVH(中心静脈栄養)	0.2	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
ストマ	1.8	2.5	4.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	1.1
全介助の体位交換	1.6	1.7	1.5	0.0	0.2	0.4	12.2	5.8	0.9	0.0	5.7
その他	7.9	8.8	9.7	3.7	9.8	2.4	10.2	8.2	6.6	2.0	8.3
無回答	82.8	77.9	76.2	95.7	88.7	96.0	73.9	83.4	91.5	96.8	78.0

⑧医療機関を受診する際に困ること

医療機関を受診する際に困ることについて聞いたところ、「医療費の負担が大きい」が17.8%、「医師や看護師等とのコミュニケーションが難しい」が11.9%等となっています。一方、「特にない」の割合は39.5%です。

図表30 医療機関を受診する際に困ること [N=12,188 ; 複数回答]



	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	障害の重複と精神	障害の重複と発達	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
通院できる範囲に医療機関がない	5.6	4.6	4.6	6.2	7.6	5.6	8.6	4.7	10.4	7.6	11.4
通院の際の介助の確保が難しい	7.4	6.2	5.6	8.7	6.3	2.8	17.6	15.9	13.2	10.8	17.0
医療機関の構造や設備が使いにくい	3.7	3.8	2.9	3.5	2.1	1.6	6.5	10.7	1.9	4.0	6.8
医療機関の手続きが煩雑である	5.4	3.1	3.3	8.7	11.0	2.4	8.2	8.9	13.2	6.4	8.0
医師や看護師等とのコミュニケーションが難しい	11.9	6.4	4.6	27.0	13.2	12.0	16.7	20.3	23.6	32.3	17.4
治療の内容が理解しにくい	8.3	3.9	3.4	20.0	11.0	4.0	11.4	14.7	18.9	15.9	13.3
訪問による医療が受けにくい(往診、訪問看護、訪問リハビリ等)	1.9	1.3	1.7	1.4	3.5	0.8	5.7	4.4	1.9	1.2	4.2
医療機関の都合で入院を断られる	2.0	1.4	1.1	2.4	4.1	0.4	4.1	3.3	0.9	2.0	4.2
医療費の負担が大きい	17.8	19.8	16.9	11.5	22.1	13.6	22.0	15.4	18.9	13.5	18.6
その他	9.3	7.8	6.7	9.9	11.7	19.6	12.7	9.8	15.1	22.3	15.2
特にない	39.5	46.9	46.1	28.7	32.7	40.8	24.5	25.2	21.7	25.5	21.6
無回答	16.0	13.2	18.6	20.1	16.0	14.0	13.9	18.2	12.3	11.2	15.9

医療機関を受診する際に困ることについて、身体障害の種別で見たところ、「聴覚・平衡機能障害」や「音声・言語機能・そしゃく機能障害」で「医師や看護師等とのコミュニケーションが難しい」の割合が高くなっています。また、「視覚障害」で「通院の際の介助の確保が難しい」も他と比べて高い割合です。

図表31 医療機関を受診する際に困ること（身体障害の種別） [N=12,188；複数回答]

	全体	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語機能障害・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害
N=	12,188	662	630	419	4,629	2,358
通院できる範囲に医療機関がない	5.6	7.4	4.3	6.2	5.2	4.5
通院の際の介助の確保が難しい	7.4	15.3	6.5	11.9	8.9	4.2
医療機関の構造や設備が使いにくい	3.7	7.7	3.7	5.7	5.3	2.4
医療機関の手続きが煩雑である	5.4	8.5	6.8	6.9	3.4	2.5
医師や看護師等とのコミュニケーションが難しい	11.9	8.2	37.6	24.6	5.0	4.0
治療の内容が理解しにくい	8.3	7.6	14.3	12.4	3.7	3.4
訪問による医療が受けにくい(往診、訪問看護、訪問リハビリ等)	1.9	3.0	1.4	6.2	2.3	1.1
医療機関の都合で入院を断られる	2.0	2.4	1.9	2.6	2.0	1.4
医療費の負担が大きい	17.8	17.5	15.2	17.4	19.5	19.8
その他	9.3	11.3	8.4	8.6	8.2	8.3
特になし	39.5	35.0	26.7	23.4	43.2	51.1
無回答	16.0	14.5	13.5	17.2	14.9	12.1

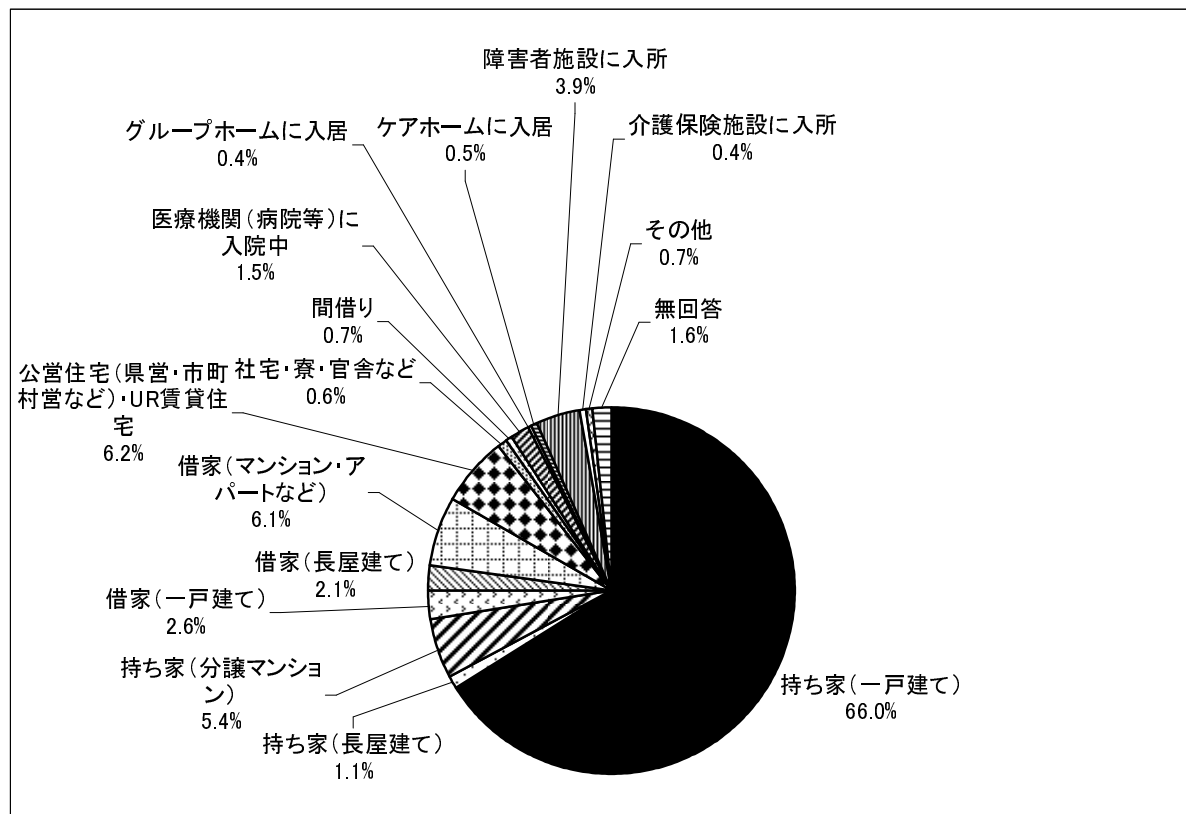
(4) 住まいの状況

①現在の住まい

現在の住まいは、「持ち家（一戸建て）」の割合が66.0%と7割近くを占めています。

障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」で「障害者施設に入所」の割合が高くなっています。

図表32 現在の住まい [N=12,188]

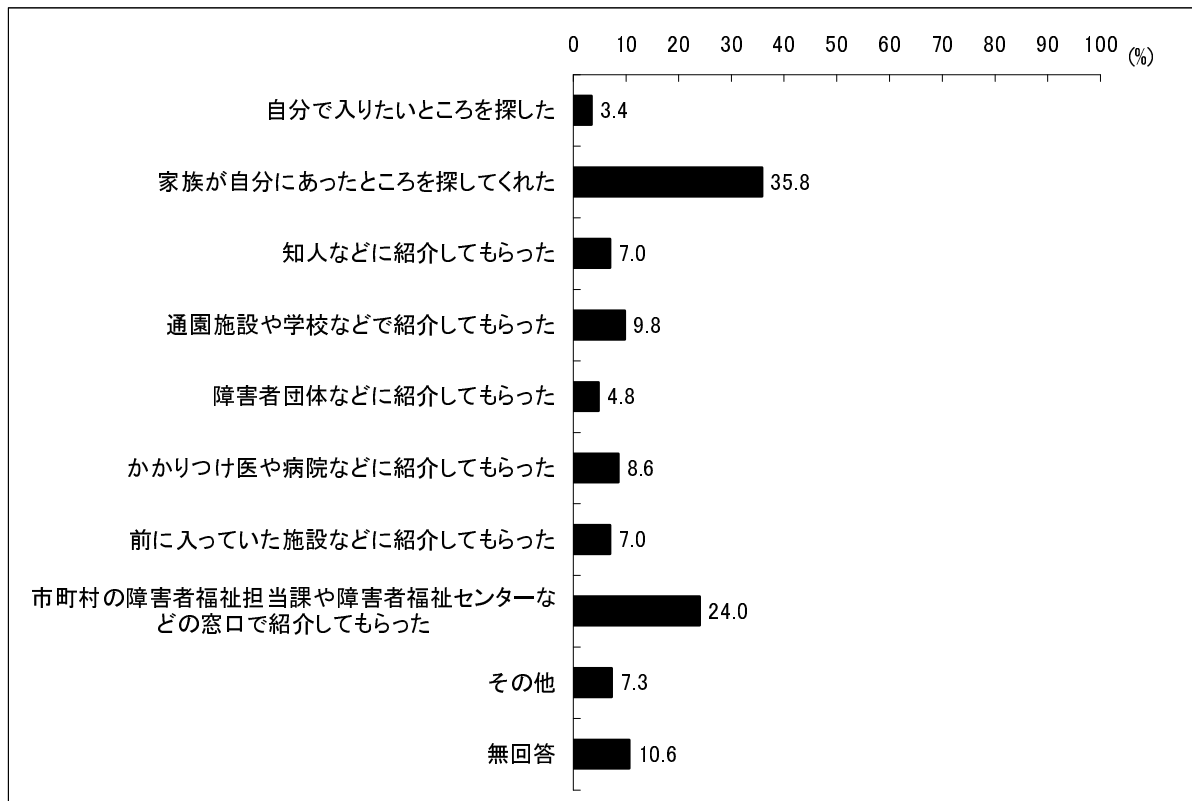


	全体	(65歳未満の身体障害)	(65歳以上の身体障害)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的障害	障害の重複と精神障害	知的障害と精神障害の重複	障害の重複と発達障害	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264	
持ち家（一戸建て）	66.0	70.5	78.1	59.7	53.1	66.0	60.8	52.8	52.8	63.3	59.1	
持ち家（長屋建て）	1.1	1.2	1.3	1.0	1.1	0.0	0.0	0.9	1.9	0.4	1.1	
持ち家（分譲マンション）	5.4	5.8	3.2	5.4	5.1	12.0	5.3	5.4	6.6	10.0	4.9	
借家（一戸建て）	2.6	2.8	1.9	2.3	3.1	1.2	3.3	1.6	0.9	4.4	1.9	
借家（長屋建て）	2.1	2.2	2.5	1.8	3.4	0.8	0.8	1.2	2.8	0.8	0.8	
借家（マンション・アパートなど）	6.1	5.9	2.5	4.7	12.4	8.4	5.3	4.4	10.4	8.4	7.6	
公営住宅（県営・市町村営など）・UR賃貸住宅	6.2	6.4	5.4	5.3	9.4	5.2	5.3	3.7	0.9	3.6	5.3	
社宅・寮・官舎など	0.6	0.5	0.3	1.0	0.8	1.2	0.4	0.2	0.0	1.6	0.4	
間借り	0.7	0.6	0.4	0.6	1.1	0.8	0.4	1.4	0.0	0.4	2.3	
医療機関（病院等）に入院中	1.5	1.1	0.7	0.5	3.9	0.0	6.9	4.4	2.8	0.4	4.9	
グループホームに入居	0.4	0.0	0.1	1.0	0.9	0.0	0.4	1.6	1.9	0.0	0.8	
ケアホームに入居	0.5	0.1	0.3	2.1	0.2	0.0	0.8	1.4	1.9	0.8	0.8	
障害者施設に入所	3.9	1.2	0.6	12.0	1.5	1.6	4.5	18.5	9.4	4.8	8.3	
介護保険施設に入所	0.4	0.3	1.1	0.1	0.2	0.0	3.3	0.2	0.0	0.0	0.8	
その他	0.7	0.3	0.4	1.2	1.5	0.0	1.6	0.9	3.8	0.4	0.4	
無回答	1.6	1.1	1.1	1.5	2.4	2.8	0.8	1.2	3.8	0.8	0.8	

②現在の入居・入所先の利用経緯

前問「現在の住まい」で「グループホームに入居」「ケアホームに入居」「障害者施設に入所」「介護保険施設に入所」と回答した人に、現在の入居・入所先の利用経緯について聞いたところ、「家族が自分にあったところを探してくれた」の割合が35.8%と最も高く、次いで、「市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口で紹介してもらった」が24.0%となっています。

図表33 現在の入居・入所先の利用経緯 [N=642；複数回答]

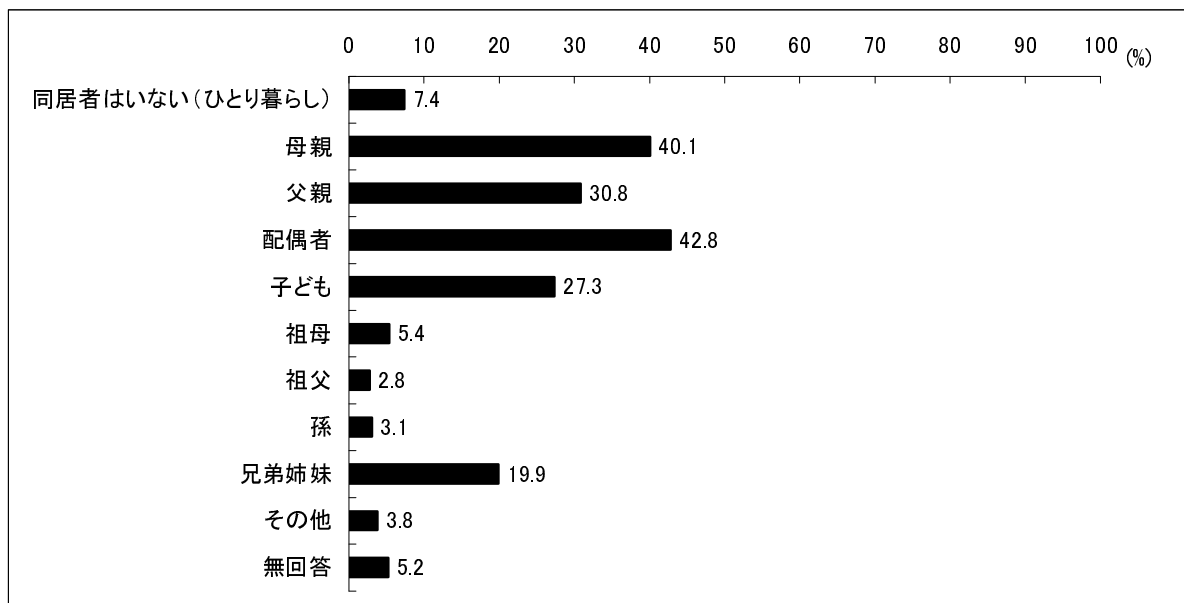


③同居家族

「現在の住まい」で入居・入所施設以外を回答した人に、同居家族について聞いたところ、「配偶者」の割合が42.8%、「母親」が40.1%、「父親」が30.8%、「子ども」が27.3%等となっています。

障害種別で見ると、「精神障害のみ」で「同居者はいない（ひとり暮らし）」の割合が高くなっています。

図表34 同居家族 [N=11,073 ; 複数回答]



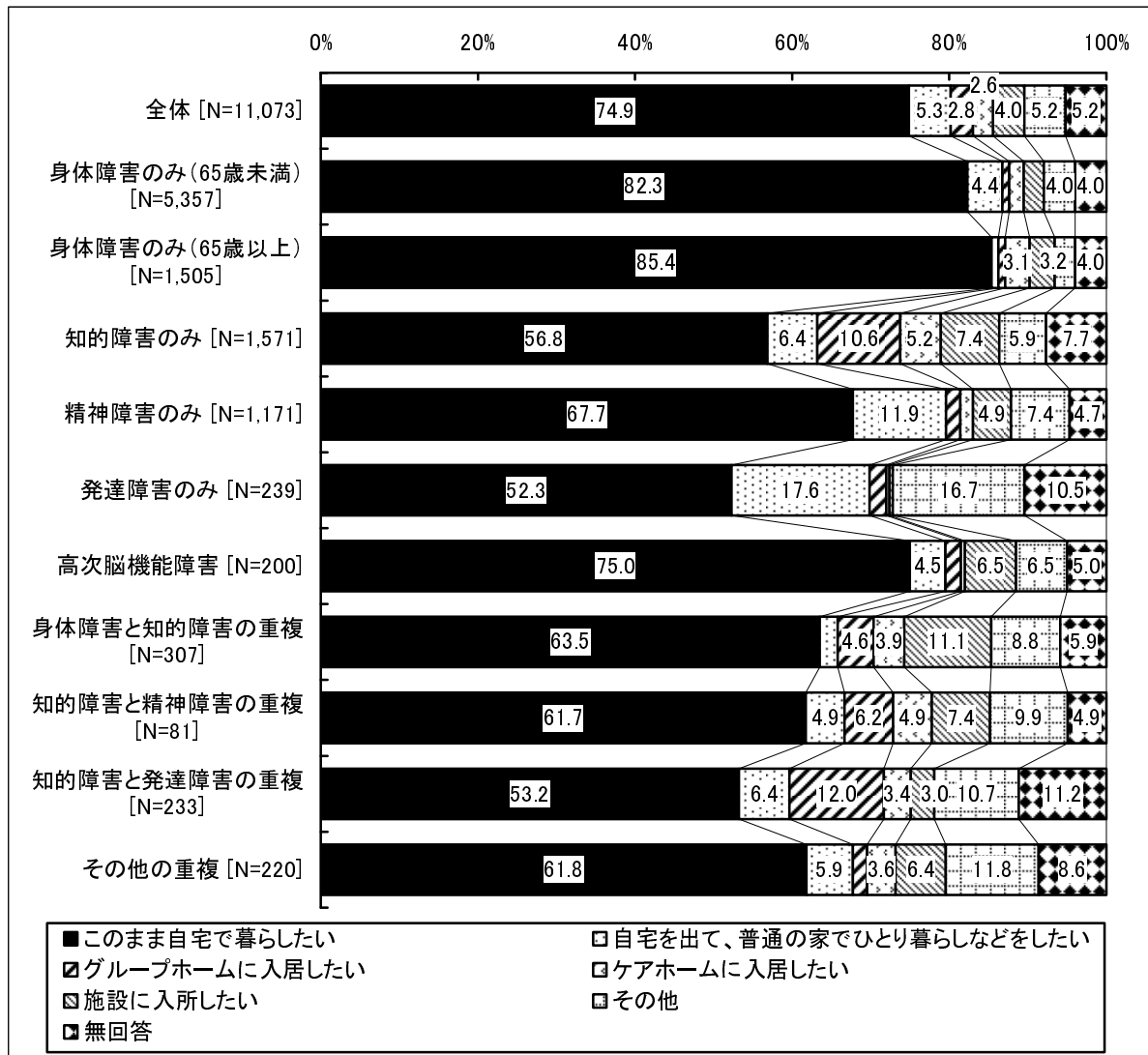
	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的障害の重複	知的障害の重複と精神障害の重複	知的障害の重複と発達障害の重複	その他の重複
N=	11,073	5,357	1,505	1,571	1,171	239	200	307	81	233	220
同居者はいない(ひとり暮らし)	7.4	8.0	8.4	2.1	14.9	1.7	1.0	1.0	7.4	0.0	10.0
母親	40.1	26.5	4.2	84.0	48.5	90.0	44.5	88.3	77.8	92.3	68.2
父親	30.8	16.8	0.9	73.1	36.1	80.8	35.5	74.3	56.8	87.6	59.1
配偶者	42.8	59.6	72.5	1.8	19.6	2.5	45.0	2.6	1.2	1.3	11.8
子ども	27.3	41.1	33.2	2.2	12.8	6.3	31.5	1.6	0.0	4.3	7.3
祖母	5.4	3.0	0.6	13.4	3.8	19.2	7.0	14.3	6.2	15.9	8.2
祖父	2.8	1.4	0.1	6.7	1.6	12.6	3.0	6.8	2.5	12.4	3.6
孫	3.1	3.0	9.4	0.5	0.8	0.4	3.5	0.7	1.2	0.0	1.8
兄弟姉妹	19.9	8.9	1.3	52.7	17.2	62.8	20.5	56.4	35.8	72.1	37.3
その他	3.8	3.8	2.7	3.6	4.4	4.2	4.0	2.6	7.4	2.6	4.1
無回答	5.2	5.0	6.4	4.4	7.3	2.1	5.0	2.0	4.9	3.4	3.6

④将来暮らしたい場所

「現在の住まい」で入居・入所施設以外を回答した人に、将来暮らしたい場所について聞いたところ、「このまま自宅で暮らしたい」の割合が74.9%と7割以上を占めています。

障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「知的障害のみ」で「グループホームに入居したい」が1割程度見られます。

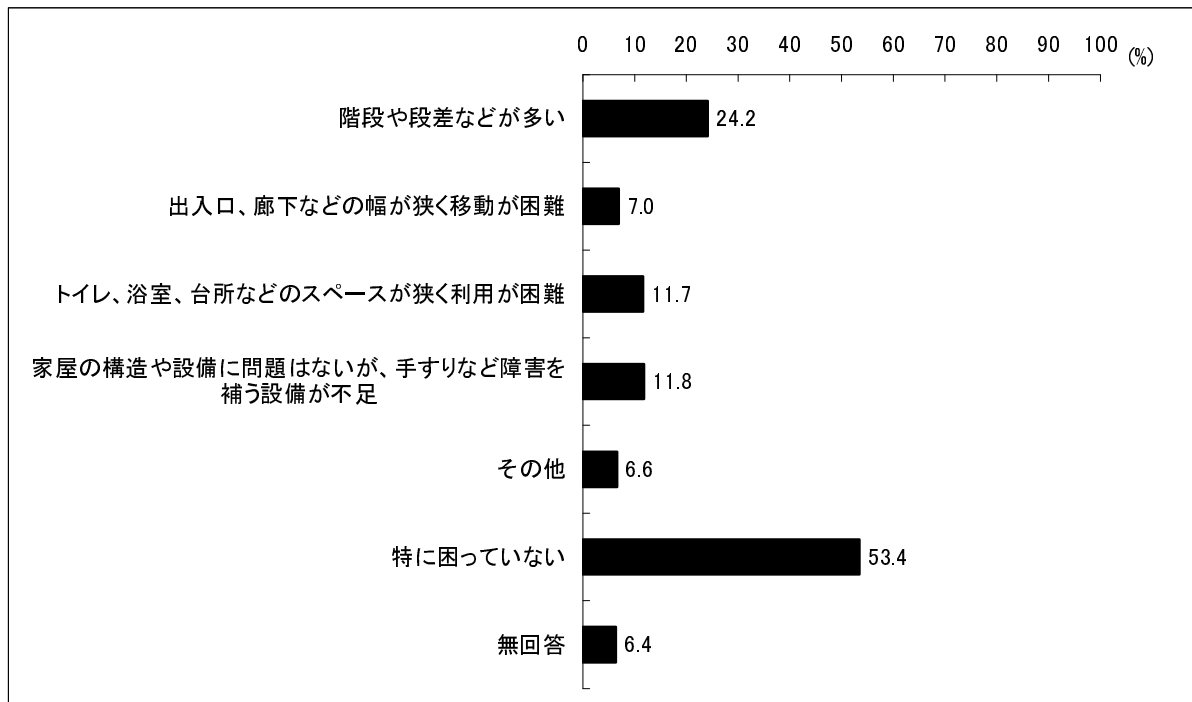
図表35 将来暮らしたい場所 [N=11,073]



⑤ 自宅で不便なところ

「現在の住まい」で入居・入所施設以外を回答した人に、自宅で不便なところについて聞いたところ、「階段や段差などが多い」が24.2%等となっています。一方、「特に困っていない」の割合は53.4%となっています。

図表36 自宅で不便なところ [N=11,073 ; 複数回答]

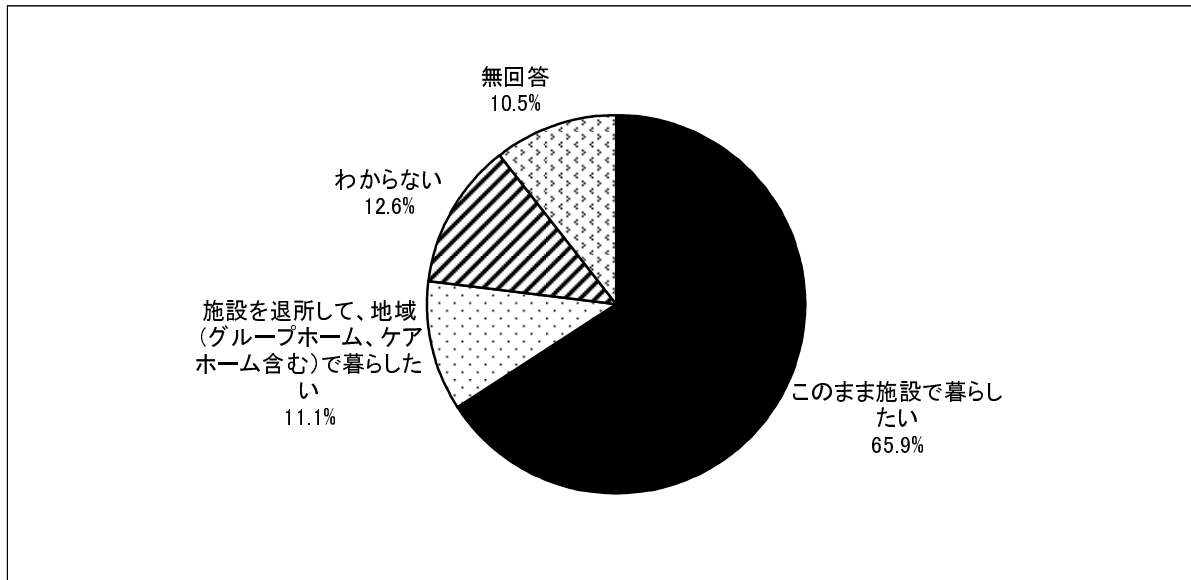


	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	11,073	5,357	1,505	1,571	1,171	239	200	307	81	233	220
階段や段差などが多い	24.2	30.1	28.8	8.3	16.4	6.3	35.0	32.6	18.5	3.0	29.1
出入口、廊下などの幅が狭く移動が困難	7.0	7.9	6.1	2.5	5.4	2.5	20.0	17.3	3.7	1.7	15.0
トイレ、浴室、台所などのスペースが狭く利用が困難	11.7	12.3	9.8	7.3	12.0	3.8	25.0	25.1	14.8	6.4	22.3
家屋の構造や設備に問題はないが、手すりなど障害を補う設備が不足	11.8	15.2	15.8	3.9	5.6	0.8	17.5	15.3	6.2	3.9	9.1
その他	6.6	5.9	5.8	5.1	8.9	7.5	13.5	9.1	8.6	11.6	12.3
特に困っていない	53.4	49.4	47.9	70.9	57.5	77.0	35.0	33.9	60.5	71.7	43.2
無回答	6.4	4.5	5.9	9.4	10.5	6.7	5.0	6.8	4.9	6.4	5.5

⑥将来地域で生活したいか

「現在の住まい」で「障害者施設に入所」と回答した人に、将来地域での生活を希望するかを聞いたところ、「このまま施設で暮らしたい」の割合が65.9%となっています。「施設を退所して、地域（グループホーム、ケアホーム含む）で暮らしたい」は11.1%となっています。

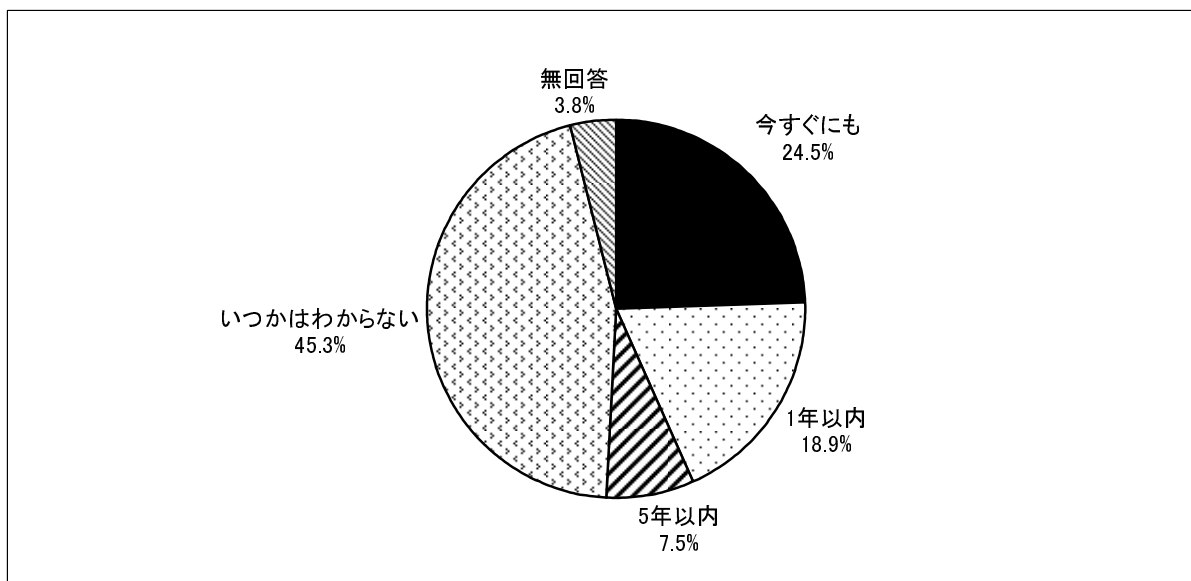
図表37 将来地域で生活したいか [N=478]



⑦地域での生活について

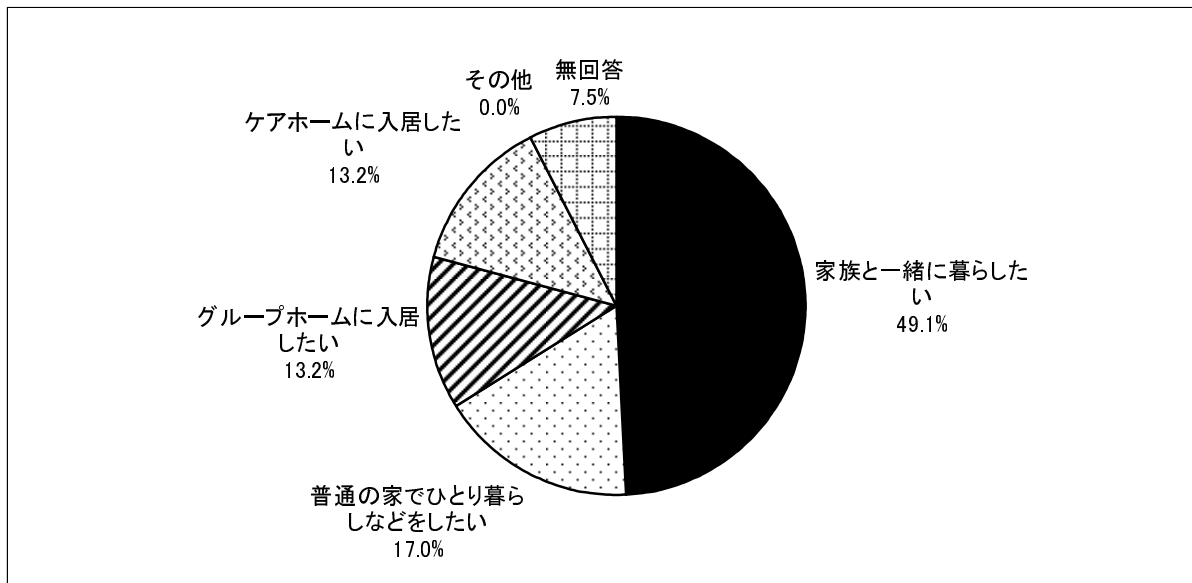
前問「将来地域で生活したいか」で、「施設を退所して、地域（グループホーム、ケアホーム含む）で暮らしたい」と回答した人に、施設を退所したい時期について聞いたところ、「いつかはわからない」の割合が45.3%と最も高く、次いで、「今すぐにも」が24.5%、「1年以内」が18.9%となっています。

図表38 施設を退所したい時期 [N=53]



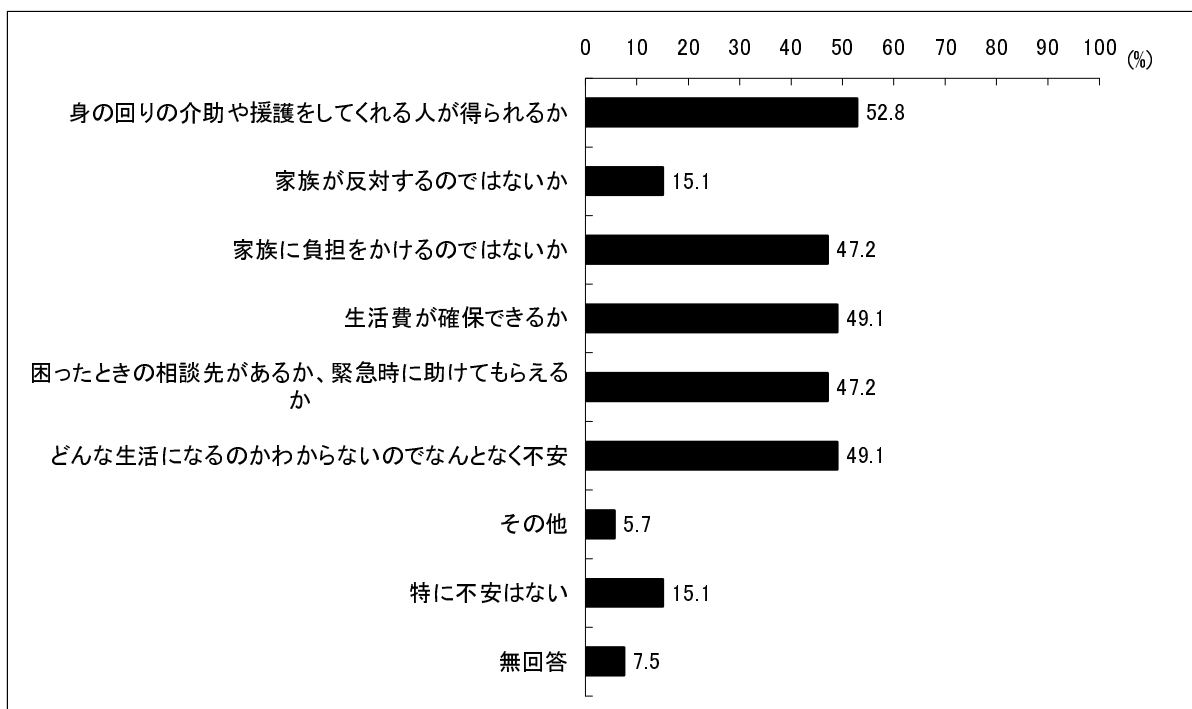
また、地域での暮らし方の希望について聞いたところ、「家族と一緒に暮らしたい」の割合が49.1%を占めています。

図表39 地域での暮らし方の希望 [N=53]



さらに、地域で暮らすことの不安について聞いたところ、「身の回りの介助や援護をしてくれる人が得られるか」の割合が52.8%と最も高く、次いで、「生活費が確保できるか」「どんな生活になるのかわからないのでなんとなく不安」がいずれも49.1%、「家族に負担をかけるのではないか」「困ったときの相談先があるか、緊急時に助けてもらえるか」がいずれも47.2%となっています。

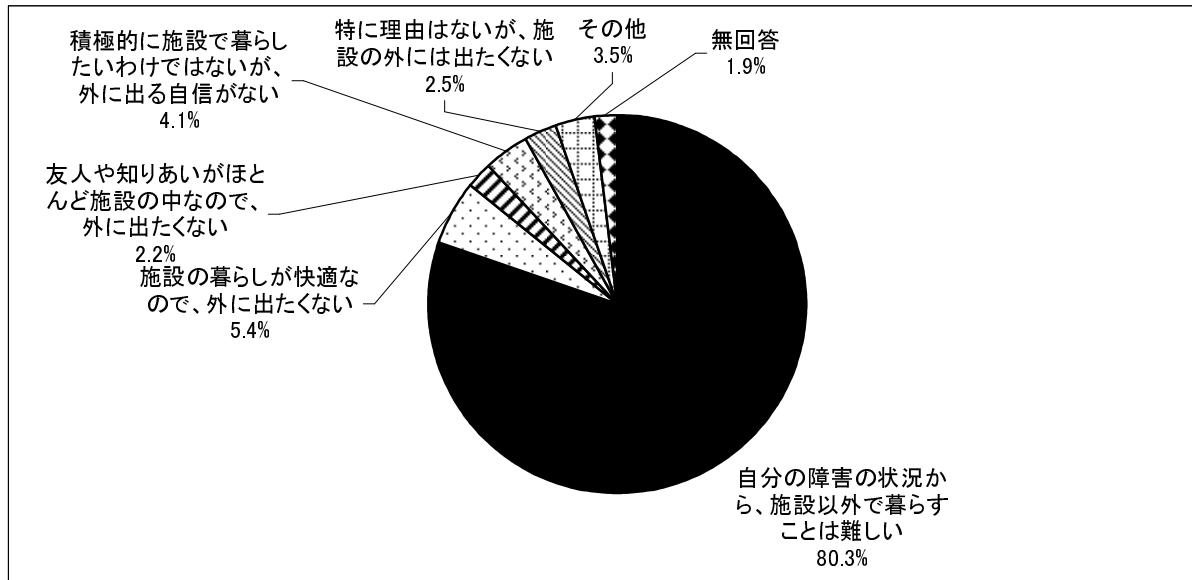
図表40 地域で暮らすことの不安 [N=53 ; 複数回答]



⑧このまま施設で暮らしたい理由

「将来地域で生活したいか」で「このまま施設で暮らしたい」と回答した人に、このまま施設で暮らしたい理由を聞いたところ、「自分の障害の状況から、施設以外で暮らすことは難しい」の割合が80.3%を占めています。

図表41 このまま施設で暮らしたい理由 [N=315]



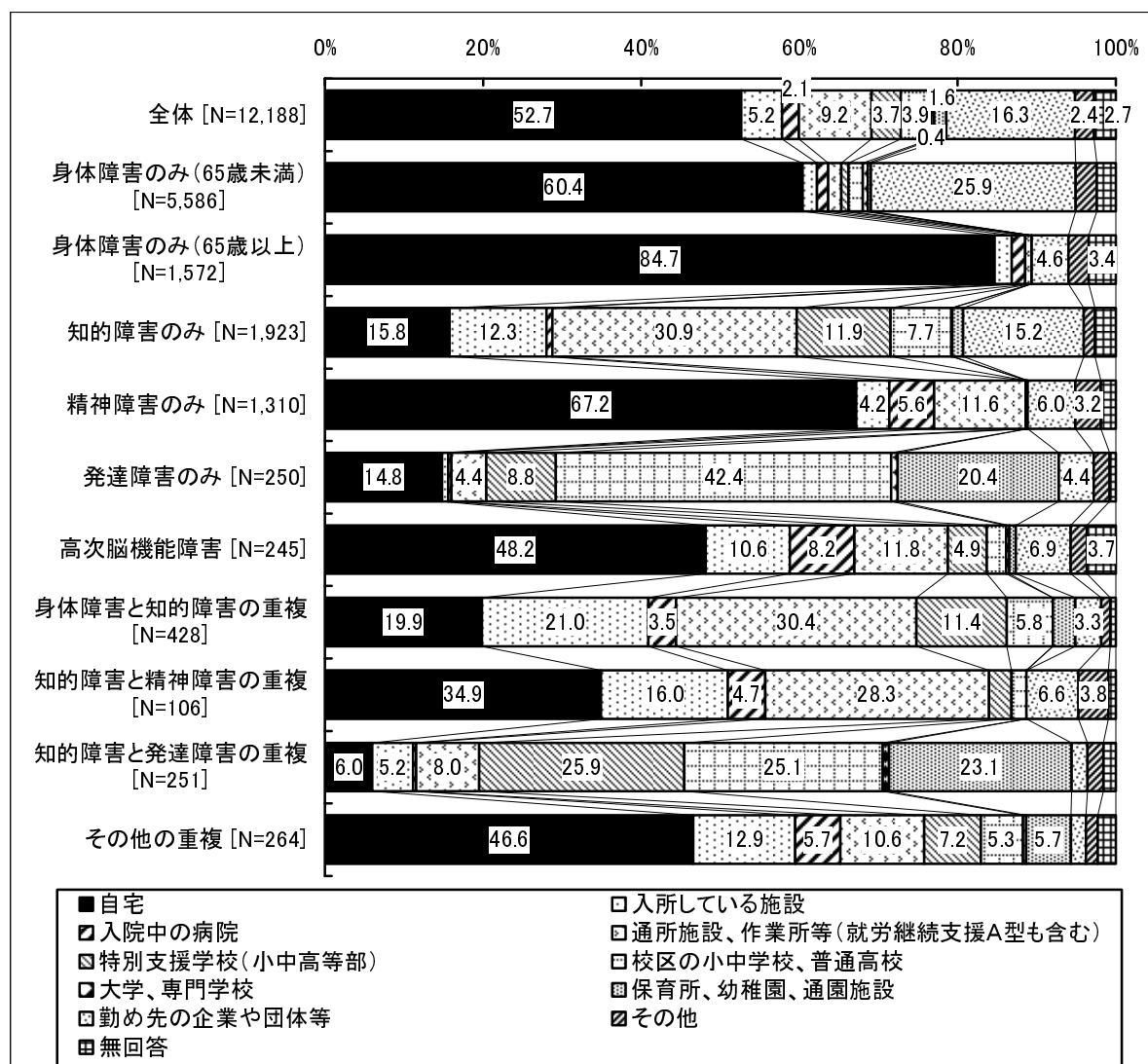
(5) 日常生活について

①平日の昼間の居場所

平日の昼間の居場所について聞いたところ、「自宅」の割合が52.7%と最も高く、半数を占めます。次いで、「勤め先の企業や団体等」が16.3%、「通所施設、作業所等（就労継続支援A型も含む）」が9.2%となっています。

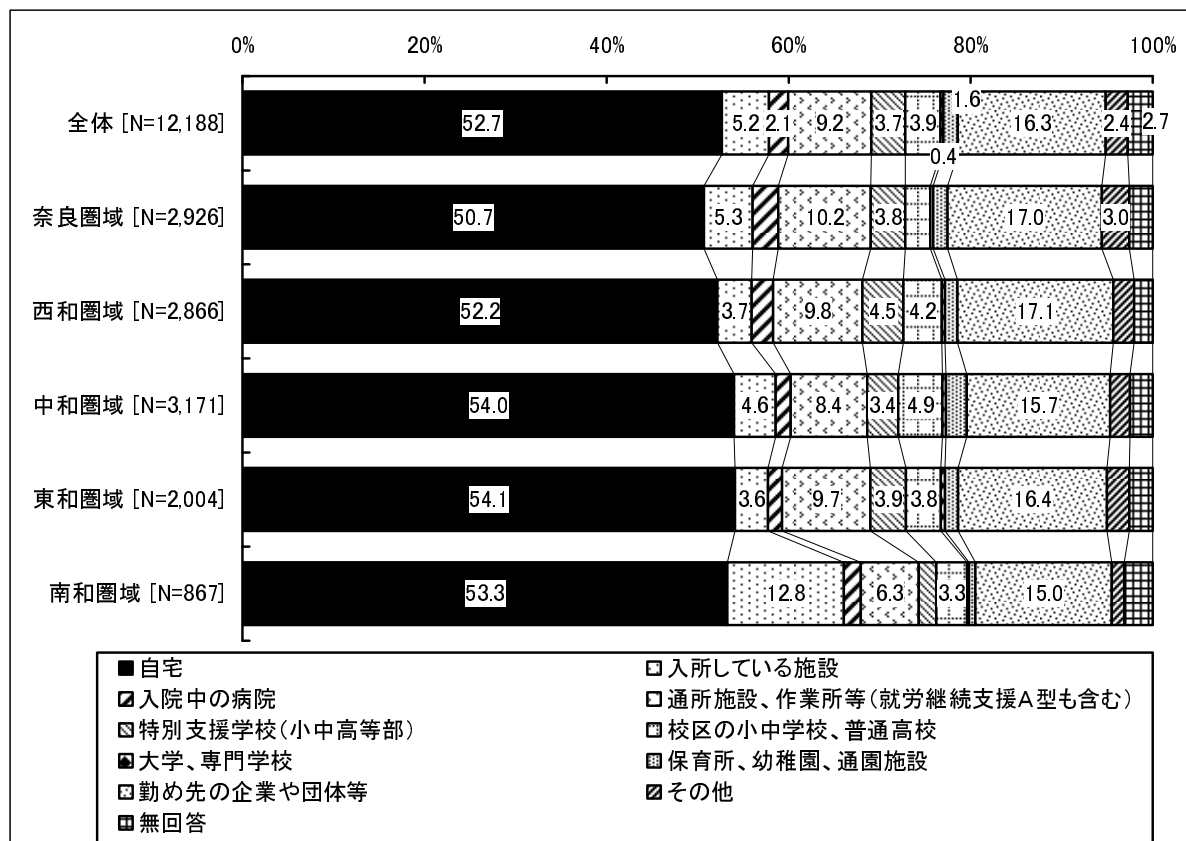
障害種別で見ると、「身体障害のみ（65歳未満）」で「勤め先の企業や団体等」、「知的障害のみ」で「通所施設、作業所等」などが比較的高い割合となっています。

図表42 平日の昼間の居場所 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」では「入所している施設」が高い割合となっており、「通所施設、作業所等（就労継続支援A型も含む）」の割合は低くなっています。

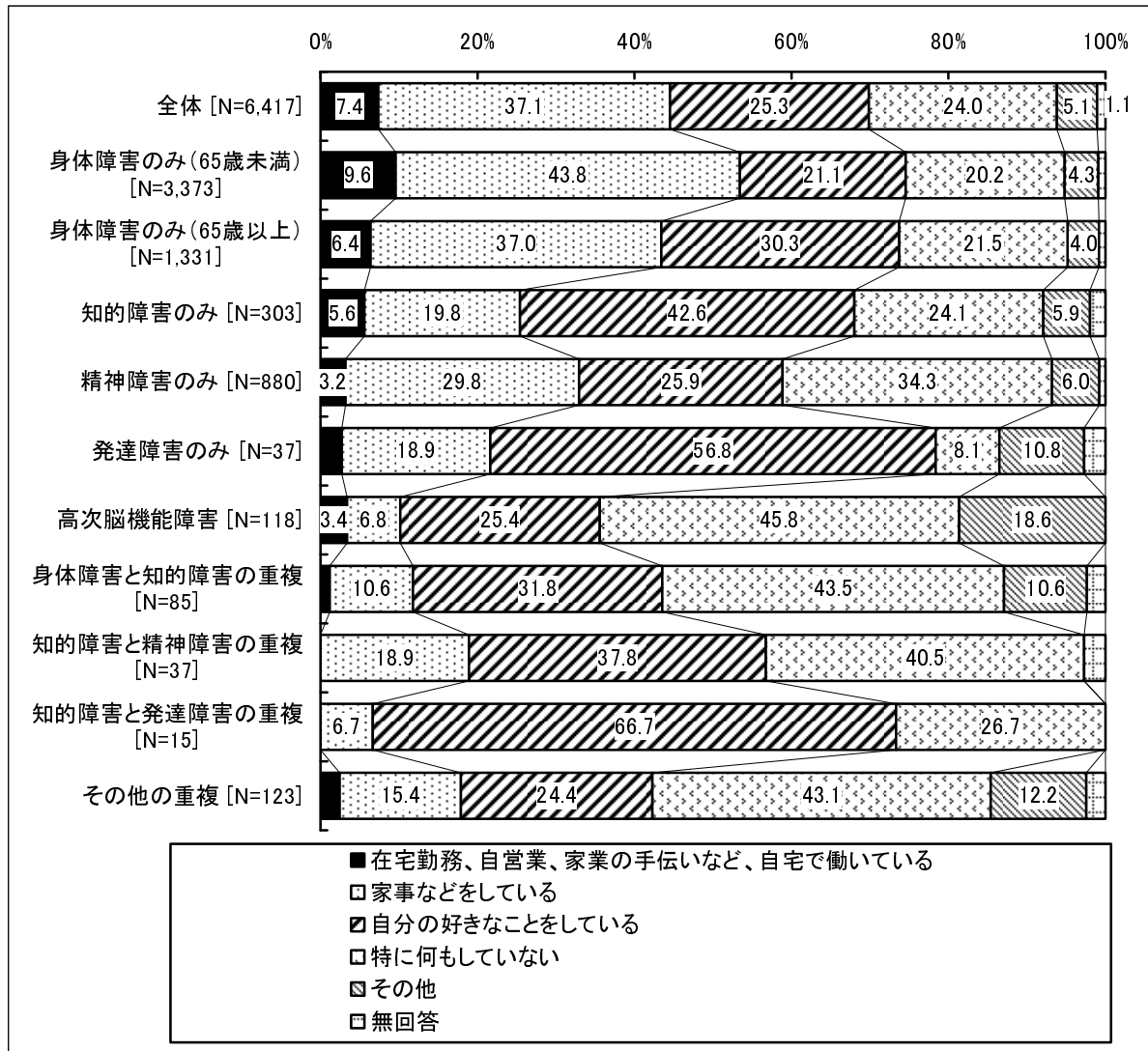
図表43 平日の昼間の居場所（圏域別） [N=12,188]



②平日に自宅でしていること

前問「平日の昼間の居場所」で「自宅」と回答した人に、平日に自宅でしていることについて聞いたところ、「家事などをしている」の割合が37.1%と最も高く、次いで、「自分の好きなことをしている」が25.3%、「特に何もしていない」が24.0%となっています。

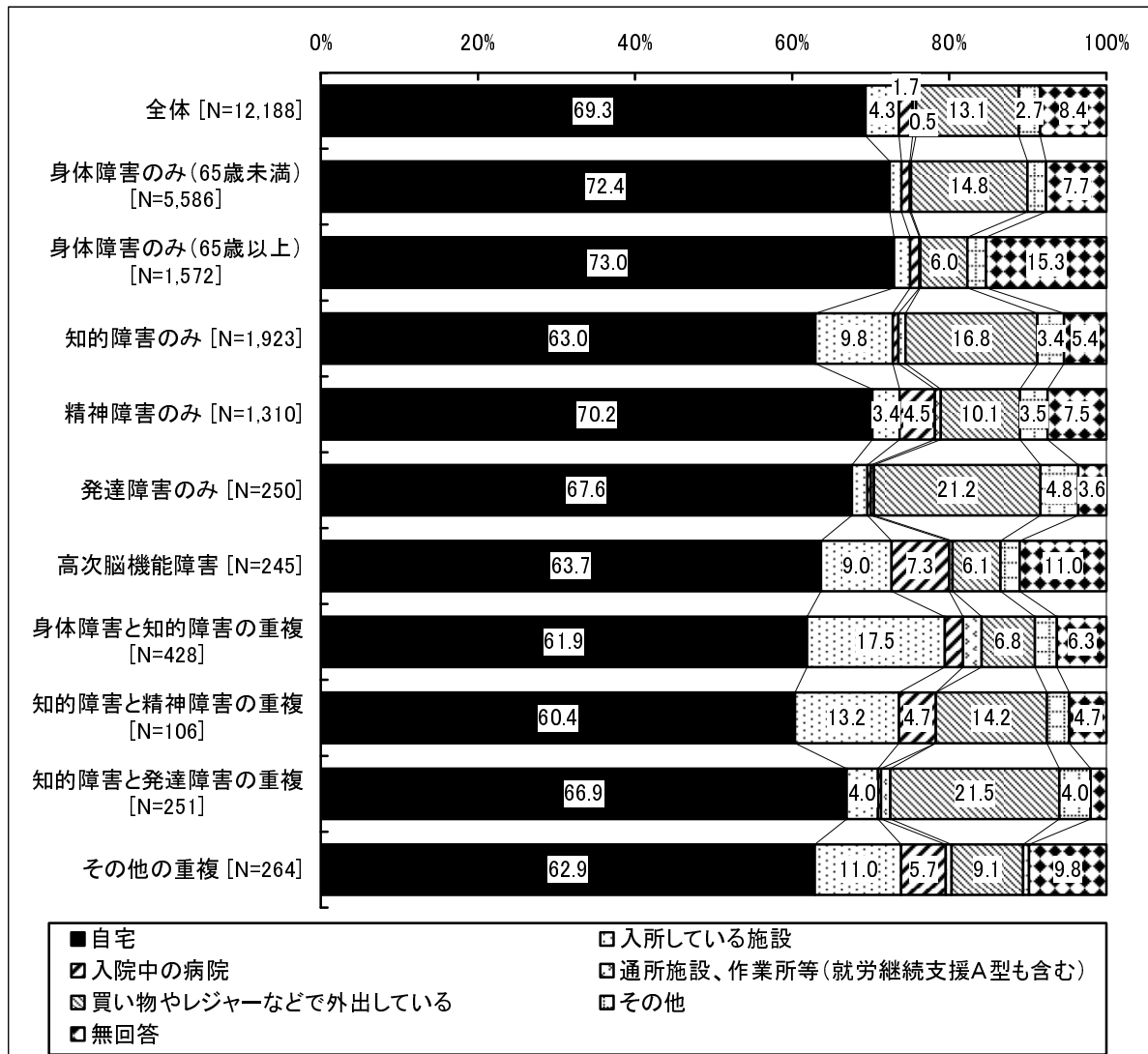
図表44 平日に自宅でしていること [N=6,417]



③休日の昼間の居場所

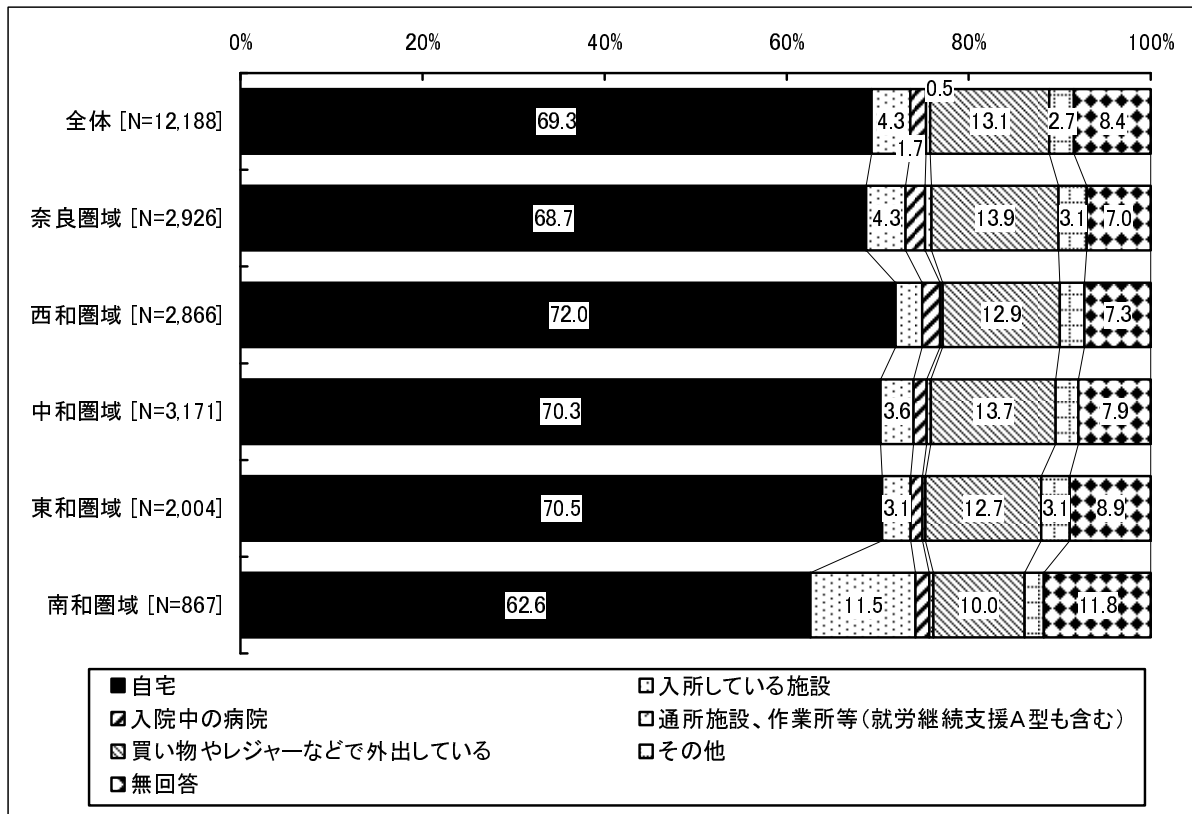
休日の昼間の居場所について聞いたところ、「自宅」の割合が69.3%と最も高く、約7割を占めます。次いで、「買い物やレジャーなどで外出している」が13.1%となっています。

図表45 休日の昼間の居場所 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」では「入所している施設」が高い割合となっています。

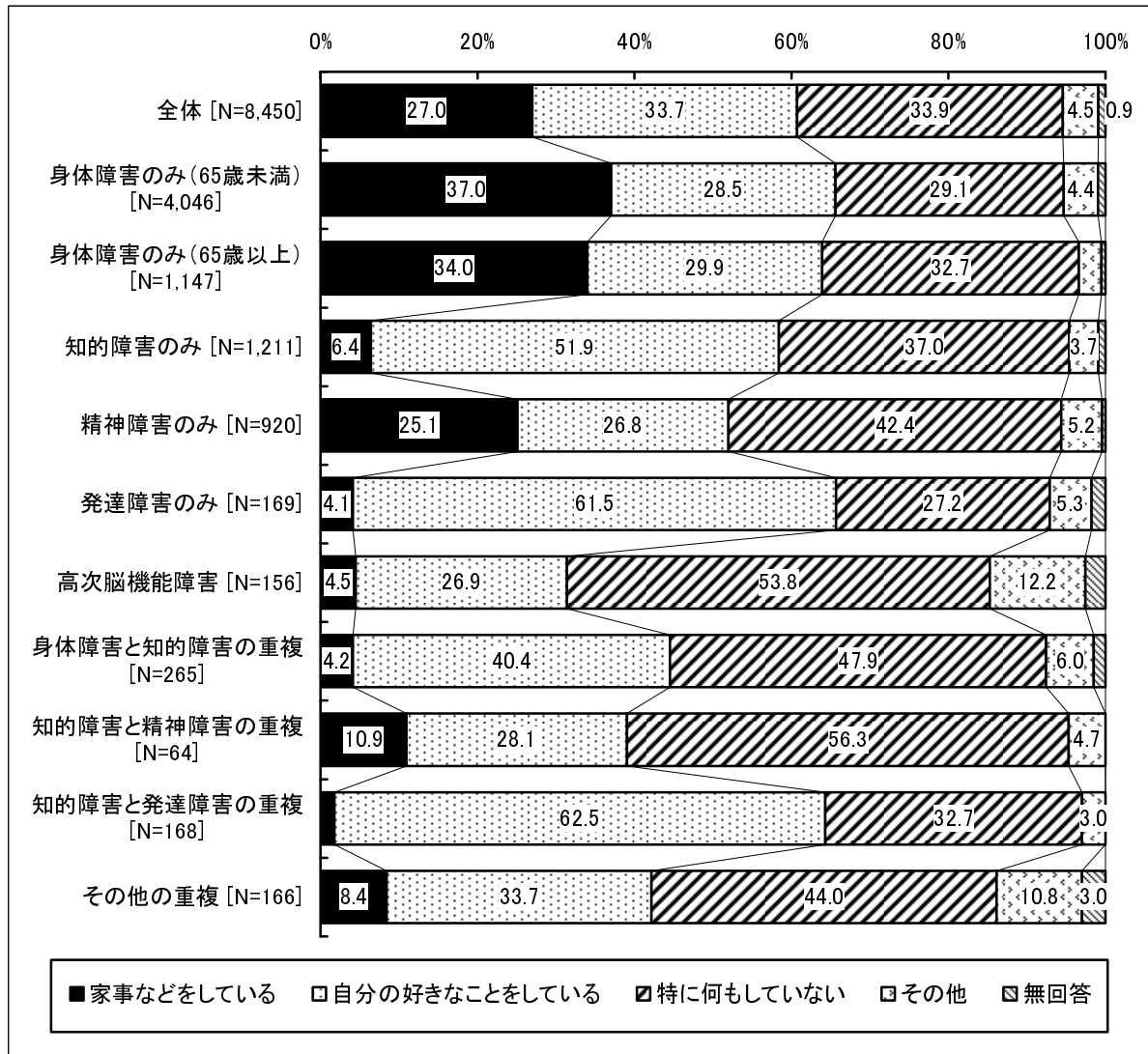
図表46 休日の昼間の居場所（圏域別） [N=12,188]



④休日に自宅でしていること

前問「休日の昼間の居場所」で「自宅」と回答した人に、休日に自宅でしていることについて聞いたところ、「特に何もしていない」の割合が33.9%、「自分の好きなことをしている」が33.7%、「家事などをしている」が27.0%となっています。

図表47 休日に自宅でしていること [N=8,450]

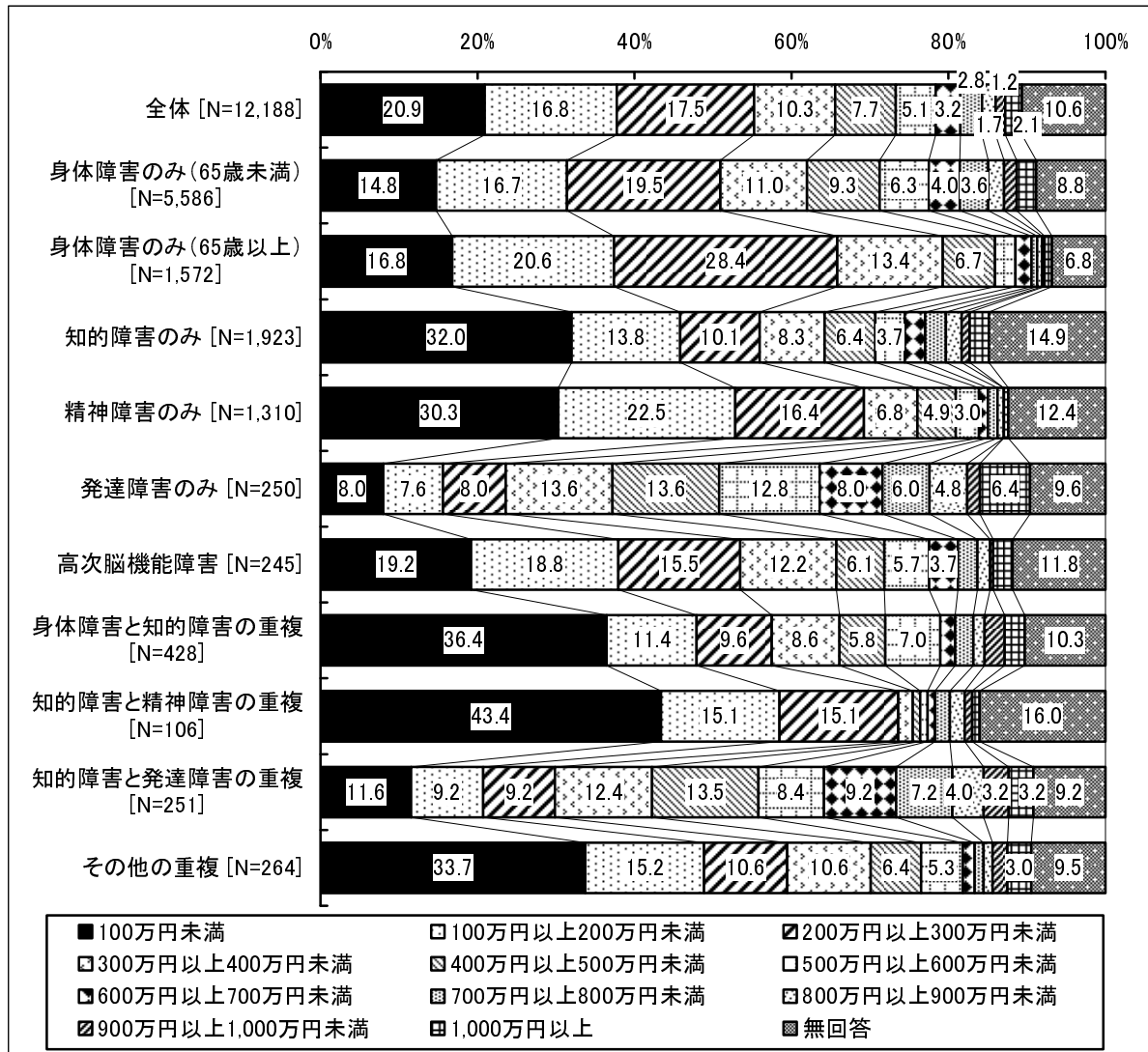


⑤世帯の年間収入

世帯の年間収入について聞いたところ、「100万円未満」の割合が20.9%と最も高く、次いで、「200万円以上300万円未満」が17.5%、「100万円以上200万円未満」が16.8%となっています。

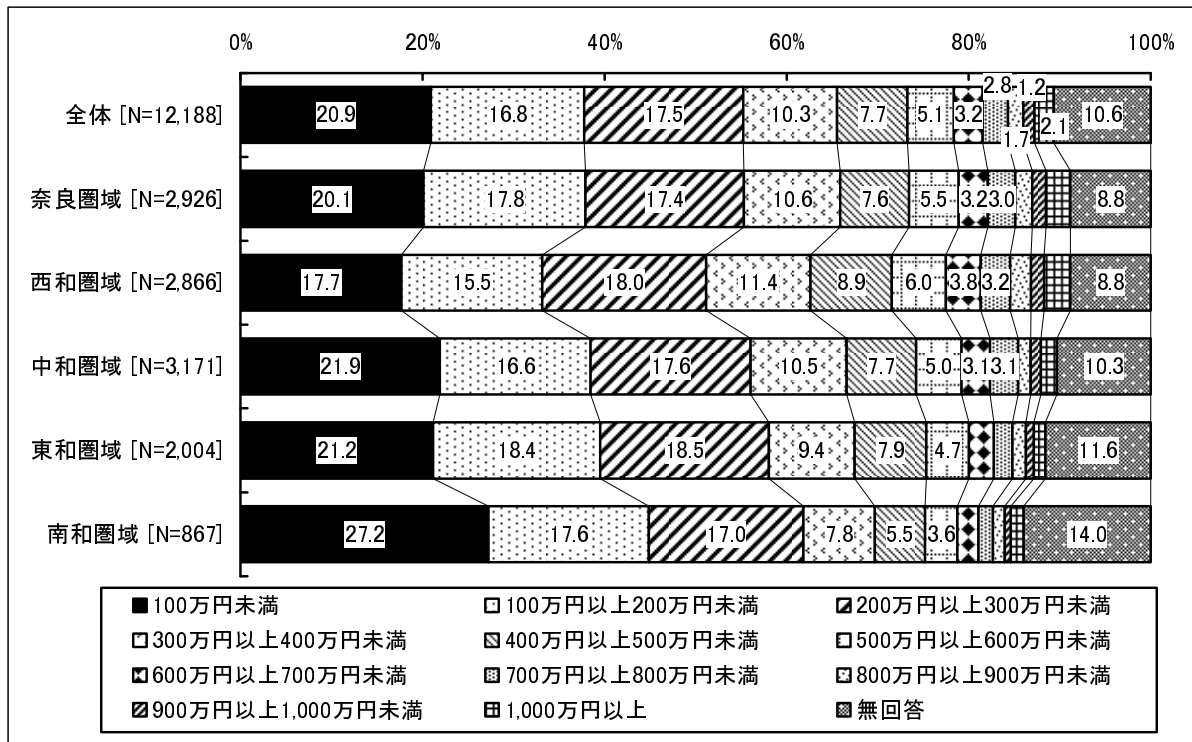
障害種別で見ると、「知的障害と精神障害の重複」で「100万円未満」などが高い割合となっています。

図表48 世帯の年間収入 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」では「100万円未満」の割合が他と比べて高くなっています。

図表49 世帯の年間収入（圏域別） [N=12,188]

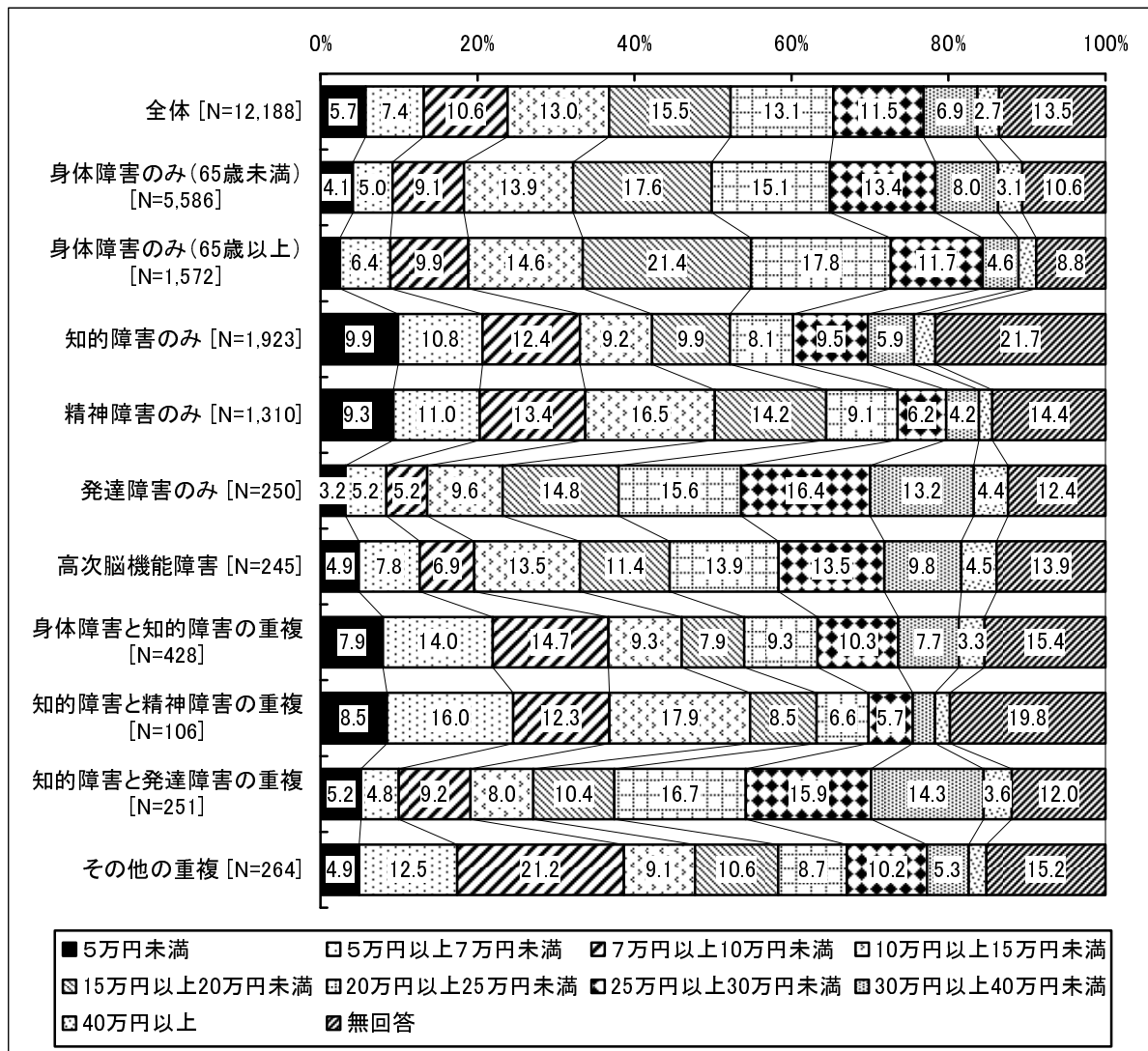


⑥世帯の1か月の生活費

世帯の1か月の生活費について聞いたところ、「15万円以上20万円未満」の割合が15.5%と最も高く、次いで、「20万円以上25万円未満」が13.1%、「10万円以上15万円未満」が13.0%となっています。

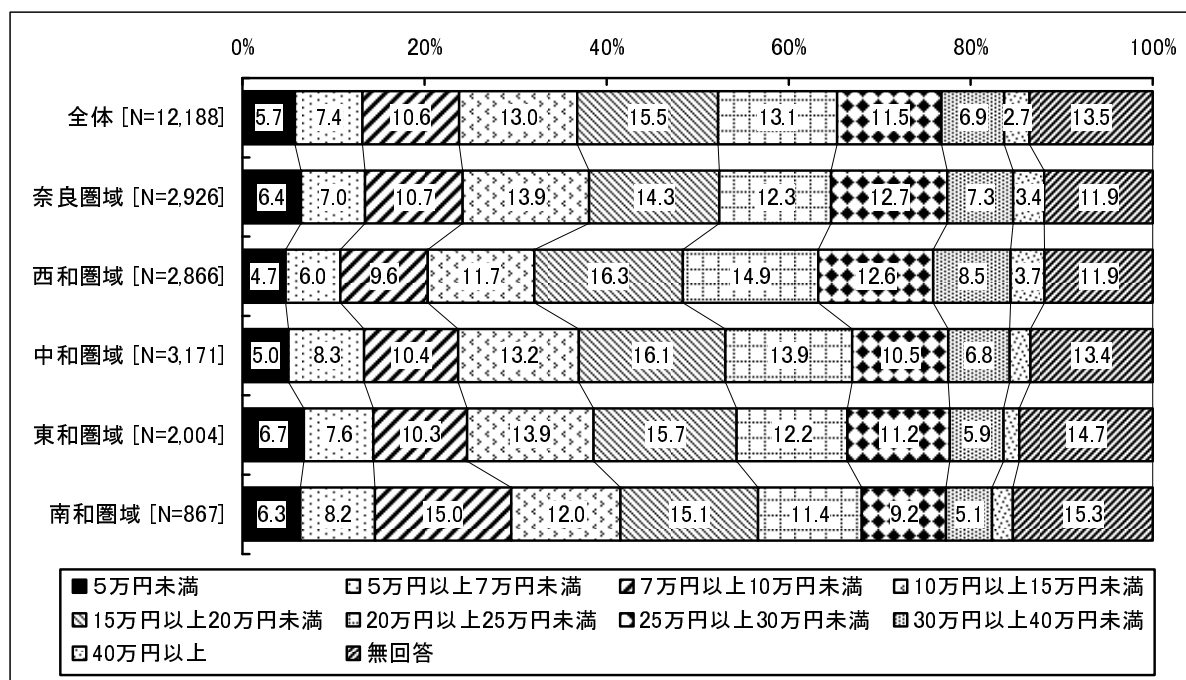
障害種別で見ると、「精神障害のみ」「知的障害のみ」「知的障害と精神障害の重複」などで生活費の少ない傾向が見られます。

図表50 世帯の1か月の生活費 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」で生活費の少ない傾向が見られます。

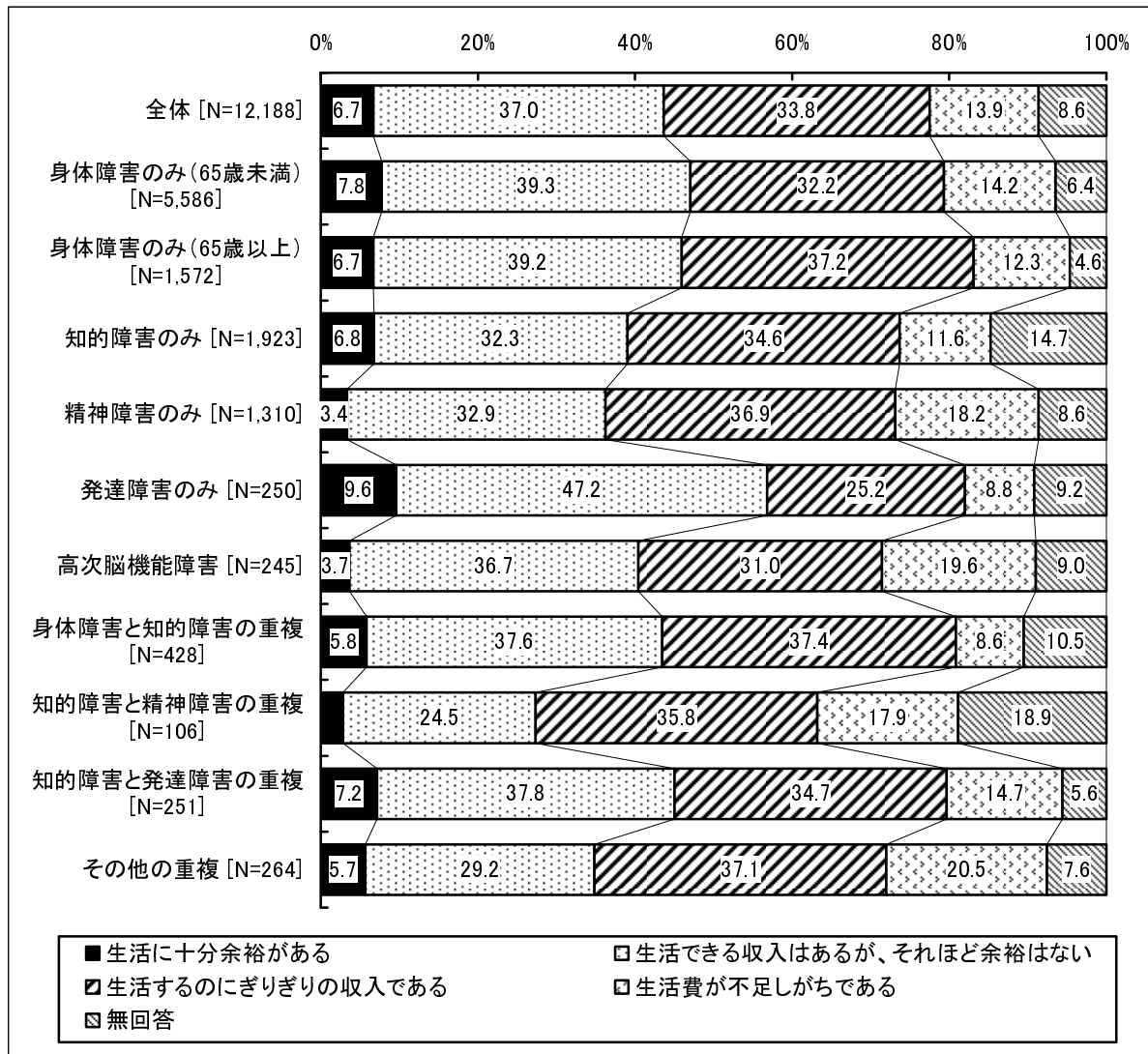
図表51 世帯の1か月の生活費（圏域別） [N=12,188]



⑦世帯の暮らしむき

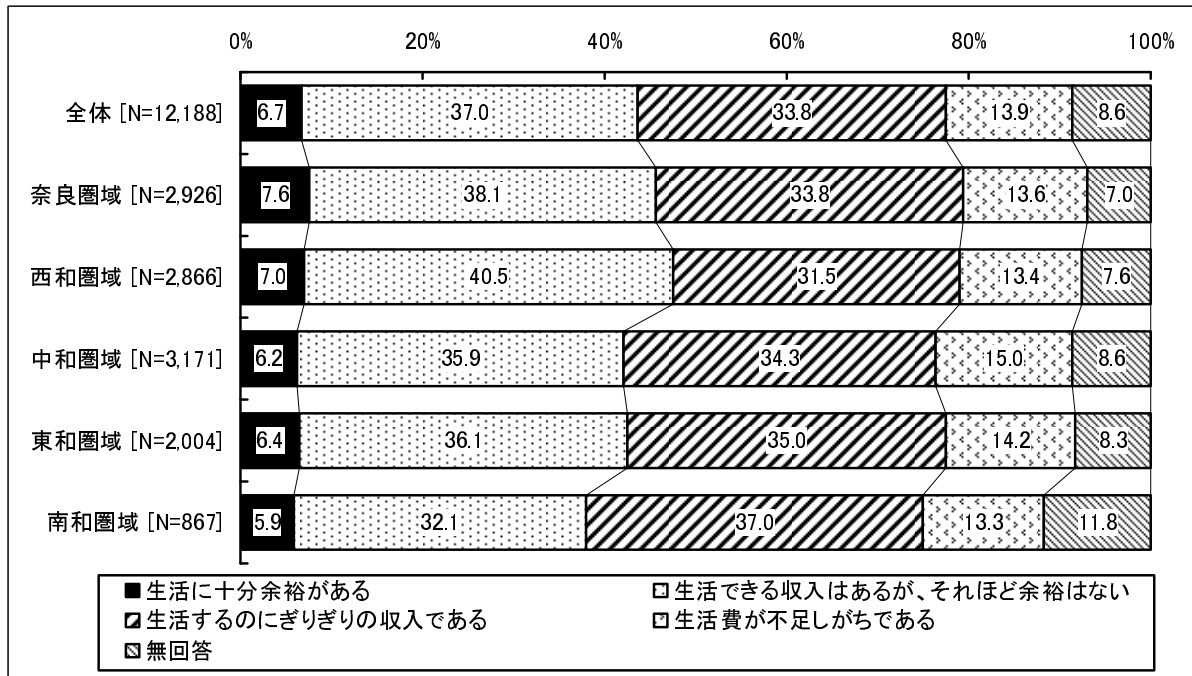
世帯の暮らしむきについて聞いたところ、「生活できる収入はあるが、それほど余裕はない」の割合が37.0%と最も高く、次いで、「生活するのにぎりぎりの収入である」が33.8%となっています。

図表52 世帯の暮らしむき [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」で「生活できる収入はあるが、それほど余裕はない」が高い割合となっており、一方、「南和圏域」では「生活するのにぎりぎりの収入である」の割合が他と比べてやや高くなっています。

図表53 世帯の暮らしむき（圏域別） [N=12,188]

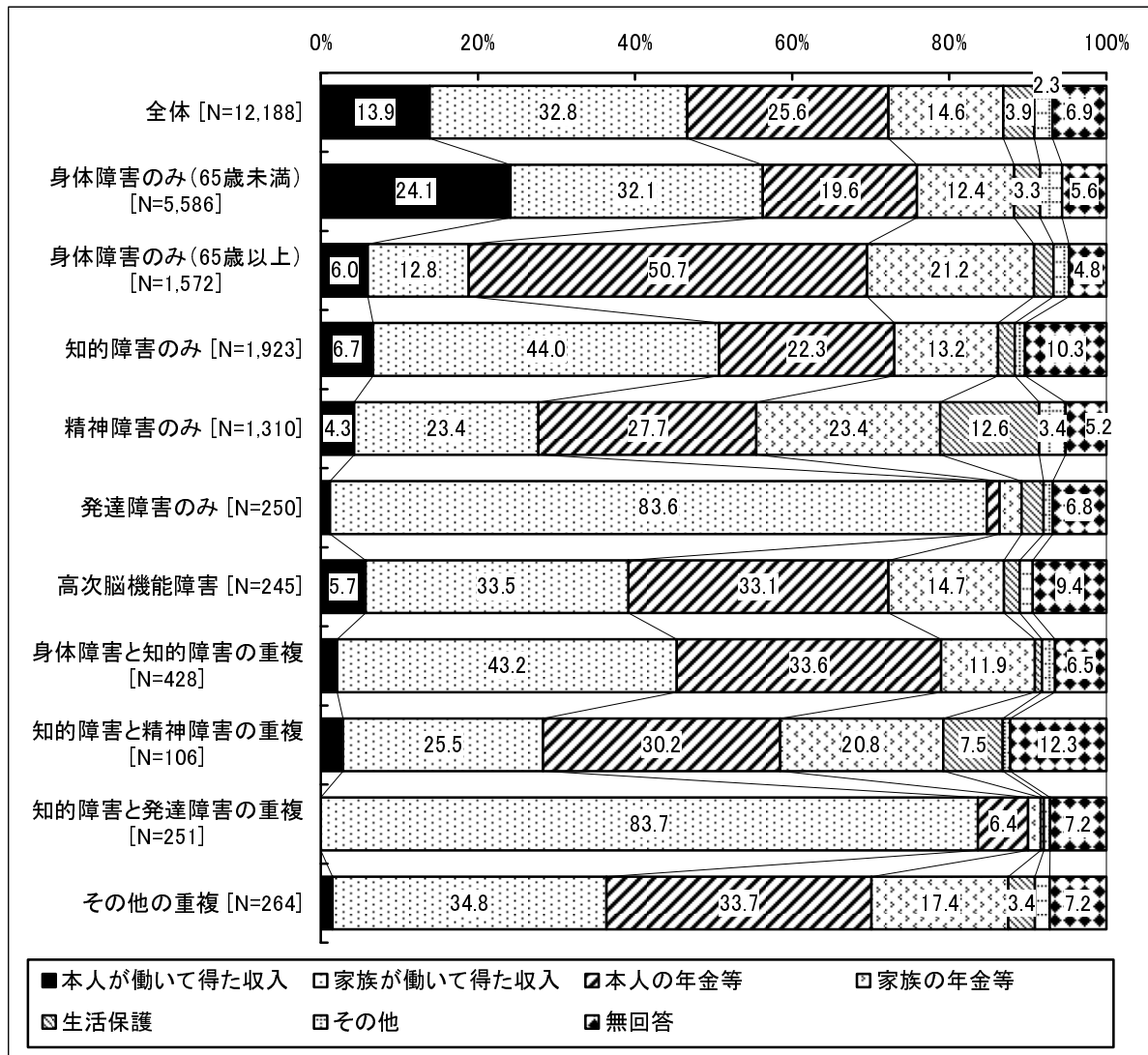


⑧世帯の主な収入源

世帯の主な収入源としては、「家族が働いて得た収入」の割合が32.8%と最も高く、次いで、「本人の年金等」が25.6%となっています。

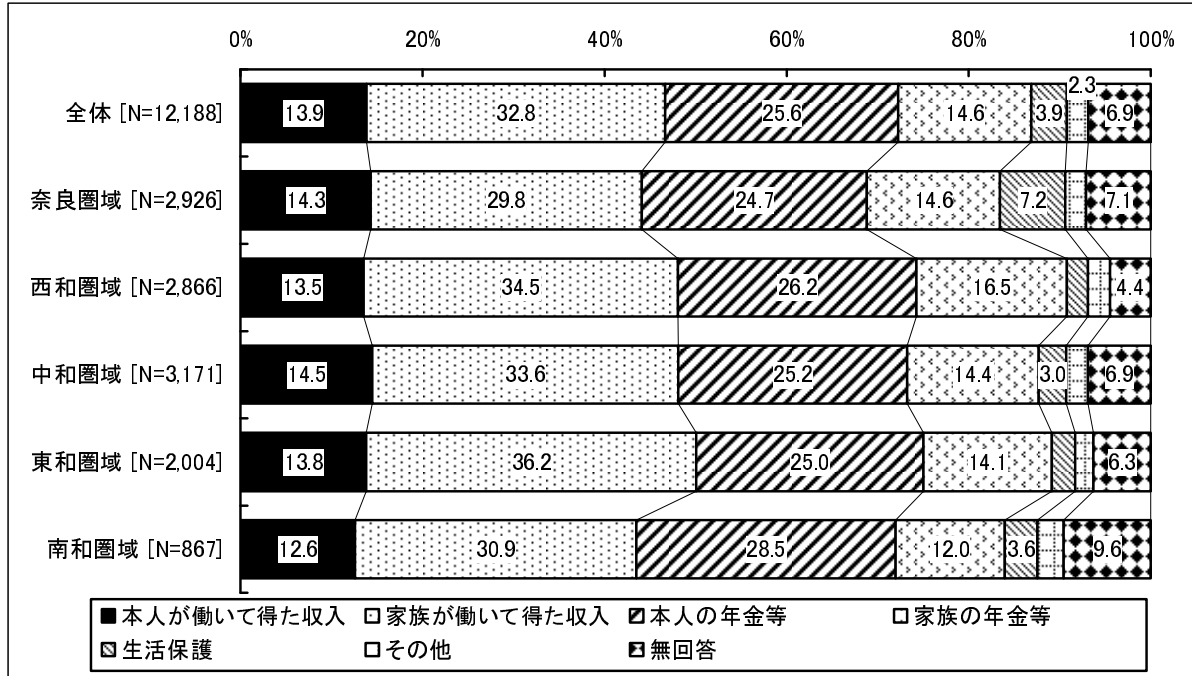
障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「発達障害のみ」で「家族が働いて得た収入」などが高い割合となっています。

図表54 世帯の主な収入源 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「東和圏域」で「家族が働いて得た収入」の割合が比較的高くなっています。

図表55 世帯の主な収入源（圏域別） [N=12,188]

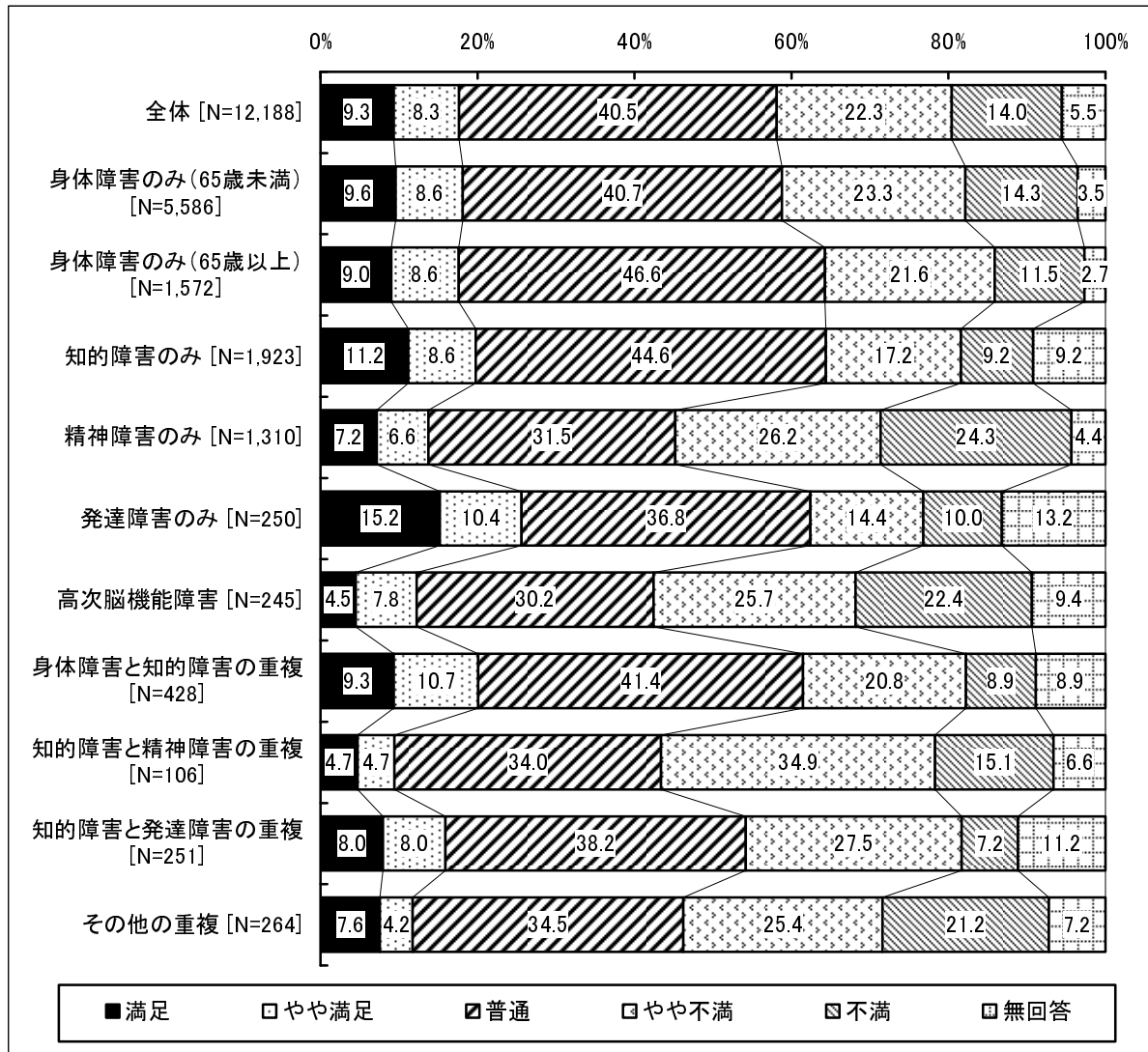


⑨今の生活状況の感じ方

今の生活状況の感じ方について聞いたところ、「普通」の割合が40.5%、「やや不満」が22.3%、「不満」が14.0%等となっています。満足よりも不満を感じる人の方が多くなっています。

障害種別で見ると、「精神障害のみ」「知的障害と精神障害の重複」「高次脳機能障害」などで、不満を感じる人の多い傾向が見られます。

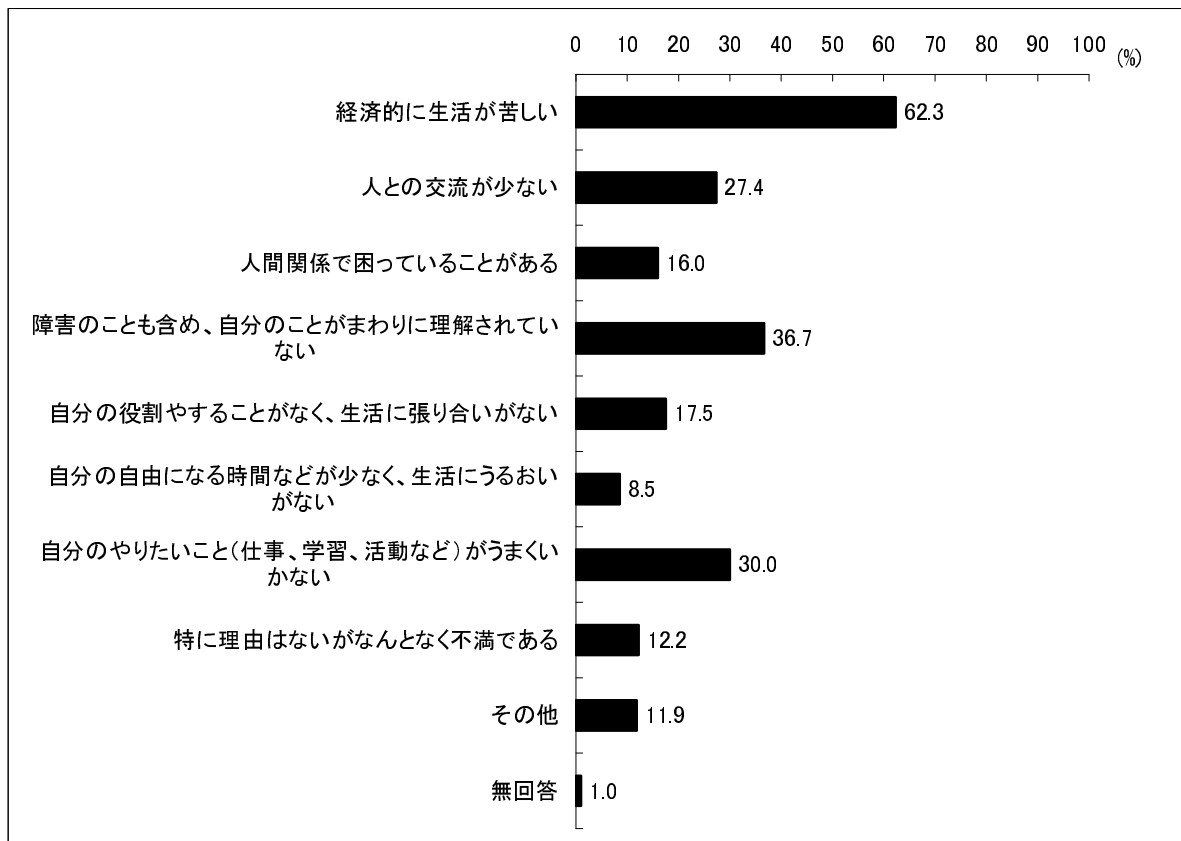
図表56 今の生活状況の感じ方 [N=12,188]



⑩生活状況が不満の理由

前問「今の生活状況の感じ方」で「やや不満」「不満」と回答した人に、生活状況が不満の理由について聞いたところ、「経済的に生活が苦しい」の割合が62.3%と最も高く、次いで、「障害のことも含め、自分のことがまわりに理解されていない」が36.7%等となっています。障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「発達障害のみ」などで、「障害のことも含め、自分のことがまわりに理解されていない」の割合が高くなっています。

図表57 生活状況が不満の理由 [N=4,431；複数回答]



	全体	(65歳未満の身体障害者)	(65歳以上の身体障害者)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的障害の重複	知的障害の重複と精神障害の重複	知的障害の重複と発達障害の重複	その他の重複
N=	4,431	2,104	520	508	661	61	118	127	53	87	123
経済的に生活が苦しい	62.3	68.1	62.1	51.2	66.1	42.6	53.4	47.2	41.5	33.3	52.8
人との交流が少ない	27.4	21.1	21.2	36.6	39.9	26.2	36.4	26.0	50.9	31.0	39.0
人間関係で困っていることがある	16.0	9.2	7.1	22.6	33.3	37.7	11.9	17.3	37.7	29.9	22.8
障害のことも含め、自分のことがまわりに理解されていない	36.7	30.0	25.6	41.1	52.8	54.1	41.5	38.6	43.4	71.3	52.8
自分の役割やすることがなく、生活に張り合いがない	17.5	14.7	15.4	16.3	27.8	9.8	30.5	18.9	18.9	18.4	15.4
自分の自由になる時間などが少なく、生活にうるおいがない	8.5	9.9	7.3	7.9	8.3	3.3	6.8	7.1	5.7	5.7	4.9
自分のやりたいこと(仕事、学習、活動など)がうまくいかない	30.0	29.7	15.6	26.0	44.5	32.8	33.1	22.0	32.1	54.0	26.8
特に理由はないがなんとなく不満である	12.2	10.8	15.6	12.8	15.9	6.6	6.8	13.4	7.5	2.3	14.6
その他	11.9	11.3	11.2	11.6	14.5	11.5	16.9	13.4	9.4	4.6	13.8
無回答	1.0	1.0	1.9	1.0	0.3	0.0	1.7	1.6	0.0	1.1	0.0

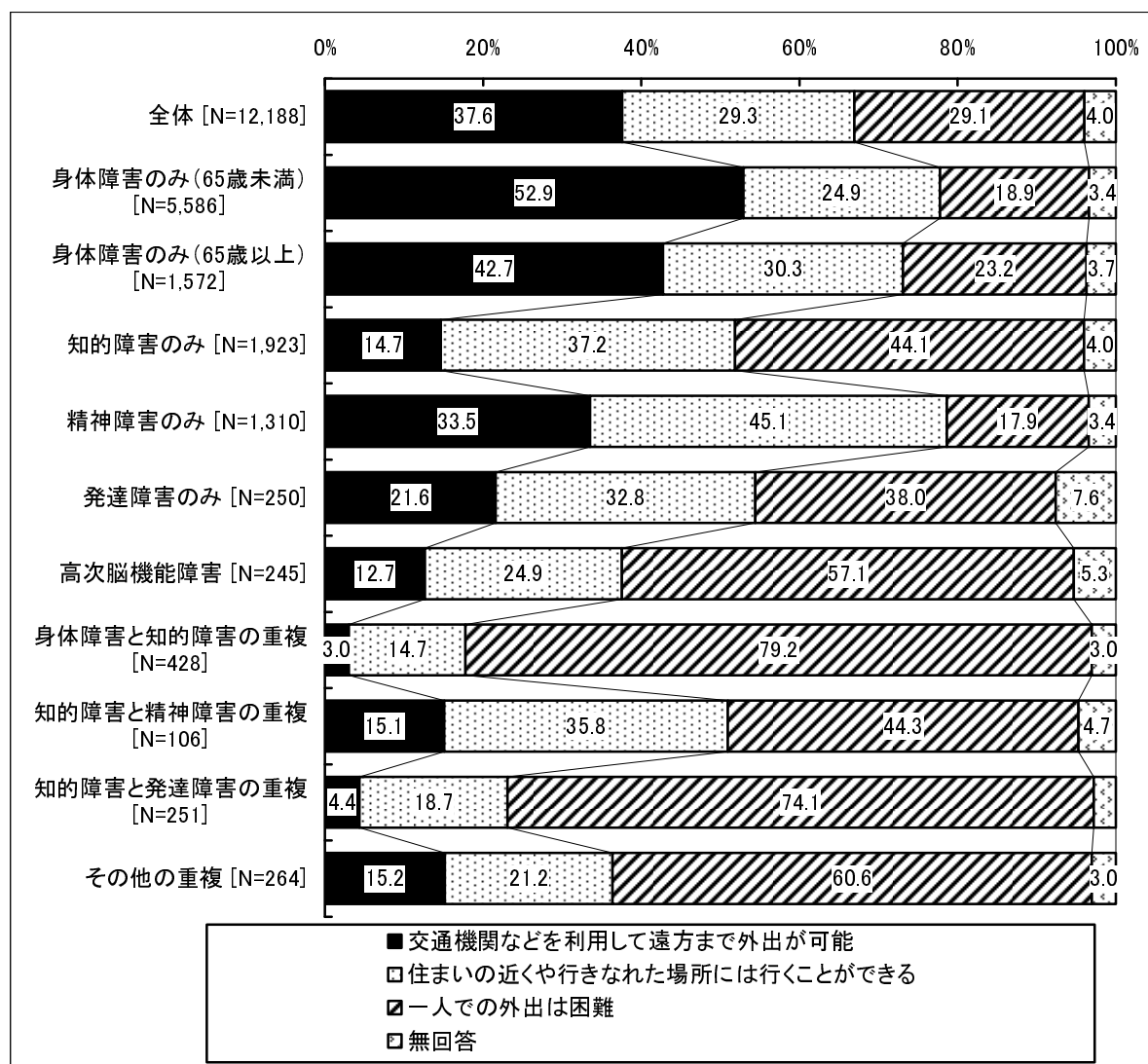
(6) 外出について

①一人での外出

一人での外出については、「交通機関などを利用して遠方まで外出が可能」の割合が37.6%、「住まいの近くや行きなれた場所には行くことができる」が29.3%、「一人での外出は困難」が29.1%となっています。

障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」等で「一人での外出は困難」が高い割合となっています。

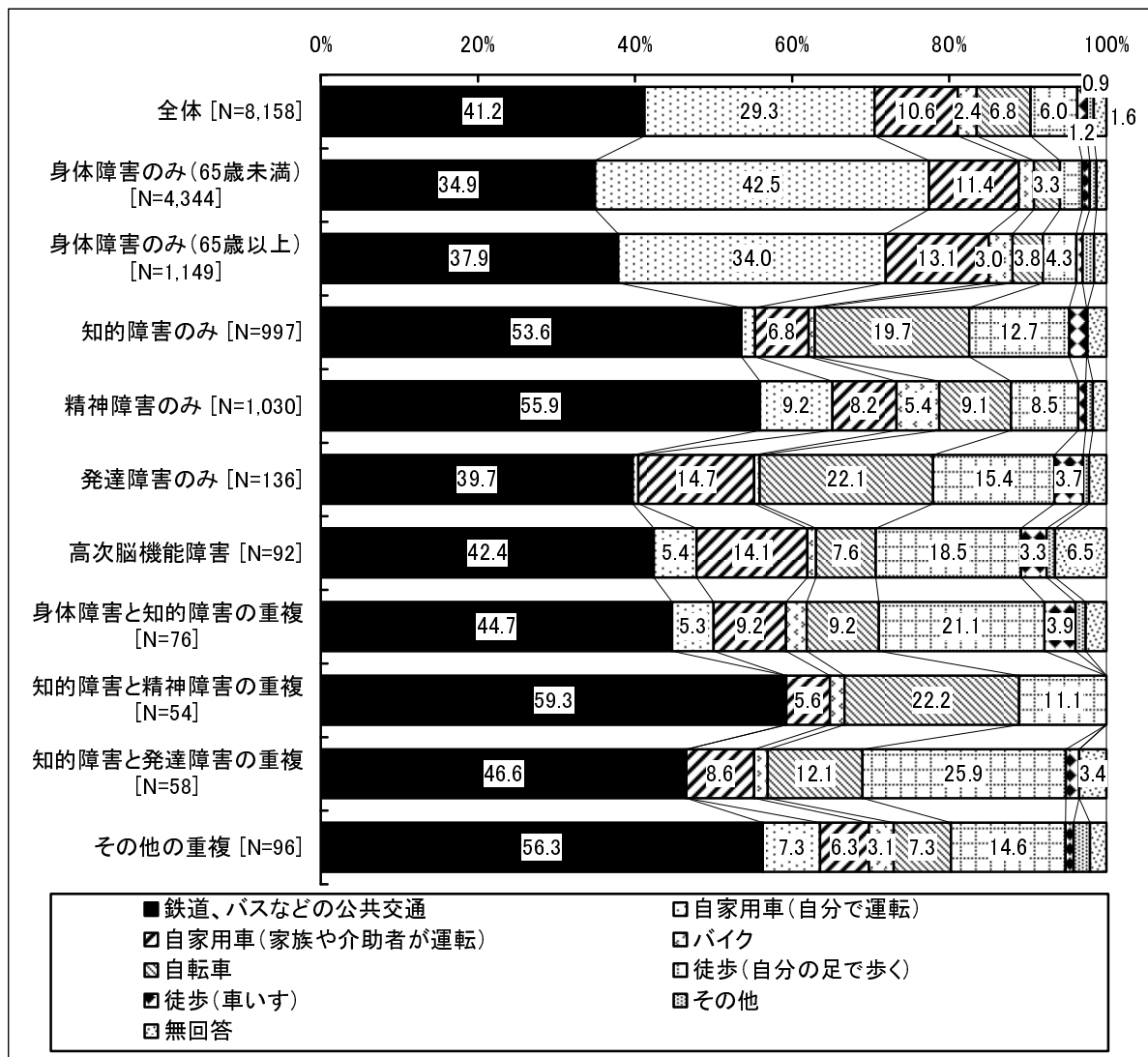
図表58 一人での外出 [N=12,188]



②外出時に主に利用する交通機関

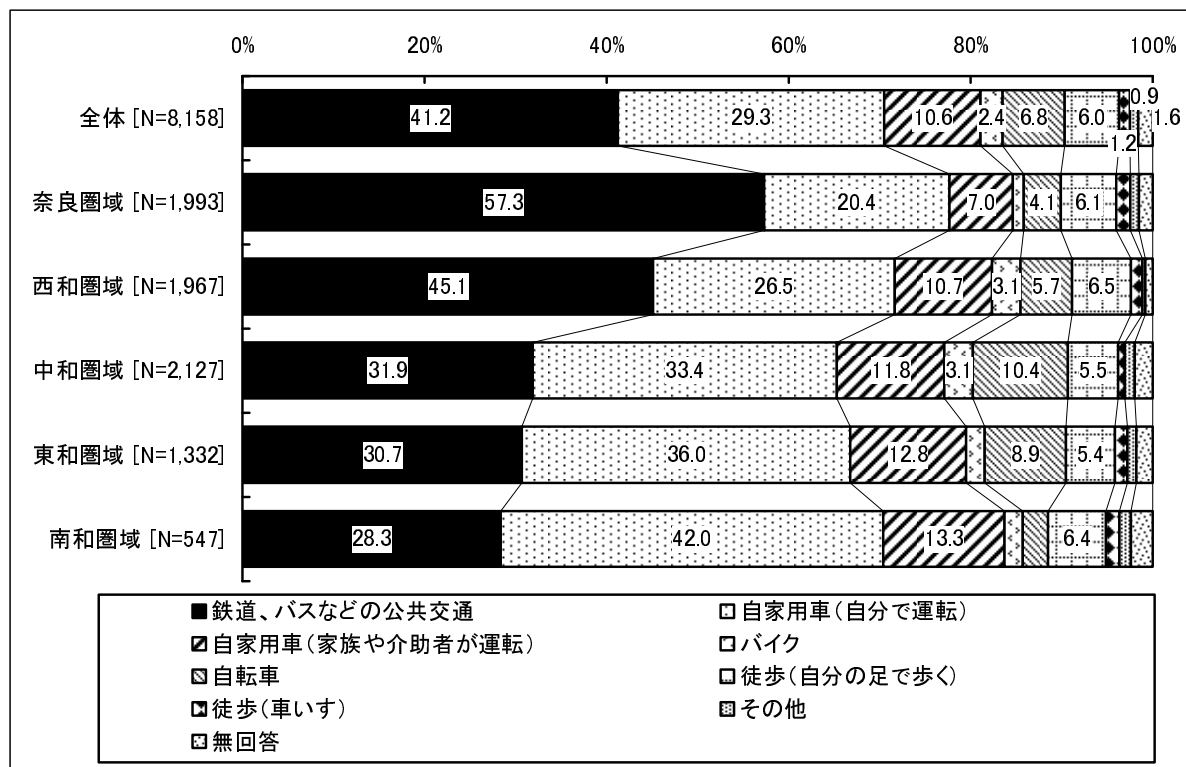
前問「一人での外出」で「交通機関などを利用して遠方まで外出が可能」「住まいの近くや行きなれた場所には行くことができる」と回答した人に、外出時に主に利用する交通機関について聞いたところ、「鉄道、バスなどの公共交通」の割合が41.2%と最も高く、次いで、「自家用車（自分で運転）」が29.3%となっています。

図表59 外出時に主に利用する交通機関 [N=8,158]



居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」「西和圏域」で「鉄道、バスなどの公共交通」が高い割合となっています。一方、「南和圏域」では「自家用車（自分で運転）」が高い割合となっています。

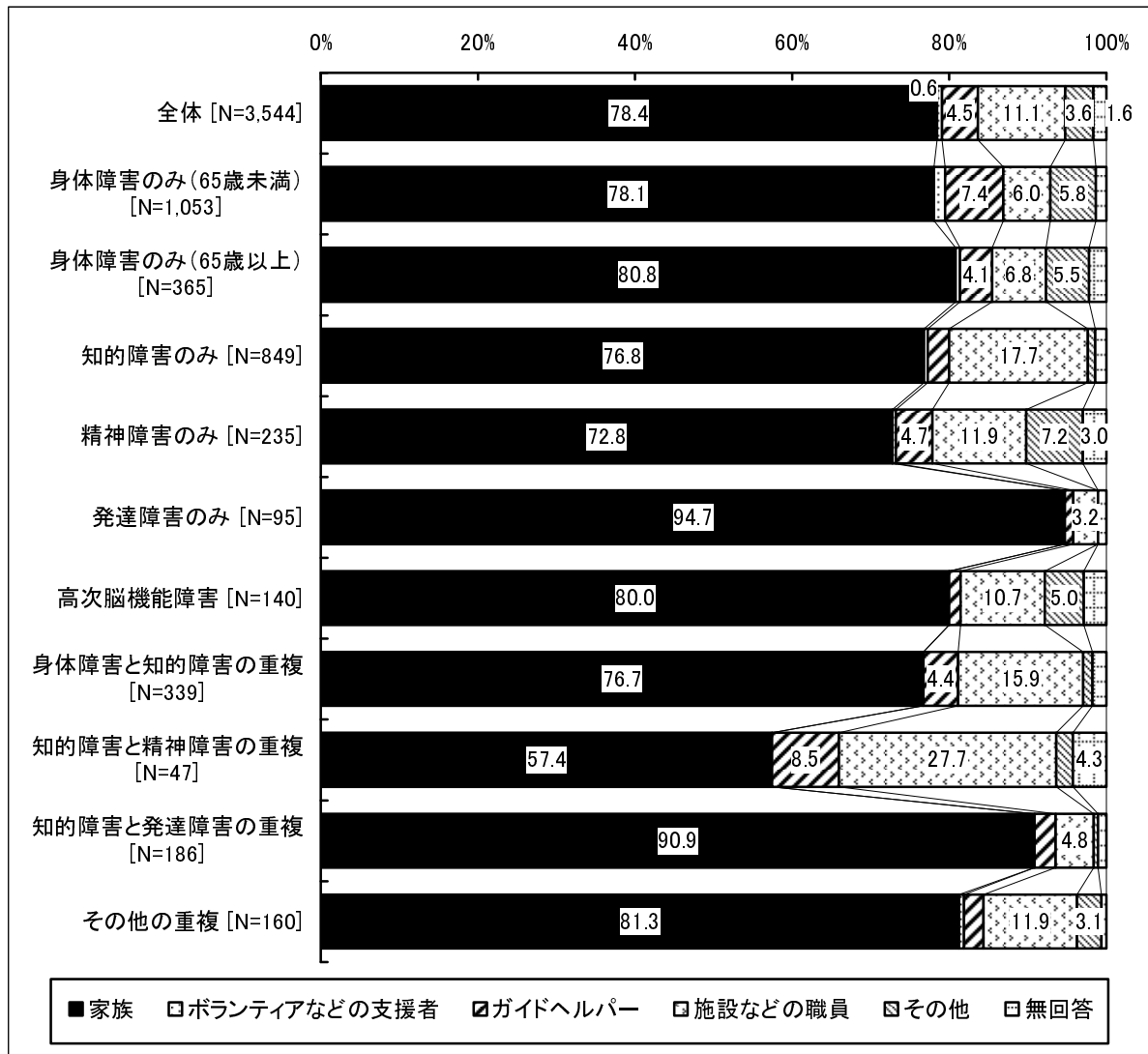
図表60 外出時に主に利用する交通機関（圏域別） [N=8,158]



③外出時の主な介助者

「一人での外出」で「一人での外出は困難」と回答した人に、外出時の主な介助者について聞いたところ、「家族」の割合が78.4%と8割近くを占めています。

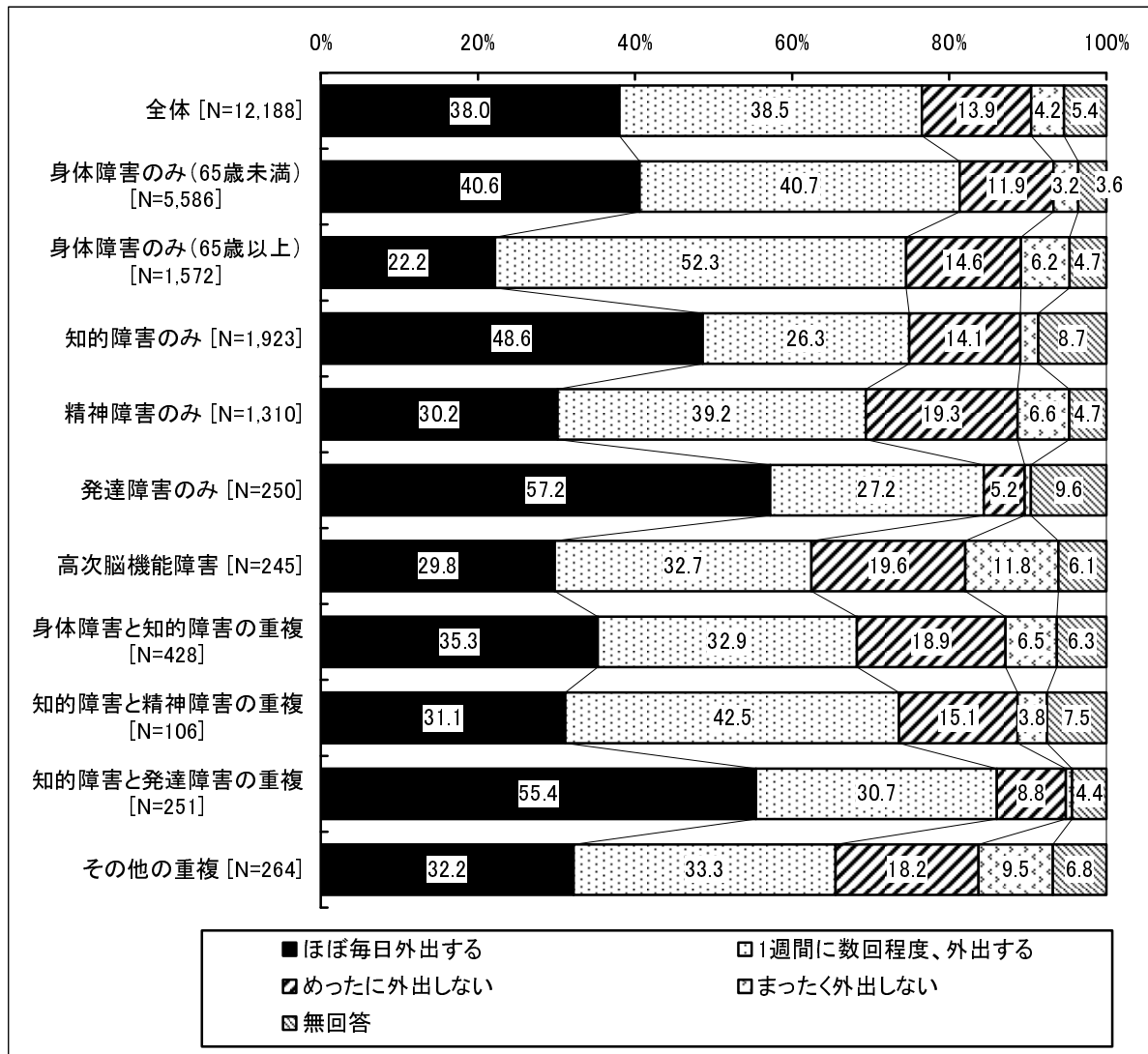
図表61 外出時の主な介助者 [N=3,544]



④1週間の外出状況

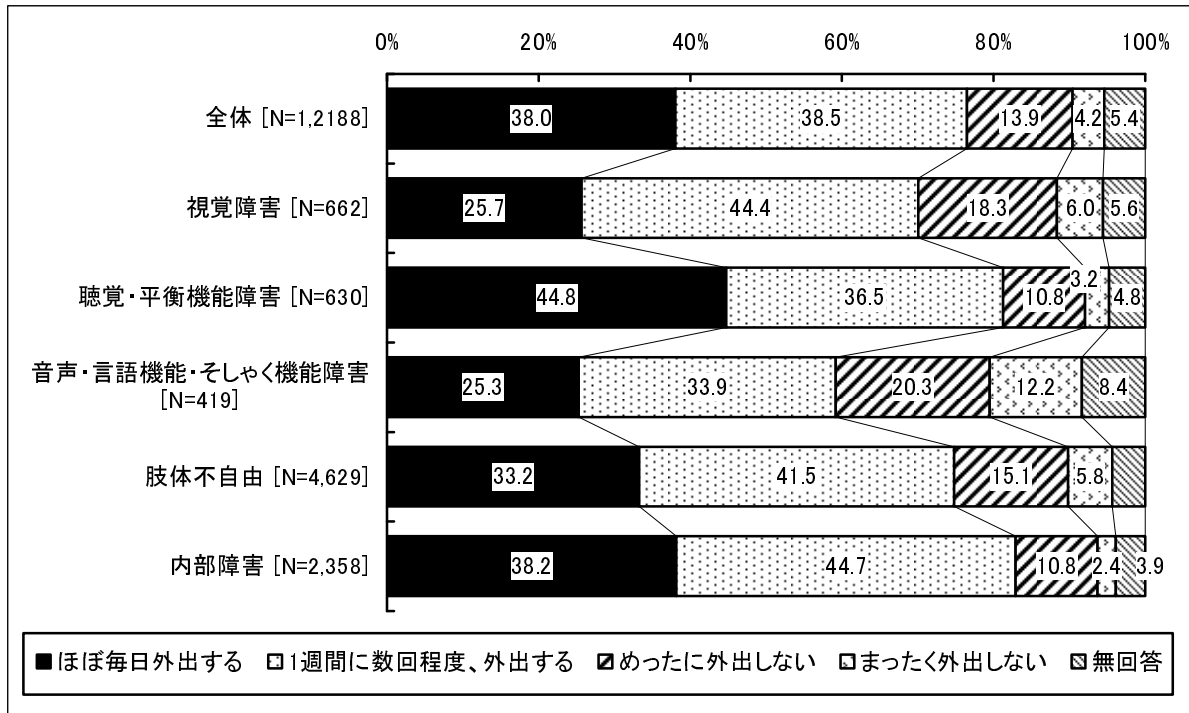
1週間の外出状況について聞いたところ、「1週間に数回程度、外出する」の割合が38.5%と最も高く、次いで、「ほぼ毎日外出する」が38.0%となっています。

図表62 1週間の外出状況 [N=12,188]



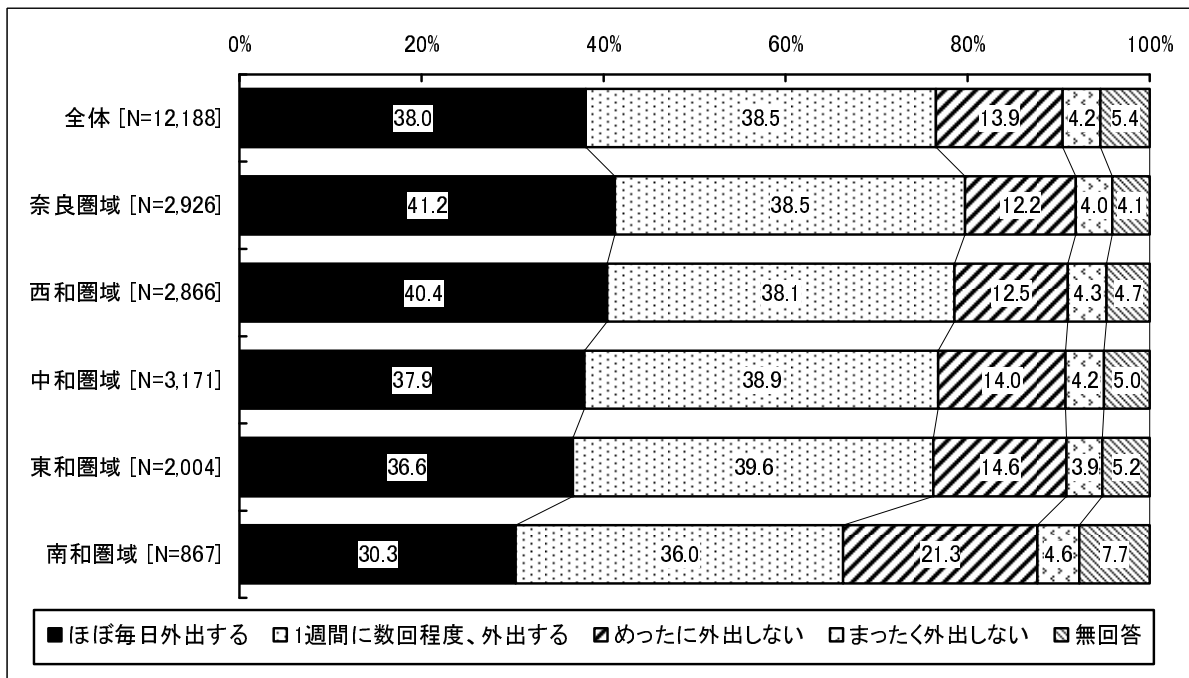
身体障害の種別で見ると、「音声・言語機能・そしゃく機能障害」で、あまり外出しない人の割合が比較的高くなっています。

図表63 1週間の外出状況（身体障害種別） [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」や「西和圏域」では「ほぼ毎日外出する」が高い割合となっています。一方、「南和圏域」では「めったに外出しない」の割合が比較的高くなっています。

図表64 1週間の外出状況（圏域別） [N=12,188]

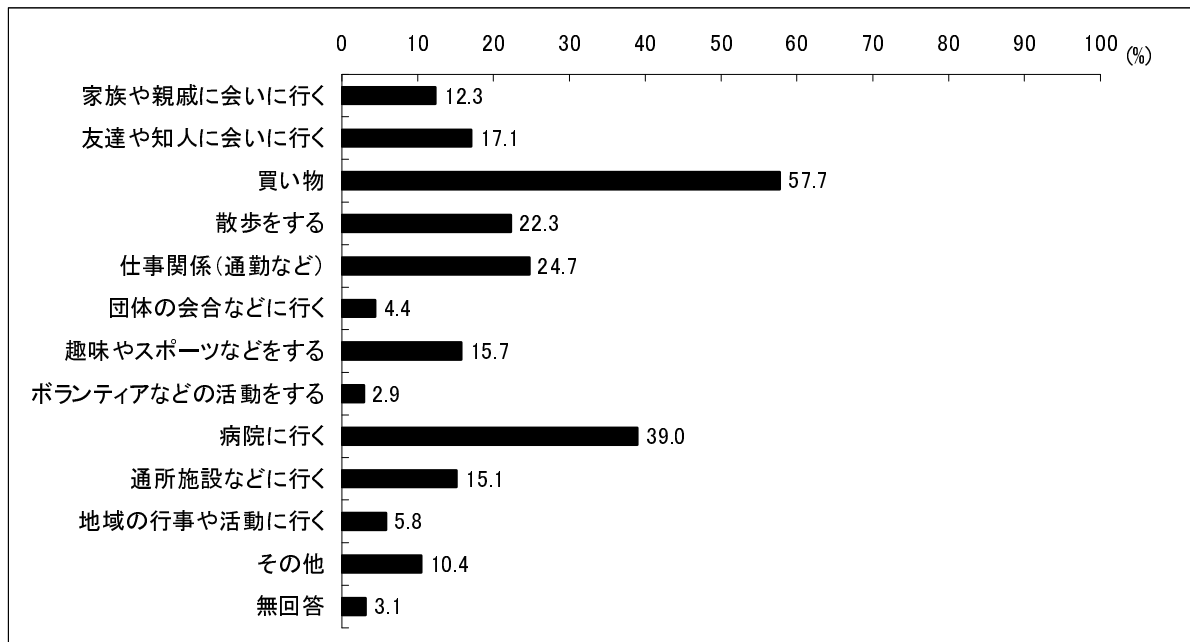


⑤外出する理由・目的

前問「1週間の外出状況」で「ほぼ毎日外出する」「1週間に数回程度、外出する」と回答した人に、外出する理由・目的を聞いたところ、「買い物」の割合が57.7%と最も高く、次いで、「病院に行く」が39.0%、「仕事関係（通勤など）」が24.7%等となっています。

障害種別で見ると、「精神障害のみ」で「病院に行く」、「高次脳機能障害」で「通所施設などに行く」等が比較的高い割合となっています。

図表65 外出する理由・目的 [N=9,324 ; 複数回答]



	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	知的障害の重複と精神	知的障害の重複と発達	その他の重複
N=	9,324	4,543	1,171	1,440	909	211	153	292	78	216	173
家族や親戚に会いに行く	12.3	13.6	13.9	9.4	9.2	15.6	5.2	11.0	11.5	13.4	13.3
友達や知人に会いに行く	17.1	20.0	22.0	8.5	17.8	19.0	8.5	5.5	5.1	10.2	10.4
買い物	57.7	60.3	64.9	46.0	69.0	48.3	40.5	39.4	56.4	50.9	52.0
散歩をする	22.3	18.2	29.2	22.9	30.8	21.3	25.5	21.2	33.3	25.0	25.4
仕事関係(通勤など)	24.7	36.0	10.8	21.6	12.7	4.7	15.0	7.5	11.5	4.6	4.6
団体の会合などに行く	4.4	5.2	6.6	2.6	3.5	3.3	3.3	2.4	3.8	1.9	0.6
趣味やスポーツなどをする	15.7	17.4	22.6	13.3	11.0	16.6	7.8	5.1	6.4	13.0	8.7
ボランティアなどの活動をする	2.9	3.4	5.6	0.7	3.0	1.4	2.6	0.3	0.0	0.0	1.7
病院に行く	39.0	40.5	54.6	16.3	59.4	17.5	45.8	28.1	41.0	14.4	44.5
通所施設などに行く	15.1	4.8	5.6	33.5	30.1	17.1	41.8	41.4	35.9	22.2	30.1
地域の行事や活動に行く	5.8	5.3	10.8	4.4	4.4	5.2	5.2	5.8	6.4	6.9	4.0
その他	10.4	7.0	4.0	14.9	6.9	48.3	14.4	20.9	5.1	47.2	18.5
無回答	3.1	2.8	3.8	3.5	2.8	4.7	2.6	4.8	3.8	0.5	4.6

居住地の圏域別で見ると、いずれも「買い物」が高い割合となっています。一方、「南和圏域」では、「通所施設などに行く」の割合が他と比べて低い傾向が見られます。

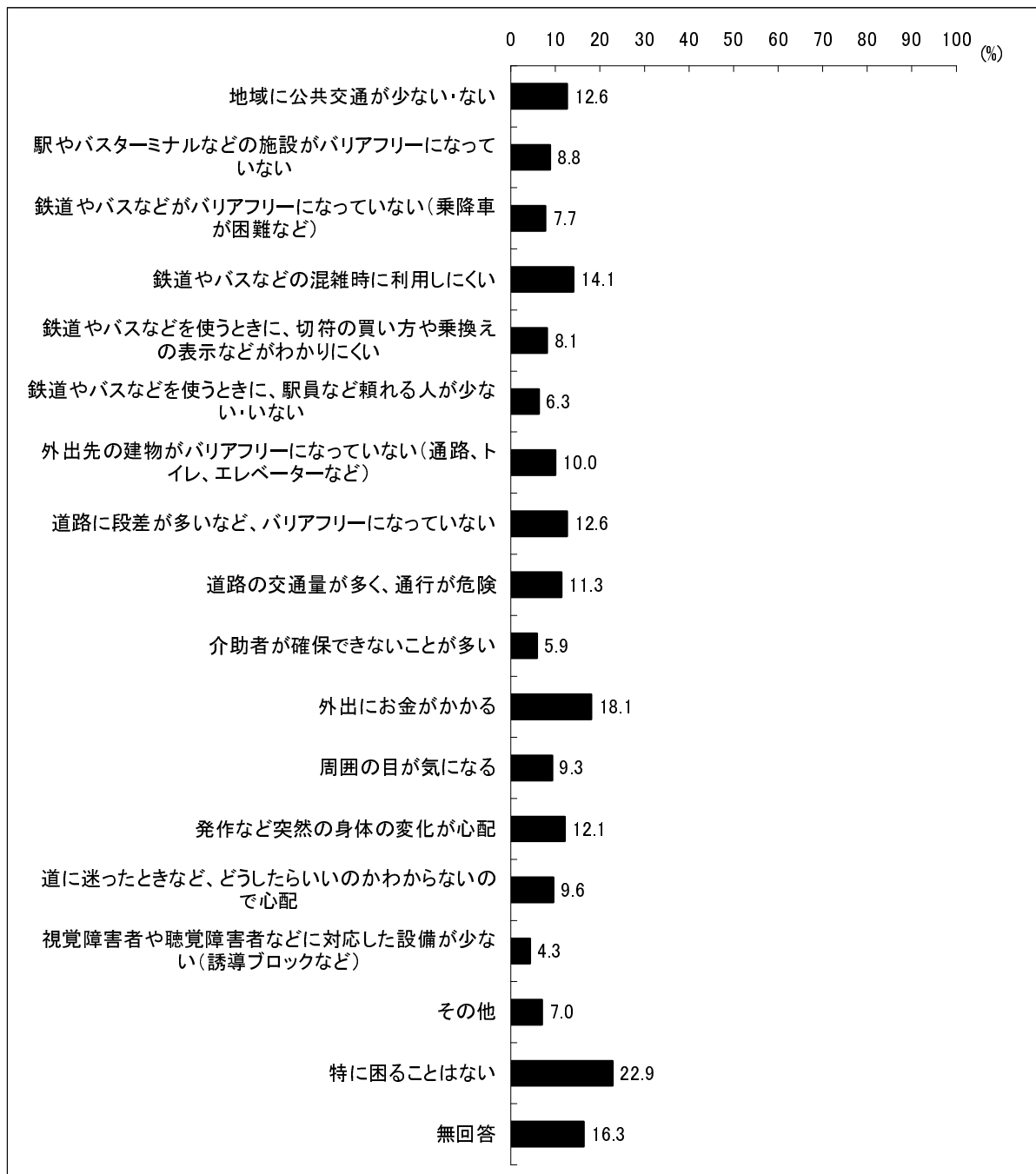
図表66 外出する理由・目的（圏域別） [N=9,324]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	9,324	2,333	2,251	2,434	1,528	575
家族や親戚に会いに行く	12.3	13.1	10.8	12.3	13.4	12.5
友達や知人に会いに行く	17.1	16.7	17.0	16.8	17.5	19.1
買い物	57.7	57.3	57.4	58.3	58.1	56.2
散歩をする	22.3	24.3	24.1	20.0	20.5	21.0
仕事関係(通勤など)	24.7	25.4	24.0	24.9	24.8	25.0
団体の会合などに行く	4.4	4.0	4.0	4.4	5.5	5.0
趣味やスポーツなどをする	15.7	15.6	18.5	15.2	14.7	12.5
ボランティアなどの活動をする	2.9	2.6	2.9	2.7	4.0	2.6
病院に行く	39.0	41.1	38.4	37.8	38.6	37.6
通所施設などに行く	15.1	16.8	15.3	14.9	15.2	10.3
地域の行事や活動に行く	5.8	3.9	5.3	6.3	7.5	9.9
その他	10.4	11.1	11.1	10.9	9.0	8.3
無回答	3.1	3.1	2.7	3.2	3.1	3.8

⑥外出で困ること

外出で困ることについて聞いたところ、「外出にお金がかかる」が18.1%、「鉄道やバスなどの混雑時に利用しにくい」が14.1%、「地域に公共交通が少ない・ない」「道路に段差が多いなど、バリアフリーになっていない」がいずれも12.6%等となっています。一方、「特に困ることはない」の割合は22.9%となっています。

図表67 外出で困ること [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「精神障害のみ」で「外出にお金がかかる」、「知的障害と発達障害の重複」「知的障害と精神障害の重複」等で「道に迷ったときなど、どうしたらいいのかわからないので心配」などが比較的高い割合となっています。

図表68 外出で困ること（障害種別） [N=12,188；複数回答]

	全体	（身体 5障害 未のみ）	（身体 5障害 以上のみ）	知的 障害 のみ	精神 障害 のみ	発達 障害 のみ	高次 脳機 能障 害	身体 の障 害と 知的	障害 の障 害と 精神	障害 の障 害と 発達	そ の 他 の 重 複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
地域に公共交通が少ない・ない	12.6	13.1	14.3	9.8	14.0	11.6	11.0	11.2	15.1	10.0	13.3
駅やバスターミナルなどの施設がバリアフリーになっていない	8.8	12.7	8.4	1.7	2.3	1.6	12.7	15.0	2.8	3.6	15.5
鉄道やバスなどがバリアフリーになっていない(乗降車が困難など)	7.7	10.8	9.1	1.4	1.8	1.6	12.7	13.6	1.9	1.6	13.6
鉄道やバスなどの混雑時に利用しにくい	14.1	15.7	11.5	11.5	9.8	8.4	18.4	25.5	12.3	18.3	19.7
鉄道やバスなどを使うときに、切符の買い方や乗換えの表示などがわかりにくい	8.1	5.5	6.0	15.1	7.0	9.6	8.6	12.9	15.1	13.9	11.4
鉄道やバスなどを使うときに、駅員など頼れる人が少ない・いない	6.3	5.0	4.6	9.5	5.2	4.8	7.8	11.2	9.4	14.3	9.8
外出先の建物がバリアフリーになっていない(通路、トイレ、エレベーターなど)	10.0	14.2	10.6	1.8	2.4	1.6	18.0	19.2	0.9	4.0	16.3
道路に段差が多いなど、バリアフリーになっていない	12.6	17.3	16.2	2.9	3.0	2.4	16.7	24.8	3.8	2.4	17.4
道路の交通量が多く、通行が危険	11.3	10.8	10.5	11.3	9.2	9.2	14.3	19.4	14.2	20.7	18.6
介助者が確保できないことが多い	5.9	4.2	3.6	9.6	4.6	2.0	6.9	14.0	14.2	14.3	13.6
外出にお金がかかる	18.1	15.5	15.1	16.8	33.7	16.4	21.2	13.6	29.2	19.9	25.4
周囲の目が気になる	9.3	5.3	2.0	12.0	23.7	13.2	8.2	10.0	23.6	30.7	17.8
発作など突然の身体の変化が心配	12.1	10.6	11.2	8.9	20.3	5.2	17.1	18.5	29.2	7.6	23.5
道に迷ったときなど、どうしたらいいのかわからないので心配	9.6	2.7	1.9	24.8	14.7	18.8	13.1	12.9	33.0	33.1	15.9
視覚障害者や聴覚障害者などに対応した設備が少ない(誘導ブロックなど)	4.3	6.3	5.5	0.5	0.6	0.4	2.4	5.1	0.9	0.8	6.1
その他	7.0	6.4	6.4	6.7	7.0	5.6	14.7	7.5	3.8	14.7	12.9
特に困ることはない	22.9	27.8	25.9	17.6	19.1	28.4	11.4	6.5	5.7	12.4	8.7
無回答	16.3	13.1	17.9	21.5	15.0	19.6	22.0	20.3	15.1	10.8	17.8

身体障害の種別で見ると、特に「視覚障害」で、全体的に不便を感じている割合が高くなっています。また、「肢体不自由」ではバリアフリーに関すること、「視覚障害」「聴覚・平衡機能障害」では「視覚障害者や聴覚障害者などに対応した設備が少ない（誘導ブロックなど）」、「内部障害」では「発作など突然の身体の変化が心配」などで多くの方が回答しています。

図表69 外出で困ること（身体障害種別） [N=12, 188]

	全体	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	し音 や声 く・言 機能 語機 障害 ・そ	肢体不自由	内部障害
N=	12,188	662	630	419	4,629	2,358
地域に公共交通が少ない・ない	12.6	18.1	13.0	12.2	13.5	11.6
駅やバスターミナルなどの施設がバリアフリーになっていない	8.8	14.2	7.5	9.1	16.7	5.2
鉄道やバスなどがバリアフリーになっていない(乗降車が困難など)	7.7	14.2	6.3	10.5	15.2	4.8
鉄道やバスなどの混雑時に利用しにくい	14.1	20.7	9.2	11.5	19.8	8.5
鉄道やバスなどを使うときに、切符の買い方や乗換えの表示などがわかりにくい	8.1	28.5	7.6	6.9	4.3	4.0
鉄道やバスなどを使うときに、駅員など頼れる人が少ない・いない	6.3	14.4	8.7	7.4	5.3	3.3
外出先の建物がバリアフリーになっていない(通路、トイレ、エレベーターなど)	10.0	15.9	6.0	12.6	20.1	5.4
道路に段差が多いなど、バリアフリーになっていない	12.6	30.7	7.9	16.2	23.5	8.0
道路の交通量が多く、通行が危険	11.3	25.5	12.2	12.2	12.5	6.5
介助者が確保できないことが多い	5.9	11.0	4.1	7.2	6.0	2.5
外出にお金がかかる	18.1	19.6	15.4	13.6	15.6	15.4
周囲の目が気になる	9.3	6.3	5.7	7.4	6.4	3.1
発作など突然の身体の変化が心配	12.1	8.6	7.8	12.4	9.3	19.7
道に迷ったときなど、どうしたらいいのかわからないので心配	9.6	11.6	8.9	7.9	2.6	2.2
視覚障害者や聴覚障害者などに対応した設備が少ない(誘導ブロックなど)	4.3	33.2	39.4	7.4	1.2	1.4
その他	7.0	8.9	5.9	9.8	7.7	5.5
特に困ることはない	22.9	9.1	18.9	13.6	21.3	36.3
無回答	16.3	13.4	14.1	27.2	16.2	13.0

居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」「東和圏域」では「地域に公共交通が少ない・ない」の割合が高くなっています。一方、「奈良圏域」「西和圏域」では、「鉄道やバスなどの混雑時に利用しにくい」が比較的高い割合です。

図表70 外出で困ること（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
地域に公共交通が少ない・ない	12.6	9.4	9.9	12.1	18.2	22.0
駅やバスターミナルなどの施設がバリアフリーになっていない	8.8	9.7	7.9	8.7	9.5	7.4
鉄道やバスなどがバリアフリーになっていない(乗降車が困難など)	7.7	9.1	6.9	7.4	8.3	6.2
鉄道やバスなどの混雑時に利用しにくい	14.1	16.8	15.3	13.0	13.2	7.8
鉄道やバスなどを使うときに、切符の買い方や乗換えの表示などがわかりにくい	8.1	9.0	8.4	7.9	8.2	5.0
鉄道やバスなどを使うときに、駅員など頼れる人が少ない・いない	6.3	7.3	6.2	6.0	6.3	4.2
外出先の建物がバリアフリーになっていない(通路、トイレ、エレベーターなど)	10.0	9.9	10.0	10.0	10.6	9.8
道路に段差が多いなど、バリアフリーになっていない	12.6	14.0	13.4	11.4	12.8	9.8
道路の交通量が多く、通行が危険	11.3	12.6	11.1	12.5	10.6	6.8
介助者が確保できないことが多い	5.9	7.1	5.7	5.3	6.7	3.6
外出にお金がかかる	18.1	18.7	19.3	16.9	18.9	15.3
周囲の目が気になる	9.3	10.7	9.2	8.8	9.4	6.9
発作など突然の身体の変化が心配	12.1	12.5	12.0	12.3	11.7	12.6
道に迷ったときなど、どうしたらいいのかわからないので心配	9.6	10.4	9.9	9.4	9.4	6.6
視覚障害者や聴覚障害者などに対応した設備が少ない(誘導ブロックなど)	4.3	5.2	4.0	4.3	3.9	3.1
その他	7.0	8.5	6.9	6.3	7.0	5.7
特に困ることはない	22.9	22.3	23.9	24.3	21.3	22.6
無回答	16.3	13.8	14.9	16.5	16.5	20.3